

実践女子大学図書館蔵

芝居番附目録 索引

歌舞伎篇

凡例

- 一、本索引は「実践女子大学蔵 芝居番附目録—歌舞伎篇—」のためのものである。
- 二、外題表記に異同のあるものについては最も一般的と思われる表記を採用した。
- 三、訓みを現代仮名遣いに改めて、その五十音順に配列した。
- 四、「( )」内の訓みは、本番附においてルビの不鮮明なもの、或いは他の資料によってこれを補ったものである。その訓みを補いえなかったものについては——線で表わした。
- 五、訓みの欄が空欄になっているものは、推定の根拠となるべき資料を発見できなかったもので、その場合は適当と思われる個所に配列した。
- 六、訓みに部分的な異同のある場合は、最も一般的と思われる訓みを採用した。
- 七、訓みに著しい異同がある場合は、最も一般的と思われる訓み(それが定め難い場合は、本番附目録中の最古の訓み)の項目に一括し、※印によってそれが代表的訓みであることを示した。他の訓みは該当個所に掲げて→印によって検索できるようにした。

〈例〉

あだくらべこいのみなと↓たてひきこいのみなと  
なまめかしこいのふなつき↓たてひきこいのみなと  
まぶときやくこいのふかがわ↓たてひきこいのみなと

八、上演年月は、元号、年—月 のように示した(年次はゴチックで示した)。なお、( )の数字は上方番附目録の、「( )」の数字は江戸番附目録の該当ページを示したものである。

あ

嗚呼忠臣楠柯夢

ああちゆうしんなんかのゆめ

明治二十二(151)

相生獅子余波英

あいおいじしなごりのはなぶさ

文化元(25)

藍桔梗五臓

あ「い」ぎ「き」よういつつかりがね

文政九(52)

藍桔梗鷹金五紋

あいぎきようかりがねごもん

寛政九(18)

文化四(28) 八(33) 十四(39) 文  
政八(50) 十一(56) 十五(57) 天保三(65) 五(69)  
七(73) 十二(87) 十四(91) 弘化二(95) 四(99)

嘉永元(8) 安政三(15) 文久二(18) 明治元(123)

三七(128)

藍桔梗鷹染

「あいぎき」ようかりがねぞめ

明治十五(139)

合詞四十七文字

あいことばしじゆうななもじ

嘉永二(103) 明治元(124)

愛護雅名歌勝鬨

あいごのわかめいかのかちどき

安永九(7) 寛政七(16)

逢見愛井字

あいたみたさいとしいのじ

弘化三(155)

相の山

「あい」のやま

天保七(71)

赤坂城皐花合戦

あかさかのじょうさつきがっせん

安永八(6)

明月恋最中

あかつきこいのもなか

天明八(11)

旭耀金丸山

あかねさすこがねのまるやま

安永三十一(5)

茜染浪花の色揚

あかねぞめなわのいろあげ

文化九(8) 八(34)

茜染野中隠井戸

あかねぞめのなかのかく「れ」いど

嘉永五(108)

茜染緑色幕

あかねぞめゆかりのいろまく

天保七(271)

赤松円心緑陣幕

あかまつえんしんみどりのじんまく

文政四(44) 六(47) 九(51) 天保六(71)

龜田富貴国名産

「あきたぶきく」にのめいさん

明治十五(142)

秋与話籬玉兔形

「あきのよわく」のつきがた

明治十三(134) 十四(137)

秋葉権現廻船語

あきはごんげんかいせんはなし

文化三(9) 十一(28) 十二(36) 文政四(45) 七(48) 八(52) 十一(49) 十一(55) 天保六(71) 七(72) 十一(82) 十四(90) 弘化三(91) 嘉永二(103) 万延元(116) 明治三(127) 五(129) 八(131) 十四(136) 十五(141)

暁烏祇園調

あけがらすぎおんはやし

文化三(27) 天保三(65)

明烏恋泡雪

あ「け」がらすこ「ろ」もよ「あ」くら

明治三十(128) 十八(147)

明烏頃夜桜

あ「け」がらすこ「ろ」もよ「あ」くら

明治二十三(125)

明烏後正夢

「あ」けが「ら」すのちの「ま」が「ゆ」め

嘉永四・九(107) 安政四・十一(114)

明慈鳥反哺講談 「あけがらすはんぼのこうだん」

明治二十一・七(149)

明烏雪の曙

明治十五・三(138) 十八・九(147)

明烏夢泡雪 「あけがらすゆめのあわゆき」

明治十二・五(133) 十三・十(134)

赤穂義士伝 「あこうぎしでん」

明治六・四(130)

朝顔日記 「あさがおにっき」

明治十五・六(141)

浅草靈験記 あさくされいげんき

寛政九・五・九(18) 文化元・四(25) 文政八・八(50) 十二・三・三

(57) 明治七・十(131) 十四・五(136) 十六・十一(145)

朝日新聞春麗夜

明治十五・一(138)

朝日新聞蒼福鳥 「あさひしんぶんはまれのふくしま」

明治十五・六(140)

朝比奈釣狐

明治十六・三(144)

浅間嶽面影草紙 「あさまがだけおもかげぞうし」

明治四・八(129)

蘆屋道満大内鑑 あしやどつまんおおうちかがみ

安永八・七(6) 天明二・九(8) 六・閏十(10) 八・十(11) 寛政六・

三(15) 十一・十一・十二(21) 十二・八(21) 文化元・九(25) 十二・

八(37) 文政七・五(48) 九・一(51) 五・六(52) 十一・二(55) 天保

元・閏三(60) 九・九・九(61) 二・二(62) 七・十(74) 八・七(76)

九九・九(79) 弘化元・二(82) 二・十一・十一(96) 嘉永六・五(109)

安政六・十一(116) 文久三・七(119) 明治十一(132) 十四・一(135) 十

五四(139)

翌の噂 あすのうわさ

弘化四・三(98)

〇〇慶名橋 あすのうわさうききなたちばな

文政十二・八(58)

吾妻海道茶屋娘 あずまかいどうちややのむすめ

文政十四・五(54) 十一・一・十一・三(55) 天保五・三・四(69) 十四・

六(91) 文久元・十二(118) 慶応三・五(121)

東鑑写錦画 あずまかがみうつすにしきえ

文化十四・十一(39) 文政元・十(40)

東鑑御狩巻 あずまかがみみかりのまき

安永八・六・九(6) 天明二・五(8) 寛政四・十(14) 十一・七(19) 文

化四・八・十一(29) 十二・八(37) 文政十一・五(55) 天保十三・九

(89) 弘化三・四(96)

吾妻からげ あずまからげ

天明元・三(7) 四・八(9) 天保十九(81)

東海道佐菅中山 あずま(くだりさよのなか)やま

明治十四・三(135)

東下富士曾我

明治十四・十二(137)

江戸花五枚錦絵 あずまさきこまいにしきえ

文政四・七(44) 八(45)

吾妻仕立梅織出 あずましたてうめのおりだし

天保四・四(67)

東訛恋深川 あずまなまりこ「い」のふかがわ↓えどなま

東の記行 りこいのふかがわ

「あずまのきこ」

寛政十一(九)(20)

吾妻の富士詣

享和元(二)(22)

吾妻土産開化囃

明治十五(七)(141)

吾妻土産恋掛橋

明治十五(二)(138)

吾妻土産恋錦絵

明治十五(五)(140)

東土産白縫草紙

明治二(九)(126)

東都産伊達雛形

嘉永元(八)(101)

吾妻土産戻り駕

天保十一(一)(85)

東紫色吉原

明治七(三)(130)

吾妻紫恋の色揚

明治四(一)(129)

仇討しやうぶ帷子

文政十一(六)(56)

酬双世話

天保七(一)(75)

颯恋湊

当四徳

仇結繻子帯

文政十二(九)(58)

あずまのふじもうで

〔あずまみやげかいかのあけぼの〕

〔あずまみやげこいのにしきえ〕

〔あずまみやげしらぬいぞうし〕

〔あずまみやげしらぬいぞうし〕

あずまみやげもどりかご

〔あずまむらさきいろもよしわら〕

〔あずまむらさきこいのいろあげ〕

あだうちしょうぶかたびら

あだうちばなし

あだくらべこいのみなと↓たてひきこいの

みなと

あだむすびしゆすのおび

安政四(八)(113) 五(一)(115)

戌歳見の熟梅

天保九(閏四)(155)

中増弓勢最貞訪

寛政六(一)(16)

当宝来鳥譚

明治二(一)(149)

当的高音発響矢

明治十一(二)(133)

当戌歳里見繁栄

明治七(十)(131)

適大倉蒼入胡言

明治十五(二)(138)

適傾城花大矢数

文政七(一)(48)

適忠臣誉礎

明治十五(二)(138)

好繻子帯屋

享和三(五)(24)

帰命曲輪敷

安永九(十二)(7) 文化八(三)(33)

姉妹達大礎

寛政七(一)(16) 八(一)(17) 文化六(五)(30) 十一(34) 文政六(九)

(47) 十一(53) 天保三(三)(64) 四(五)(67) 七(一)(71) 八(七)(91)

七(79) 十一(80) 十一(83) 十三(一)(87) 十(89) 十四(八)(91)

弘化二(四)(94) 安政四(二)の替り(113) 明治元(十二)(124) 十二(一)

(133) 十四(二)(135) 十五(六)(140)

あたりどしさとみのやつぶさ

あたりますゆみもひきかた

〔あたるいぬどしさとみのさかえ〕

あっぱれけいせいまくらのとおりや

〔あっぱれちゅうしんほまれのいしずえ〕

あつらえおりしゆすのおびや

あなかしこくるわぶんしょう

あねいもとたてのおおきと

油商人廓話 ※あぶらあきんどくるわばなし



享和三十五(24) 文化十三(八)(38) 天保二十一(62) 六(63) 七(八)

(73) 十一(74) 八(75) 九(80) 十一(85) 十三(81)

(89) 十四(91) 嘉永元(101) 十一(102) 安政五(113) 替り(114)

文久二(118) 明治六(130) 十五(140) 九(142) 十七(146)

二十一(150)

油商人廓話

あぶらうりくるわものがたり・あぶらうりくるわばなし・あ(ぶら)うりひとくるわばなし・あぶらあきんどくるわばなし

あ(ぶら)うりこい(の)やま(さき)

安政六(115)

あまてらすめぐみのいさおし

国家光豊歳祝賀

あまよのほととぎす

天保七(111) (75)

あみもようとうろはなぎり

網模様燈籠菊桐

あめがしたるききょうのはたあげ

明治十三(17) (134)

あやつりさしきゆかりのじつとく

雨下知桔梗旗上

あやつりさんぼそ

寛政四(16) (14)

あらいはりふるてかたびら

操座敷由縁十徳

あはせたいひなのせわごと

安永七(11) (6)

あらためてはなのさかづき

安政元(11) (110)

文政十一(13) (152)

新建寿連官

文政二(5) (41)

在原景凶浜松風

明治十五(7) (141)

有夜閑松の月影

明治十三(9) (134)

阿波の鳴戸

寛政十一(11)・十二(21) 文化六(9)・九(31) 天保十(10) (82) 十一(83) 明治十四(17) (136)

阿波能鳴門白浪

文政四(9) (45)

言時花娘緋鹿子

天六(15) (10) 文化六(4) (30) 天保八(11) (78) 十一(80) 弘化四(13) (98) 嘉永二(4) (103) 二(5) (104) 安政三(11) (112)

伊賀越

天保元(4) (60)

伊賀越道中双六

享和三(3) (24) 文化二(8)・八(26) 文政元(1) (40) 九(1) (51) 九(53) 天保三(11) (67) 七(3)・五(72) 九(11) (80) 十三(81) 九(82) 十一(84) 弘化二(11) (96) 嘉永六(4) (108) 明治三(4) (127) 十五(140) 七(141)

伊賀越乗掛合羽

天明六(12) (10) 寛政三(6) (13) 五(11) (15) 十一(19) 享和元(1) (22) 文化十一(9) (36) 十三(1) (37) 十四(6) (39) 文政五(1) (46) 七(1) (48) 八(9) (50) 十一(51) 十九(55) 十一(7)

い

いはいはやすむすめひがのこ

いごえのりかけがっぱ

いごえとうちゆうすごろく

いごえとうちゆうすごろく

いごえとうちゆうすごろく

いごえとうちゆうすごろく

いごえとうちゆうすごろく

いごえとうちゆうすごろく

いごえとうちゆうすごろく

(56) 天保二一(62) 三三(64) 四四(67) 六四(70) 七九(73)  
 一一六(84) 十二九(87) 十四六(91) 弘化元九(93) 四三(98)  
 六(99) 嘉永元四(101) 三十一(106) 安政元五(109) 二五(111)  
 四一・五(113) 万延元十一(117) 文久二十(118) 三七(119) 慶応  
 三十一(122) 明治元九(124)  
 伊賀越乗掛合羽道中双六 「いごえのりかけがっぱどうちゅうすご  
 明治十五(138) ろく」  
 伊賀越読切講釈 「いごえよみきり」こうし「やく」  
 慶応三四(121)  
 勢相撲番組  
 文政元九(40)  
 粹競梅の由兵衛  
 明治十七七(146)  
 誦競艶仲町  
 明治二十一(148)  
 幾野路解紐  
 弘化二十一(156)  
 潔楠漸  
 安永三十一(5)  
 勇ましき老嫗寿  
 文政五九(46)  
 石井美名録  
 明治十四七(136) 十五十一(142)  
 石川浜真砂  
 寛政十二三(21)  
 石畳嫩陣幕  
 寛政十一三(20)  
 伊豆院宣源氏鑑

「いきじくらべはでな——」  
 いくのみちとけたしたひも  
 いさぎよくすのきばなし  
 いさましきおいのことぶき  
 いしかわはまのまさご  
 いただいたみふたばのじんまく  
 「いず」いんせんげんじかがみ

文政十一八(56) 伊勢音頭恋寝鏡  
 いせおんどこいのねたば  
 寛政八七(17) 文化二五(26) 三三・八(27) 四七(29) 五十  
 一(30) 九五・十三(34) 七(35) 文政元五(40) 九三(51) 十  
 二(53) 十二四(57) 五・十(58) 天保元閏三・四・五(60) 二  
 二(62) 三九(66) 四三・四(67) 六五(70) 七四(72) 八十(77)  
 九九(155) 十五・五(81) 十一・八(84) 十二五(86) 十三三・三  
 (88) 八・九(89) 弘化元三(92) 五九(93) 四二(98) 五九(99) 嘉永元  
 一五(101) 五三(107) 八(108) 万延元十一(117) 慶応二四(120) 三五  
 ・八(121) 明治元五(123) 二五(125) 三四(127) 五八(130) 十二  
 二(133) 十三四・十(134) 十四五(136) 十五四(139) 十七一(145)  
 二一・一六(150)  
 伊勢音頭二見曙  
 明治十二三(133)  
 伊勢道中春日賑  
 明治十六一(144)  
 伊勢壱川崎音頭  
 天保元八(61)  
 髻鬘艶菊月  
 享和三九(24)  
 市川哉真砂御撰  
 天保元八(153)  
 一陽盆正月  
 寛政十一一(20)  
 殿下孀西国物記  
 天明五四(9)  
 一谷嫩軍記  
 明和四五(3) 天明二三(8) 六閏十・七九(10) 寛政五五・

いせはやけかわさきおんど  
 いたずらかみいろのきくづき  
 いちかわやまさごのごひいき  
 いちどきにぼんとしょうがつ  
 いちのか(か)さいこくばなし  
 いちのたにふたばぐんぎ

五・六五(15) 八八(17) 十七・七・十一(19) 享和二六(23)  
 三三(27)・八(28) 五七(29) 九一(33) 十三・五(34) 文政二  
 十一(42) 三十一(43) 四七(44) 五七(46) 七十二・八三・  
 三(49) 九五(52) 十九(55) 十一三(52)・八(56) 天保元五・  
 六(60) 八(153) 二六・九(63) 三十一・十一(66) 閏十一(67) 五  
 四(69) 七八(73)・十一(75) 八三(134)・八(76) 九八(79) 十  
 一(80) 十一六(83) 十二一(85) 閏一(86) 十三十一(89) 十四  
 一八(91) 弘化二三(94) 十一(96) 三一(96) 四一(98) 嘉永三  
 二・五(106) 安政三十一(112) 文久元五(117) 三十(119) 慶応二  
 三(120) 明治元五(123) 三三(127) 八十一(131) 十四四(135) 明治  
 十五(138) 五・六・六(140) 六・七・七(141) 十六(134)  
 十七一(146) 十八二(147) 二十六(151)  
 一陽來復渋谷兵  
 天保元十一(153)  
 井出の玉水  
 天明五十二(9) 文政二四(41)  
 糸桜本町育  
 文政三七(43) 天保五十三(69) 十二一(85) 文久元八(117)  
 糸に寄廓の恋柄  
 文政二七・八(41)  
 いとゆふ花の裳  
 文政七一(48)  
 稲雀誰來観  
 天保八八(76)  
 命懸色の二番目  
 天保九一閏四(155)  
 今入姿  
 文化二二(26)  
 今川本領猫魔館

いでのたまみず  
 いとさくらほんちちょうそだち  
 いとによるさとのこいづか  
 い「な」すずめたれもき「てみる」  
 いのちかけていろのにはんめ  
 いまいりすがた  
 いまがわほんりようねこまたやしき

天保元二(59)  
 往古曾根崎村騒  
 天保七三(72)  
 今昔相宿嚇  
 安政三八(112)  
 今昔噂大汐  
 明治十二三(133)  
 今様糸のしらべ  
 寛政二十(12)  
 今様三番叟  
 天明八十一(11)  
 今様四季の花笠  
 享和元一(22)  
 今様酒宴談  
 寛政五三(14)  
 今様道成寺  
 明治十七四(146)  
 春陽三獅頭  
 文政十一(53) 三(54)  
 今様夕霧卷  
 安政九二(7)  
 妹背鳥達の四紋  
 天保十三四(88)  
 いもせのあくた川  
 明和三三(3)  
 妹背の門松  
 文化十一九(36) 十三十二(38) 文政七十二(49) 天保二三・  
 三(62) 天保九二(78) 嘉永六十一(109) 明治十四十二(137) 十  
 いまはむかしそねぎむらのうわさ  
 いまむ「か」「あい」「や」「ど」ばな「し」  
 いまよういとのしらべ  
 いまようしきのはながさ  
 いまようしゅえんぐるま  
 いまようゆうぎりのまき  
 いませどりたてのよつもん  
 いもせのかどまつ

五十一(143)

いもせのはしりがき

安永六(5) 九五(7) 寛政三七(13)

妹背山婦女庭訓

いもせやまおんなていきん

天明元(9) 二(7) 二七(8) 寛政二四(12) 三二(13) 享和三四

(24) 文化元二(25) 二三(26) 二八・一(37) 四九・十

・一(39) 文政三九(43) 四一・三・三(44) 十一(45) 文政九

二(51) 四・五(52) 十二・一・天保元一・一・二(59) 八(153)

二四(63) 三一(64)・七(65) 四三(67) 六六(70) 八七(76)

九一・一・十三(80) 十一(84) 十二(85) 四(86) 十三(88)

(88) 弘化元八・九(93) 二八・十(95) 嘉永元三(101) 二二

(103) 三三(106) 安政三三(112) 五三(114) 万延元三(116) 慶応

三五(121) 明治元一五(123) 八四(131) 一八(147)・一(148) 二

十二(151)

妹背山吉野桜咲

いもせやまよしののかえりざき

天保七(9) 一(154)

入間詞大名賢儀

いるまことばだいみょうかたぎ

寛政四一(13)

入間詞著の大倉

明治十四三(135)

潤色染分総

いろあげそめわけたづな

文政五十一(46) 天保二二(62)

色一座恋立引

いろいちざそがのおおよせ

明治二十四(149)

色一座曾我大寄

いろがわせくるわおうらい

文政十二一(152)

色為替花街往来

文化六一三(30)

色競秋七草

いろくらべあきのななくさ

慶応三八(121)

艶競石川染

いろくらべいしかわぞめ

天保十二一(87)

色くらべ娵振袖

いろくらべがいふりそで

文政十二二(55)

色競九重錦

いろく「ら」べこ「この」え「にしき」

文久元八(117)

色競三国湊

明治十五二(138)

色競月桂雄

いろくらべつきのかつらお

文政三九(43)

色競統絵合

いろくらべ「つづ」きえあわせ

天保十一一(82)

色競統箭戦

いろくらべのちのやあわせ

天保四一三(14)

色競二人道成寺

「いろくらべ」に「んどうじょうじ」

明治三一(127)

色盛八丈鏡

いろざかりはちじょうかがみ

寛政六一八(15)

色時雨浮名驪夜

いろしぐれうきなおほろよ

天保二一八(63)

色仕込今織上布

いろ「ろ」じこ「み」ま「おり」じょう「ふ」

安政二一五(111)

色揃稚の桜

いろそろえめばえのさくら

天保八九(77)

色波浮乗合

いろづくなみういたのりあい

天保八十一(154)

色直肩毛氈

いろなおしかたのもうせん

天保元一〔153〕

其扇屋浮名恋風

いろにおうぎうきなのこいかせ

文化十三一八〔38〕

色世界情写真鏡

いろのせかいこころのうつしえ

明治二一三〔125〕

いろは歌桜秀逸

いろはうたはなのしゅういつ

文化九一・二〔33〕 文政十十一〔55〕 十二三〔57〕 天保二十〔63〕

安政三三五〔112〕・十一〔113〕

いろは歌菅桜花

いろはうたはまれのめいぼく

文化三一〔27〕 四一〔28〕 文政元九〔40〕 六五〔47〕 十二五〔58〕

天保十三四〔88〕 文久元一三〔117〕

いろは仮名随筆

いろはがなききがきぞうし

文政二一八〔152〕 天保五十五〔69〕

いろは仮名四十七訓

いろはがなしじゅうななもじ

寛政三十九〔13〕 四一六〔14〕 六一六〔15〕 嘉永元三三〔101〕

いろは仮名四谷怪談

いろはがなよつやかいだん

文政九一〔51〕 九〔53〕 天保四一三〔67〕 十五〔81〕

いろは蔵三組盃

いろはぐらみつぐみさかさき

文化八一九・十一〔33〕

いろは文字読切講釈

〔いろはもじよみきりこうしゃく〕

慶応三三三〔121〕

いろは物語

〔いろはものがたり〕

明治十四一七〔136〕

情淡累物譚

いろみぐさいっせのことぶき

明治十五一七〔141〕

紅葉一世寿

いろみぐさいっせのことぶき

天明二一・十〔8〕

色湊初新米入船

いろみな〔と〕はつ〔に〕のいりふね

明治二一〔125〕

色楓累奇談

いろもみじかさねものがたり

文化十七七〔35〕

岩井入舛春戲場

いらいりますはるのかおみせ

寛政八一〔17〕

岩井歌曾我対面

いわいうたそがのかおみせ

天保十二〔155〕

岩井寿千代松本

いらいことぶきちよのまつもと

文政三十・十〔43〕

石井城女名和張

いわいのじょうおんな〔なわばり〕

安政七一二〔6〕

岩井風呂

いらいぶろ

天保二六〔63〕

岩井風呂時雨傘

〔いらいぶろしぐれのからかさ〕

明治八七〔131〕

岩見重太郎

いわみじゅうたろう

嘉永四三〔106〕 安政二二三〔111〕 四一五〔113〕 明治十六一〔144〕

う

植木屋文蔵廓越

※うえきやぶんぞうさとのいろいろいと

文化十四一七〔39〕 文政元一八〔40〕 三九〔43〕 天保十一一十〔84〕

植木屋文蔵遊里恋風

うえきやぶんぞうさとのこいかせ

寛政十一一七・八〔20〕

植見恋咲分

うえてみよこいのさきわけ

寛政二一五〔12〕

上の幕明霞前弾

——のまくあきかすみのまえひき

文政十二一十一〔153〕

狂乱恋懸児

文政十一(152)

うかれごころほだしのかけわな

浮名の仇浪

文化十一(111)・十一(136)

うきなのあだなみ

うきなの白妙

安永七(4)・四(6)

うきなの「しろたえ」

浮名の種油

文久二十一(119)

「うきなのたねあぶら」

浮名の初霞

文化五(29)

「うきなのはつがすみ」

浮名の春雨

弘化三九(97)・十一(98)

うきなの「はるさ」め」

色説販

文政四十二(45)・七五(48)・天保十四(81)・弘化四三(98)・嘉永二(103)・安政五(114)

うきなのよみうり

浮世画筆傍

天保七(71)

うきよえしふでのおもかけ

浮世柄比翼稲妻

明治元(7)・七(14)・十三(16)・十三(16)

「うきよぶかひよくのいなすま」

浮世態走馬燈籠

明治十八(147)

「うきよのさままわりどうろう」

奉掛彩の絵馬堂

天保八(77)

うけたてまつるいろのえまどう

正八幡再来佐殿凱歌

安永九(11)・十一(7)

うじしんさいらいすけどののかちどき

丑天神血染宮入

天明二(7)・七(8)

うしてんじんあけのみやいり

うす雪物語

明治十五(138)

「うすゆきものがたり」

歌競龍王滝

安永八(7)・七(6)

うたくらべりゆうおうがたき

歌祭文妹背門松

明治十七(146)

うたひらきあきのななくさ

詠開秋七種

文化四九(29)・天保四(67)

うたまくらさとのかわず

歌枕花街蛭

天明七(10)

うちこんだゆかりのじつとく

打込縁十徳

天保七(9)・九(74)

うちでのこだから

打出の子宝

文化六(8)・八(31)

うちひやくばんふじたいこ

内百番富士太鼓

寛政五(15)・文化十三(37)・天保三四(65)・弘化三七・九

一陽扇勝鬨

文化元(11)・十一(25)

うちまねくおうぎのかちどき

移籬仇名草

明治十四(135)・二十一(151)

「うつしまがきあだなぐさ」

宇都宮前後紀聞

明治二十五(151)

※うつのみやいちにのききがき

宇都宮鉦斧手始

明治八(131)

「うつのみやちよんとてはじめ」

宇都宮錦釣夜衾

明治十二(133)・十六(145)

うつぼざる

靱猿

文政八(3)・三(49)

靱猿適大倉誉入問言

明治十六一(144)

腕誠寛劔法

〔うでだめしおぼえのけんぼう〕

明治二十一(150)

午歳手綱神祭祀

うまのとしたづなのしんじ

明治十五一(138)

梅幸薫伽羅

う〔め〕さいわいかおり〔めい〕ほ〔く〕

安政元九(110)

梅咲東土産

うめさくやあずまみやげ

天保十二(186)

梅魁後花総

〔うめのさきがけあとのはなぶさ〕

明治元十(124)

梅魁天神利生記

明治十四二(135) 十二(137)

梅准東百官

うめのなぞらえあずまひゃっかん

安永七十一(6)

梅浪華早咲源氏

うめのなにはわはやさきげんじ

文政八一(51) 天保八九(77)

梅初春五十三駅

うめのはつはるご〔じゅ〕うさんつき

天保十二三(86)

梅の由兵衛

〔うめのよしへえ〕

明治十五五(140)

梅紅葉浪花丹前

うめもみじなにわたんぜん

天明七九(10)

梅紅葉浪連入得

うめもみじなにわのいりえ

安永六一(6)

裏表桜彩幕

うらおもてさくらいろまく

天保八一三(154)

裏表千本桜

うらおもてせんぼんざくら

天保十二五(155)

裏表忠臣蔵

うらおもてちゅうしんくら

天保八一八(76)

裏表嫩軍記

〔うらおもてふたばぐんき〕

慶応三十一(122) 明治十六八(145)

裏表誠忠臣講釈

明治二十一(150)

浦島太郎玉写絵

うらしまたろうた〔まのうつしえ〕

嘉永五一(107)

うらみの恋衣

うらみのこいころも

文化五五(29) 七・七(30)

噂有東土産

う〔わ〕さある〔お〕このさいしき

弘化二八(95)

噂聞恋定紋

慶応三九(122)

噂大塩浪花紀聞

明治十五八(141)



画合更科話

〔えあわせさらしなばなし〕

明治十六一(143)

絵合太功記

えあわせたいこうき

文化二七(26) 文政八三(49) 天保十三十・十(89) 弘化元十

(93) 三閏五・十(97) 四三(98) 五(99) 安政六十一(115)

絵合都名所

〔えあわせみやこめいしよ〕

明治元十一(124)

絵合桃山錦

えあわせももやまにしき

天保八(九)(77)

英傑三略卷

嘉永三十一(106)

惠蔵入

寛政八十一(17)

絵空言似親面影

寛政八十六(17)

越後縮、十人伐

明治十五(九)(142)

越前三国夫婦塚

文化十四(十一)(39)

越海扇子橋

明和七(九)(4)

江戸画姿

寛政七(一)(16) 八(一)(17) 文化六(五)(30) 天保十三(一)(87)

江戸桜衆袖土産

天保元(三)(153)

江戸仕入俠安売

文政四(五)(44) 十二(一)(59) 安政元(十一)(110) 五(三)(114)

東訛恋深川

文化三(七)(27) 天保二(四)(63) 十三(三)(88) 嘉永元(十)(102) 文久

三(三)(119) 明治二(一)(125)

江戸紫男道成寺

天保十四(十一)(155) 安政五(三)ノ替り(114)

江戸紫比翼鷹金

安政二(五)(111)

江戸紫娘道成寺

文化二(一)(26) 文政九(一)(53)

えいけつさんりやくのまき

えがおのくらしいり

えそらごととにせのおもかげ

江都紫由縁鉢巻

文化十三(八)(38)

江戸料理幟隨長兵衛

文政三(六)(43)

惠宝大功記

寛政十二(十一・十二)(22) 文政四(一)(44)

絵本黄鳥墳

天保八(四)(75) 明治元(九)(124)

絵本善知鳥物語

文化十三(九)(38) 天保元(十一)(61) 十一(62) 七十一(74) 文久

二(八)(118)

絵本合法衛

文政十一(九)(152)

絵本亀山嘶

明治二(四)(125)

絵本巖流島

文政十一(一)(55)

絵本木曾山伝記

文化十三(七)(37)

絵本里見八犬伝

天保六(閏七)(70) 弘化元(八)(93)

絵本更科話

天保三(八)(66)

絵本先代藕

天保四(三・三)(67)

絵本太功記

享和二(七・九)(23) 文政元(八)(40) 九(三)(51) 天保六(一)(69) 十

三(八)(89) 弘化二(十一)(95) 四(八・九)(100) 嘉永二(二)(103) 八・

えどむらさきゆかりのはちまき

えどりょうりばんずいちょうべえ

えほうたいこうき

えほんうぐいすづか

えほんうとうものがたり

えほんがっぼうがつじ

えほんがんだりゆうじま

えほんさとみはっけんてん

えほんさらしなばなし

えほんせんたいはぎ

えほんたいこうき



八(104) 六十一(109) 安政二(111) 五二(114) 慶応三(121)

明治元三・三(122) 四(123) 二九(126) 四一・一(129) 十一・九(132)

十三・六(134) 十五・六(140) 十六・四(145) 十八・五(147) 二十一(149)

二十一・十一(150)

絵本太当記

弘化二(156)

絵本忠臣蔵

享和元・四(22) 二六(23) 三七・七(24) 文政八(51)

絵本筑紫翫

天保七・九(74) 八一(75)

絵本殿下茶屋聚

天保三三(64) 十三(81) 十一・五(83) 弘化二(94) 四七(99)

絵馬揃四季筆勢

天明元(7)

遠州中山染

寛政九・九(18) 慶応元(120)

艶色種雨話

文化元(9) 二五

役行者大峰桜

天明四・五(9)

ゑんの綱誓玉取

寛政元三・四(11)

縁を結びし四人同道

寛政七・二(16)

お

扇矢数四十七本

おうぎやかずしじゅうしちほん

寛政九三・五(18) 文政二(7) 天保四(7) 慶応三(6) 慶応三(6) 慶応三(6)

奥州安達原

明和二(5) 三(3) 天明七(4) 寛政元(6) 文化八(2) 文政二(8) 四(4) 十一(2) 十五(5) 天保元(1) 五(5) 八(3) 三(7) 九(7) 十三(8) 十八(9) 二十二(9) 弘化四(3) 九(8) 十(10) 嘉永二(4) 四(10) 安政三(5) 十一(11) 万延元(9) 文久二(11) 明治元(9) 六(5) 十三(13) 十五(13) 五(13) 六(14) 二十六(15)

文化十三(8) 三十八(38)

近江源氏の森景

文化十三(8) 三十八(38)

近江源氏先陣館

天明二(9) 八(8) 寛政元(7) 二(9) 五(9) 十二(12) 十三(13) 文化二(4) 五(26) 三(27) 七(32) 八(31) 十一(33) 十四(34) 閏十一(35) 文政二(41) 三(42) 五(46) 九(48) 十二(58) 天保二(64) 三(65) 四(67) 十三(90) 弘化三(9) 四(11) 嘉永二(10) 二(103) 四(9) 五(10) 安政元(11) 三(11) 八(11) 万延元(5) 文久二(5) 五(11) 十二(11) 明治三(11) 六(13) 七(12) 十二(13) 十四(13) 十五(13) 十八(13) 十八(14) 二十(15) 二十一(15)

近江源氏繪講釈

安永元(3) 四(4) 六(8) 五(5)

近江源氏の森景

文化十三(8) 三十八(38)

近江源氏先陣館

天明二(9) 八(8) 寛政元(7) 二(9) 五(9) 十二(12) 十三(13) 文化二(4) 五(26) 三(27) 七(32) 八(31) 十一(33) 十四(34) 閏十一(35) 文政二(41) 三(42) 五(46) 九(48) 十二(58) 天保二(64) 三(65) 四(67) 十三(90) 弘化三(9) 四(11) 嘉永二(10) 二(103) 四(9) 五(10) 安政元(11) 三(11) 八(11) 万延元(5) 文久二(5) 五(11) 十二(11) 明治三(11) 六(13) 七(12) 十二(13) 十四(13) 十五(13) 十八(13) 十八(14) 二十(15) 二十一(15)

東画本似顔怪談

文政九(51)

大石摺桜花短冊

文政五(3) 三(46) 天保八(9) 七(7)

おおいしずりさくらたんざく

おえどがほん——かいだん

東画本似顔怪談

文政九(51)

大石摺桜花短冊

文政五(3) 三(46) 天保八(9) 七(7)



大社夫婦最貞綱 おおやしろえんのひきづな

文化二十一(27)

小笠原流礼忠孝 おがさわらしょれいのおくのて

明治十四・十一(137) 十六・十二(145) 十七(四)(146) 二十一・九

(150)

置土産今織上布 おきみやげいまおりじょうふ

寛政十八(19) 文政八・七(50) 天保三・五(65) 四・八(68) 七・五

(72) 十七(81) 天保十(82) 弘化二・七(95) 嘉永元・四(101)

明治十五・七・七(141) 十七・七(146) 二十七(149) 二十一・七(150)

置土産和合二柱 おきみやげわごうのふたばしら

明和八・十(4)

御国入貢諷 おくにいりみつぎのふなうた

天保十二・八(155)

御国名物花菅笠 おくにめいぶつはなのすげがさ

寛政十二(21) 文化三・八(28) 九・一(33) 天保三・九(66)

小栗判官車街道 おぐりはんがんぐるまかいどう

安永七・四(6) 文政二・八(152) 九・三・五(52) 十三(81) 十一

十(84) 天保十一・十一(85) 明治三・五(123)

桶狭間合戦 お「け」はざ「ま」か「せ」ん

文政十一・八(56)

稚軍法娘袖武蔵 おさなぐんぼうじゅうろくむさし

天保十四・十一(155)

幼稚子敵討 おさなごのかたきうち

寛政四・八(14) 十一・五(20) 十二(21) 十五・四(86) 文政五・三

(46) 十一・四(55) 天保二・十(63) 八・十一(78) 十一・八(84) 十

二・四(86) 嘉永二・三(103) 安政四・九(114) 万延元・五(116) 文久三

一・四(119) 慶応三・九(121)

奉納救入浜 おさめたてまつるこがねのくらしいり

奉納救入浜 おさめたてまつるこがねのくらしいり

文政二十(21) (59)

奉納名代

文政四・一(44)

俣や颯袖褌

天明七・十一(10)

遅宇治淀の入船

安永五・十一(5)

お染久松色読販

文政三・十・十(43) 天保三・一・二(64) 七・九・十(74) 八・八(76)

十一・五(83) 安政六・八(115) 明治元・九・十一(124) 二・九(126) 十

三十(134) 二十一・五(150)

許給拙振袖

文化十一・一(35)

伝話根潤美幸増

安政五・一(114)

御伽嘶箱崎文庫

明治元・四(122)

御伽話譚蒼高橋

安政元・閏七(109)

堂島救入浜

文政六・三(47) 八・五(49) 九・三(52) 十七(54) 天保元・二(59)

十四・四(91) 嘉永三・三(106) 四・八(107) 安政二・二(110) 六・五(115)

文久二・三(118)

男競三国湊

明治七・十二・八・一(131) 十二・十一(133) 十五・三(138) 九(142)

二十一・十一(150)

男作三国湊

明治十七・三(146)

男作三国湊

おさめたてまつるめいがのほまれ

おしなべてひくやそでつま

おそうじもよどのいりふね

おそめひさまつうきなのみりうり

おそれありおにもじゅうはち

お「でんばなしねず」みこう「し」

おとぎばなしはこさぎぶんこ

おとぎば「なしほまれ」のたかはし

※おとこいっぴきすくいのためひき

「おとこくらべみくにのみなと」

「おとこくらべみくにのみなと」

「おとこくらべみくにのみなと」

「おとこくらべみくにのみなと」

「おとこくらべみくにのみなと」

「おとこくらべみくにのみなと」

男作五鷹金

※おとこだていつつかりがね

享和元十一(22) 文政五十二(46) 八一三(49) 九十一(53) 十二

二(57) 天保二三(62)・五(63) 七八(73) 十六(81) 十一

(83) 六・七(84) 十(85) 十二四・四(86) 弘化元十二(94) 二

十一(95) 四九(100) 安政六三三(115) 万延元二(116) 慶応二三

(120) 明治元八・九(124) 十一十二(133) 十六十二(145)

男立恋深川 ※おとこだてこいのふかがわ

文化元十(25) 文政二十一(42) 天保元三(59) 三十(66) 七

八(73)

男哉女鳴神

おとこなりけりおんななるかみ

寛政六四(15) 文政十一八(56)

雄山百羽重

おとこやまもはかさね

寛政五八(15)

音菊東土産

おとにきくあずまのおみやげ

天保十一十一(85)

音聞韓曲者

おとにきく「く」いこくのくせもの

安政二八(111)

音聞殿下茶店聚

おとにきくてんがちややむら

嘉永元四(156)

音菊浪花賑

「おとにきくなにわのにぎわい」

明治三八(128)

音大岡公天一防夷記

おと「もよしすずななたねまき」

明治十五(139)

音能松種詩

おと「もよしすずななたねまき」

文久二一二(119)

をどり橋

おにかかったしよきのはなし

明治二六八(151)

鬼勝鐘馗噺

文化四四(28)

鬼若名残誓

おにわかながりのもとどり

文政十二九(58) 慶応三九(122)

尾上岩藤後日話

おのえい「わふじごじつのはなし」

嘉永二一(102)

小野お通七段譜

おのおつうしちだんけいず

天明四一三(9)

小野小町詠歌着

明治十四一三(135)

小野道風青柳観

おののとうふうあおやぎすずり

明和五三(3) 安永六十一(6) 天明八三(11) 寛政八三(17) 九

一閏七(18) 文化六十一(31) 十四・五(34) 十一(35) 十二

(37) 文政十一六(56) 天保三七(65) 八十(77) 十四(81) 十

一(82) 十一六(84) 十二四(86) 十三三(88) 弘化二三(94)

三五(96) 四九(100) 嘉永元七(101) 二五(104) 六四(108) 安政

四十一(114) 六八(115) 明治六四(130) 十五一(138) 十六三(145)

帯の文桂川水

おびのあやかつらのかわみず

天保三二(64)

隼月現玉章

おぼろづきうつつのたますき

天明二二(8)

隼月桂川水

「おぼろづきかつらのかわみず」

文久三八(119)

隼月恋の柵

「おぼろづきこまつがはら」

明治三三閏十(128)

隼月小松原

おぼろのかつらがわ

明治十七七(146)

隼のかつら川

おぼろのかつらがわ

文化九一二(33) 天保三二(64)

既喜三太轡勝鬨

文化六十一(31)

おうまやきさんたたづなのかちどき

思深川

文化十一(35)

おもいのふかがわ

思の八重霞

文政四一三(44)

おもいのやえがすみ

佛鐘入の段

享和元一四(22) 二一五(23)

おもかげかねいりのだん

面影色見艸

寛政十一九(19)

おもかげいろみぐさ

水鏡化粧姿

安永三三三(5)

おもかげうつすけわいがた

佛娘道成寺

寛政十二四(21)

おもかげむすめどうじょうじ

面顯六歌仙

明和七十二(4)

おもかげ〔ろっ〕かせん

思花街容性

天明四一八(9) 享和三一(23)

おもわくくるわかたぎ

未熟ちよつと五変化

弘化三一(96)

およばずながらちよつといつばけ

拙業浮名賑

明治十五六(141)

およばぬりでつなのおおみせ

拙業菖木偶

明治十五五(140)

およばぬりでつなのおおみせ

鈍業綱顔鏡

天保元一十一(154)

およばぬりでつなのおおみせ

拙業若木楓

明治二十一十一(150)

及成駒○中仲

天保十一(155)

およびなるこまねもなかなか

織合安榮録

文化八一(32) 文政七四(48) 天保二四(62) 三四(65) 十二

おりあわせあんえいろく

織合団七縞

一(85) 安政二五(111)

おりあわせだ〔ん〕しちじま

弘化元一益替リ(93)

織合襪襦錦

安永七九(6) 天明三七(8) 寛政二十(12) 六十(16) 十四

おりあわせつづれのにしぎ

(19) 享和二六(23) 三九(24) 文化七六(32) 十(35) 十三

閏八(38) 文政四一(44) 五七(46) 十一(56) 二十(58)

天保十四一五(91)

おわりでんないはこねのうわさ

小割伝内箱根嚙

天保十一一七(84)

おわりでんないはこねのうわさ

恩愛の三度笠

文化六一三(30)

〔おんあいのさんどがさ〕

恩愛の不動坂

寛政元一九(12)

おんあいのふとうざか

恩愛の乱菊

文政七五(48) 文久三七(119)

おんあいのみだれぎく

恩愛晴関守

文政十一一十一(152)

おんあひとめのせきもり

御詠博多織

天明八一八(76)

おんあつらえはかたおり

女扇目差鶴

天保八一(154)

おんなおうぎめざしのつる

女鷹金廓繻

文化二一八(26)

おんなかりがねくるわぬいもの

婦女教訓孝子普

明治八十一(131)

女猿曳鬮諷

おんなざるまわしかどでのひとふし

文政七五(48) 天保九六・七(79) 十一(80)

女節用衣紋看見

おんなせつようえもんかがみ

安永九四(7)

女作五鴈金

おんなだていつつかりがね

文政九十一・十二(53)

女庭訓倭詞

おんなていきんやまとことは

文化四三(28)

女鉢の木

おんなはちのき

明和五九(4) 天明六三二(10) 寛政四五(14) 享和三二(24) 文

化四四(28) 十四十一(39) 文政元八(40) 二六(41) 三一(42)

五六(46) 九三(51) 十一六(56) 天保七八(73) 十四二(90)

嘉永二二(103) 安政二二(110)

女非人敵討

おんなひにんかたきうち

天保十三五(88) 弘化元八(93)

媚風俗文選

おんなふうぞくもんぜん

寛政元三・四(11) 文化元三・四(25)

御最眞春団玉甃

おんめぐみ(はる)の(たまもの)

嘉永六一(108)

御惠月景清

おんめぐみつき(の)かげき(よ)

天保十四十一(92) 弘化二一十(95)

か

玉牛宝蔵入

文政十一十一(57)

かいうんたからのくらしいり

会稽信田雪船諷

弘化二十一(156)

男夏鉢の木

かいけいしのだみつぎのふなうた

文政九七(52)

会稽富士俣

かいけいふじのほまれ

寛政四五(14)

会稽雪鉢木

かいけいゆきのはちのき

天保八九(77)

凱陣桃山譚

「がいじんもやまものがたり」

明治十五三(138)

甲斐詣七面身延

かいぞなきひとめしのぶ

天保元六(133)

開発廓歩尺

かいはつさとのけんざお

寛政三四(13)

替唱歌系の時雨

かえしゅうかいとのしぐれ

寛政十二七(21)

復咲後日梅

「かえりざき(に)ちのうめ」

明治十六三(144) 九(145)

都婦花染分手綱

かえりばなそめわけたづな

文化十四十一(39)

狂華法手向

かえりばなのりのたむけ

天保七九(154)

粧花雪吉野

かえりばなゆきのよしの

文化八十七(33)

顔見世寿戎

かおみせむろのはやざき

天保九十二(80)

顔見世浪花梅魁

かおみせむろのはやざき

天明七十一(10)

加賀見山廓写画

明治十六四(145)

鏡山廓写本

安永九(7) 天明七十一(10) 寛政二十九(21) 文化十一(8)

(35) 文政元一(39) 十一(57) 天保三四(65) 七十(74)

十二(85) 明治三三(127)

鏡山故郷錦

天保元二(59) 嘉永五二(107) 明治三五(128)

鏡山旧錦絵

天明三七(8) 寛政九七(18) 文化三三・八(27) 文政元一(39)

四十一・十二(45) 五十一(46) 十一・六五・九(47) 十二三

・四(57)・五(58) 天保七五(72) 九一(78) 十二四(86) 弘化

二二(94)・十・十一(95) 十一(96) 四四(99) 安政四十一(114)

文久元三(117) 明治元四(122) 二四(125) 五三(129) 八五(131)

十四七(136)・十一(137) 十五六(140) 十七二(146) 十八一(147)

二十(149) 二十二(151)

鏡山故郷錦

かがみやまこきょうのにしき  
かづらがわれんりのしがらみ ぬいいれ

桂川連理柵

鏡山再統傍

天保十三三(88) 安政二一(110)

加賀見山廓写本

かがみやまごにちのおもかげ  
かがみやまさとこのききがき↓かがみやまく  
るわのききがき

鏡山姿写絵

嘉永五十一(108)

鏡山錦栴葉

「かがみやまにしきのもみじば」

明治十三一(133)

加々見山花婿合

享和三九・九(24)

鏡山花姿絵

慶応三三(120)

神楽獅子真猿賑

嘉永四十一(107)

不負江戸男娼板

文政十一三(152)

傘岩本足

天保二六(63)

重井筒

寛政二十(12) 九五(18) 文化十一九(36) 十四五(39) 文政二

十一(42) 三十一(43) 五三(46) 八八(50) 十九(55) 十二

三(57) 天保七八(73) 十(82) 十一八(84) 十四(92) 弘

化二二(94) 四九(100) 嘉永二二・三一(105) 安政二一(111)

六十一(116) 明治元八(124) 三三(128) 十一二(133)

重扇栄松朝

天保八九(77) 九五(79) 十一八(84) 安政元二(109) 八(110)

重扇寿松若

天保十二五(155)

重扇菰の伊達染

天保十二五(86)

かさねが淵恋柵

弘化三七(97)

重襦袢の小夜衣

嘉永六一(108)

かさね物譚

かがみやまはなのえあわせ

「かがみやまはなのすがたえ」

かぐら——まさ——にぎ「わい

かけねなしえどっこりょうり

かさねいづ

※かさねおうぎさかえのまつわか

かさねおうぎちよのまつわか

かさねおうぎはぎの「だ」てぞめ

かさねがふちこ「い」し「がらみ」

かさねづ「まねや」の「せよ」ぎぬ

明治十五十一(143)  
笠松峠女賊

かさまつとうげおんなと(うぞく)

弘化四(90)

傘轆轤浮名濡衣

〔かさのろくろうきなのぬれぎぬ〕

明治二十一(9)

棍原平三希代誠

※かじわらへいぞうきだいのいしきり

文政五十一(46) 天保十一(85) 弘化元(92) 安政三十九

(112) 万延元十一(117) 慶応三十一(122)

棍原平三希代誠

かじわらへいぞうきだいのいしづ(え)

↓かじわらへいぞうきだいのいしきり

棍原平三紅梅綱

かじわらへいぞうこうばいたづな

文政四十三(34) 天保八九(77) 九閏四(79) 十一(81) 嘉永

元一(101) 二九(104) 安政四一(113) 明治二二(125)

風そよぐうき名の仇なみ

文政六十三(47)

歌仙六玉川

〔かせんむたまがわ〕

寛政十一(20)

片男波和歌浦松

かたをなみわかのうらまつ

明治二十五(151)

敵討天橋立

かた(き)うちあまはしたて

明治九一(131)

敵討安栄録

かたきうちあんえいろく

寛政八十九(17) 文化十二(36) 文政三十三(42) 七(48) 天保

元三(60) 十一(62) 三十三(64) 八五(76) 弘化四一(99)

敵討岩見重太郎

かたきうちいわみじゅうたろう

明治二十一(150)

敵討岩見譚

〔かたきうちいわみものがたり〕

明治十六一(143)

敵討優曇華龜山

かたきうちうききのかめやま

安政二八(111) 文久元一三(117)

敵討浦朝霧

かたきうちうらのあざぎり

文化十二(9) 十一(37) 文政十一(56) 十二(57) 天保二

四(62) 七(74) 九(79) 十九(81) 十一(82) 十三(89)

十四(90) 九(91) 弘化三十一(97) 十一(98) 四十一(100) 安

政二四(111) 慶応三十九(121) 明治元一六(123)

敵討兄弟標

かたきうちおとといつか

享和三九(24) 文化元一八(25) 十三閏八(38) 文政十□(54) 天

保十三(89) 弘化三十(97) 嘉永三八(106)

敵討御末刻太鼓

〔かたきうちおやつのたいこ〕

明治十六(145)

敵討女非人

かたきうちおんなひにん

享和元一三(22)

敵討かしくの郷

かたきうちかしくのさと

寛政五十八(15)

敵討龜山断

かたきうちかめやまはなし

天保八九(77) 十一(84) 十四(91) 嘉永二五(104) 慶応三

九(122) 明治二三(125) 三二(127) 十四(135) 十五(143)

敵討敵流鳥

かたきうちがんにゅうじま

享和二十(23) 文化十三(37) 閏八(38) 文政二五(41) 三五

(42) 八四(49) 九九(53) 天保二九(63) 三九(66) 六五(五

七〇) 八十一(78) 十一(85) 十二閏一(86) 十三(86) 十三(三

六(88) 十四(90) 弘化元一(92) 三十一(97) 嘉永元一三

(101) 二四(103) 九(105) 五五(108) 安政二十一(111) 文久

元一(117) 二二(118) 明治三三(127)

敵討橋下の富士

かたきうちきょうかのふじ

寛政十一(20)



復讐孝子誉

明治十三六(131)

敵討郡山染

寛政三十一(13) 文化六八(31) 文政二七(41) 天保三三五(65) 十

一(66)

敵討湖水曙

明治元一二(122) 二四(125) 十五十二(143) 二十一十(150)

敵討金毘羅利生

寛政六六(15)

敵討勝帷子

天保三三六(65) 四一七(68)

敵討千手護助鋌

寛政二八(12) 三三三(13) 四八(14) 十一(19) 十一三(20)

文化元一五(25) 八七(33) 九八・十(34) 十一十(36) 文政八

九・九(50) 天保元九(61) 七十一(75) 十一六(84) 嘉永六五

(109) 安政三三四(112)

敵討崇禅寺馬場

文政六九・九(47) 七八(48) 十二六(58) 天保二二五(63) 三

五・五(65) 閏十一(67) 七三・五七(73) 八五(76) 十一

(78) 十九(81) 十二八(87) 弘化元四(92) 三五(96) 嘉永二

閏四(104) 安政四一九(114) 明治二一九(126)

敵討高砂松

文政十二一六(58) 天保十二九(87) 慶応元一八(120) 明治元一五(123)

九(124) 二二・三・五(125) 三七(128) 十四一十(137)

復讐高音鼓

文化五八・十一(30) 十二九(37) 文政元九・十一(40) 天保元

一一(59) 二二一(63) 七一(71) 十九九(82)

敵討丹波噂

かたきうちこおりやまぞめ  
かたきうちせんじゆのすけだち  
かたきうちしょうぶかたびら  
かたきうちたかさごのまつ  
かたきうちたかねのたいこ  
かたきうちたんばのうわさ

文化元一三・三(25) 八五(33)

敵討義恋柵

文化九九・十一(34) 文政十二一十(58) 嘉永元十(102) 万延元

五(116)

敵討襤褸錦

文化六八・九(31) 天保六四(70) 嘉永元一二(101) 二四(103) 安

政元一(109) 二一(110) 明治三三(123) 十七二(146)

敵討殿下茶屋聚

天保三八(66) 五三(69) 六六(70) 七七・八・九(73) 十一

(74) 十四二(90) 五・七(91) 弘化四一三(98) 嘉永元九(102)

四八(107) 安政二一十(111) 明治一四・五(125) 五八(129) 十五

五(140)

復讐二島英勇記

文化十一三・三(35) 文政四一九(45) 天保十十(82) 明治八一

(131)

敵討麴合邦

安政三九九(112)

敵討乗合語

文政六一三(47) 天保八一七(76)

仇討宝永祀

天保二一九(63)

敵討誉勝山

享和元一七(22) 文政八一三(49)

敵討誉陣幕

明治二一一(125)

敵討会稽梅

明治二二一(151)

敵討御堂前

かたきうちちかいのしがらみ  
かたきうちつづれのにしぎ  
かたきうちてんがちゃやむら  
かたきうちに「んがっぽう」  
かたきうちにとうえいゆうぎ  
かたきうちのりあいばなし  
かたきうちほうえいまつり  
かたきうちほ  
「かたきうちほまれのめいぼく」  
かたきうちみどうのまえ

文化十四・三・三(38) 文政十七(54) 天保十四(81) 二十二(87)  
十四(90) 十一(92) 文久元十(117) 三九(119) 十一(120)  
筐のしのだすり  
文政十一・七(56)

形見の信夫摺  
〔かたみのしのぶすり〕

安永九・九(7) 寛政六・九(15) 安政四・三(113)

片大和路轎関戸  
かたやまみちかごのせきのと

天保元・十一〔154〕

勝相撲浮名花触  
かちずもううきなのはなぶれ

文政四・六(44) 嘉永元・五(101)

勝関恋顔触  
かちときこいのかおぶれ

文政十一・十一〔152〕

勝関黄金瓢  
か〔ちとき〕こがねのひ〔ちい〕

安政三・八(112)

勝関孝源氏  
※かちときみばえげんじ

文化十三・八(38) 十四・三(39) 文政九九(53) 十九(55) 天保元

一五(60) 二一・三(62) 三八(66) 六十一(71) 七四(72) 八

十・十(77) 十八(81) 十三十(89) 十四二(90) 弘化元十(93)

嘉永元十一(102) 五八(108) 六五(109) 安政四十一(114) 五十

一(115) 明治元八・九(124) 七五(130) 十四三(135)

勝関孝源氏  
かちときみばえげんじ  
かちときみばえげんじ  
かちときみばえげんじ

桂川二世柵  
かつらがわにせのしがらみ

天保十二・七(87)

桂川連理柵  
かつらがわれんりのしがらみ

天明四・三(9) 六二・七・八(10) 寛政元閏六(11) 九五・七(18)

文化九・二(33) 十一・十一・十一(36) 十三二(37) 文政二六(41)

六三(47) 八八(50) 十一一(55) 十二一(57) 天保元一・一

(59) 八・九(61) 三二(64) 十一(66) 四一(67) 六六(70) 七

一五(72) 十(74) 九三(78) 十五(81) 十二(82) 十三二(88)

弘化四二・三(98) 嘉永元一三(101) 二九・九・三一(105) 十一

(106) 安政三二(112) 四八(113) 五十一(115) 文久元十一(118)

三八(119) 慶応三五(121) 明治元一二(122) 二二(125) 三三(127)

閏十(128) 七五(130) 十三十(134) 十四三(135) 十六三(144) 十

九五(148)

門出祝ふ島  
かどいでいわうしま

安永八・九(6)

鬮名残土産  
かどいでよしなごりのいえづと

安永元十(4)

仮名写安土問答  
かなうつしあずちもんどう

寛政六十一(16)

仮名書忠臣講釈  
かながきちゅうしんこうしゃく

文政十一・五(152)

仮名艸紙女大学  
かなぞうしおんなだいがく

天明五・二・二・三(9)

仮名草紙国性翁実録  
かなぞうしこくせんやじつろく

天明八・九・十(11)

仮名手本四十七文字  
〔かなでほんしじゅうしちもじ〕

明治二・三(125)

仮名手本忠臣蔵  
かなでほんちゅうしんぐら

明和三八・五三(3) 天明二・三・三・一(8) 五九(9) 八九

(11) 寛政七四・八(16) 九十一(18) 十四・十一(19) 享和二

三・三(23) 文化元三(25) 二三(26) 七三(32) 九十一(34)

十一(35) 十三八(38) 十四十(39) 文政二閏四(41) 四四

(44) 八(45) 六二(47) 七三(48) 八四(49) 十(51) 九一(51)

五・七(52) 十(53) 十二十(58) 天保元三(59) 閏三・四(60)

四〔153〕五〔60〕三十・□〔66〕七八・九〔73〕八八・九〔154〕十  
二・九一・一三〔78〕十六〔155〕八・九〔81〕十一三三〔83〕  
九〔84〕十〔85〕十二五〔86〕八〔87〕十四九・十〔91〕十一・弘  
化元三〔92〕五〔93〕二九〔156〕九〔95〕三三三〔96〕十一・四  
三〔98〕嘉永元二・三・四〔101〕二四・四〔103〕九〔104〕九・十  
一〔105〕四三〔106〕五〔107〕六三三・三・四〔108〕十一〔109〕安政四  
四〔113〕五十一〔115〕万延元三三・閏三〔116〕文久三三  
〔119〕元治元九〔120〕明治元四〔122〕二二〔125〕三三三・三三  
〔127〕十一〔128〕四三〔129〕十一〔132〕十三一〔133〕十四七〔136〕  
十・十二〔137〕十五五〔139〕六〔140〕七〔141〕十〔142〕十六三〔144〕  
十七十〔147〕十八一〔148〕

仮名手本隠講釈 かなでほんちゅうしんこうしゃく

文政十四・四〔54〕天保三三六〔65〕

鐘鳴今朝噂

かねがなるけさのうわさ

文政二七・八〔41〕十二〔53〕天保元三三59〕三十一〔66〕五  
九〔69〕七八・八〔73〕弘化三三九・十一〔97〕十一〔98〕嘉永六  
十一〔109〕文久二一〔118〕明治三三十一・四一・五三〔129〕十五  
七〔141〕十六一・二〔144〕十八一〔147〕二十一〔150〕

鐘淵夢の倂

かねがふちゆめのおもかげ

寛政三二〔13〕十三〔19〕享和二八〔23〕

鐘恨重振袖

かね〔にうら〕みをかさねふりそで

安永八一六〔6〕文化五二三〔29〕

鐘もろとも恨鮫鞘

かねもろともうらみのさめざや

天保十一一七〔84〕明治十五一七〔141〕十八五〔147〕二十八〔149〕

鐘もろとも夢鮫鞘

※かねもろともゆめのさめざや

文化十五〔34〕六〔35〕文政元四〔40〕二五〔41〕三八〔43〕六  
七〔47〕天保三三七〔66〕八六〔76〕弘化三三閏五〔97〕嘉永二一五  
〔104〕四一六〔107〕安政五五五〔114〕明治二五五〔126〕十七八〔147〕二

十九〔149〕

鐘もろとも夢鮫鞘

かねもろともにゆめのさめざや・かねもろ  
ともゆめはさめざや↓かねもろともゆめ  
のさめざや

彼狂夫昼集

かのまぶとひるもすじもり

天保八一〔154〕

戲場製伊達東裾

かぶきじたてだてのえどづま

天保五三〔68〕

戲場製伊達鬘

かぶきじたてだてのかさねぎ

天保八一〔75〕

戲場花根元曾我

かぶきのはなこんげんそが

天保八一〔154〕

戲場春賑ひ曾我

か〔ぶき〕のはる〔にぎわ〕いそが

万延元一〔116〕

釜淵双級巴

かまがふちふたつどもえ

天明七九〔10〕

文化十三閏八〔38〕文政五九・九〔46〕天保四

十〔68〕七十一〔74〕

九十二〔80〕十一一〔85〕十二閏一〔86〕

十四三〔90〕

明治三二〔127〕六九〔130〕十五七〔141〕

鎌倉三代記

かまくらさんだいき

寛政六九〔15〕

文化元十〔25〕十二〔26〕三二・七〔27〕文政元

三〔39〕

六四〔47〕七十一・八三〔49〕十一七〔56〕天保二六

六三〔63〕

三一〔64〕四九〔68〕七八〔73〕十〔74〕九七〔79〕十六

八十一〔81〕

十一八〔84〕十〔85〕二十一・三十一〔87〕十四六・閏

九〔91〕

嘉永二八〔104〕三一〔105〕安政元閏七〔109〕文久元十一

一〔118〕

三五〔119〕慶応三五〔121〕明治元八〔124〕十三二〔133〕十

四一・四〔135〕

十〔137〕十五九〔142〕十六三〔144〕十八三〔147〕

十九一〔148〕

盟約縁長夜

かみかけてえにしのがよ

天保八・九(154)

定結納爪櫛

かみかけてちかいのつまぐし

文化十一・八(35)

紙起証天の網島

かみきしょうてんのあみじま

文政四・七(44) 七十一(75)

艶書衣臘月

かみこのしわす

寛政九・十一(18)

雷於新旭梅雨晴

〔かみなりおしんあさひのつゆはれ〕

明治二十二・五・六(151)

神舍噂古市

かみやと——

明治十三・一(133)

鳴長明四季物語

かものちょうめいしきものがたり

明和二・四(3)

紅楓秋葉話

からにしきあきばものがたり

寛政十一・九(20)

紅楓棧物語

からにしききそのかけはし

天保四・八(68)

韓和聞書帖

からやまととききがきぞうし

文化六・七・八(31) 七三(32) 天保十四・九(91)

刈萱

かるかや

天保十一・四(83)

刈萱桑門筑紫鞆

※かるかやどうしんつくしのいえつと

寛政二・七(12) 文化三・十(28) 十二三(36) 文政九・五(52) 十二

四(57) 天保三・二(64) 八(66) 十一・四(67) 七二(72) 八

一五(75) 十(77) 九四・閏四(79) 十二(80) 十八(81) 十一・四

(83) 十四・六・八・九(91) 弘化元・十・十一(94) 四五(99) 嘉

永二・二・三(103) 九・十一(105) 四・八(107) 安政五・五(114) 文久

元一(117) 明治元・十一(124) 三三(127) 四一(129) 十四一(135)

七・七(136) 十五・五(139) 十六・十二(145)

刈萱桑門築紫鞆

かるかやどうしんつくしのいしづえ↓かる

通客雪のきぬく

かやどうしんつくしのいえつと

安政元・九(110)

かよいくる〔む〕ゆきのきぬぎぬ

川崎踊拍子

かわさきおんど

寛政八・八(17)

川崎音頭恋寝鏡

かわさきおんどこいのねたば

天保六・五(70)

川中島合戦

〔かわなかじまがっせん〕

明治十八・十一(148)

松色何浦島

かわらぬいろいずこうらしま

天保十七(81)

官上神楽雄

かんあがりかぐらおのこ

寛政三・九(13) 四・六(14)

寒紅梅煎寿

かんこうばいえびらのことぶき

寛政十二・十一(22)

漢人韓文手管始

かんじんかんもんでくだはじめ

享和三・一六(24)

勸進帳

〔かんじんちょう〕

明治十七・三(146)

勸善懲惡四天王顔鑑

かんぜんちようあくつわもののかおみせ

天保八・十一(154)

邯鄲回轆閨白浪

かんぜんちようあくつわもののかおみせ

明治十四・七(136)

邯鄲の円木

かんぜんちようあくつわもののかおみせ

文化元・九(25)

鷹文月船越

かんぜんちようあくつわもののかおみせ

明治十九(132)

き

鬼一法眼三略巻

きいちほうがんさんりやくのまき ↓ きいち  
ほうげんさんりやくのまき

鬼一法眼三略巻

※きいちほうげんさんりやくのまき

天明三七(8)

四三(9) 寛政七二(16) 享和二十一・三十一

(23) 文化三三・三(27)

文政元十(40) 四十一・十二(45) 五

九(46) 七一(48)

十一三・四・五(55) 五(56) 天保六三(70)

八九・九(77)

九九(155) 十三(9) 八十九(89) 十四(5) 九十一(92)

弘化三三(97)

四八(99) 八・九・九・十一(100) 安政元十一・

十一(110)

三十一・四・五(113) 文久元十(117) 慶応三四(121) 九

(122) 明治元九(124)

三五(128) 十四(135) 五・七(136) 十五

四(139) 十二(143)

十六(144) 十八(141) (147)

聞入月三河

きいているつきはものかわ

文政九一八(52)

八(53)

勢源氏貢扇

きおいげんじみつぎのたまもの

天保七十一(154)

祇園祭礼信仰記

きおんさいれいしんこうき

明和四十一(3)

安永八九(7) 天明八十一(11) 寛政四十一

(14) 十一・四・四・六・十(20)

十一・十一(21) 享和三五(24)

文化元十二(26)

六二(30) 九八・八(34) 十三(5) 三(37) 文政元

一五(40)

九四(52) 十一(53) 十二(51) 天保元六(60) 三

一四(65)

七十・十(74) 十一(6) 八(84) 弘化元盆替り(93) 四(9)

(100) 嘉永二一八(104)

九(105) 安政六八(115) 文久三八(119) 明治

十九(115)

祇園女御九重錦

きおんにょうごこのえにしき

天保七五(72) 弘化元五(93) 嘉永二一八(104) 万延元五(116) 明  
治元三(122) 十五(142)

祇園万燈九重錦

明治十四三(135)

聞憶五大力

ききおほえごだいらき

文化元三三(25)

天保四一七(68)

菊慈童花俤

きくじどうはなのおもかげ

享和元一三・三・五(22)

菊月入船嘶

きくつきいりふねものがたり

文政三七・七(43)

菊新形繻子帯地

きくのし「ん」がたし「ゆ」すのおびじ

天保十三八(89)

菊嬉恋乱咲

きくもうれしこいのみだれざき

安政元一八(110)

菊模様新渡花皿

「きくもようしんとのはなざら」

明治十六十(145)

雪月花

き「ごとのは」なうつつのすがたえ

天保十四一(90)

岸打浪阿波鳴門

「きしうつなみあわのなると」

明治四一八(129)

岸姫松轡鑑

「きしのひめまつくつわかがみ」

明治三十一(129)

義士の書添

きしのかきそえ

天保九四(79)

義士銘々伝

「きしめいめいでん」

明治十六三(144)

義臣伝

「ぎしんでん」

文化十二一(37)

義臣伝読切講釈

ぎしんでんよみきりこうしやく

文化元(11) (25) 四・五・五(28) 文政九(10) (53) 天保元(12) (59)

三四(65) 十一(66) 四二・三(67) 八八(76) 九一(78) 十一

(80) 十一三(83) 十一(85) 十四九・閏九(91) 弘化三(94) (96)

四六(99) 十二(100) 嘉永五(101) (107) 安政六(105) (115) 万延元(105)

(116) 文久元三(117) 三十一(120) 明治元閏四・七(123) 十五(139)

北陽梅金沢評註

明治十五(142) 十六(144) 二十一(150)

吉例曾我訥子玉

嘉永元(156)

狐福中花賑

寛政十二(21) (22)

甲子一座の大黒

明治十五(139)

甲子一座の大福

明治十五(143)

木下蔭狭間合戦

客競出入湊

弘化二(95)

九州釣鐘岬

文化五(29)

九州苳萱関

文政三(42)

京鹿子娘道成寺

寛政十二(21) 文化四(28) 五(29) 八(31) (33) 天

保十三(88)

京紅藍杜若

きょうこうかそめてむらさき

文政四(7) (7) (44) 文久元(11) (117)

京人形左細工鏡

きょうにんぎょうひだりさいく(かがみ)

天保四(2)ノ替り(68) 八十(77)

京羽二重新雛形

※きょうはぶたえかわりひながた

享和二(15) (23) 文化三(28) 八(33) 文政元(9) (40) 十二(47) 天保三(4) (65) 七(72) 十一(84) 弘化四(7) (99)

京羽二重新雛形

きょうはぶたえしんひながた(きょうはぶたえかわりひながた)

京羽二重娘氣質

きょうみやげめいしよいつ

明和二(1) (3)

京土産名所井筒

きょうらんむすめなでしこ

寛政五(15) (15)

狂乱娘撫子

天保十二(15) (155)

清水観音靈驗記

明治十五(139)

清水清女庵室暉

きよみずせいげんいおりのあけほの

文化五(29) 天保六(2) (70) 九(81) (80) 弘化二(8) (95)

清水清女誓約桜

きよみずせいげんちかいはのさくら

文化五(7) (7) (30)

霧間恋初雁

きりがくれこいはのつかり

文化十四(7) (39)

霧太郎天狗酒醺

きりたろうてんぐのさかもり

天保七(71) 十二(87)

霧太郎魔術手始

「きりたろうまじゅつのはじめ」

明治二(9) (126)

金鳥玉兎倭入船

嘉永五十一・十二(108)

きんうぎよくとわこくのいりふね

金華山陸奥名所

明治十五・五(139)

「きんかざんみちのおくめいしょ」

金天山雪曙

寛政六・九(16) 享和元・五(22) 天保六一(69)

きんかざんゆきのあけほの

近世蕙飾新説話

明治十三・五(134)

「きんせいしかつしかばなし」

錦帯橋

天保八〇(75)

「きんたいばし」

金幣猿島郡

文政十二・二十一(153)

きんのさいさるしまだいら

金鏢対緒環

天保七・九(134)

きんめぬきついのおだまき

金門五山桐

安永七・四(6) 寛政元・閏六(11) 十一(20) 文化元・五(25) 六

きんもんごさんのきり

一・九・十(31) 文政五・二・二(45) 四(46) 九十一・十一(53) 天

保十一・一・四(83) 十三・三(88) 弘化元・一(92) 嘉永三・九(106)



草紅錦絹川

文化六・七(31)

くさもみじにしきのきぬがわ

南来伝授軍法鑑

明和六・七(4)

くすのきでんじゅうんぼうかがみ

楠正行軍略之巻

明和四・九(3)

くすのきまさつらぐんりやくのまさき

楠昔噺

くすのきむかしはなし

文化六・九・十(31) 十二・四・五(37) 嘉永元・一(100) 明治六十

国訛嫩笈摺

文化五・七(29) 六・五(30) 七・六(32) 文政三・五(43) 四・八(44)

くになまりふたばおいずる

六・四(47) 十四(54) 十一・四(55) 天保九・四(78) 弘化四・八(99)

明治九・十一(132) 十三・十(134)

名物東錦絵

安政四・十一(114)

くになみやげあずまにし「き」え

国産五月糎

文政元・五(40)

くになみやげさつきかたびら

来宵蜘蛛線

天保八・十一(134)

くべきよいくものいとすじ

熊坂物見松

天保八・一(75) 弘化三・一(96)

「くまさ」かものみ「のま」

熊野靈験小栗街

天保元・九(133) 明治十九・三(148)

くまのれいげんおぐりかいどう

糸仙人吉野桜

明和四・閏九(3) 安永三・九(5) 八・六(6) 天明四・四(9) 寛政

くめのせんにんよしのざくら

五・四(15) 九九(18) 文化八・三(32)

雪衛士白張

弘化二・十二(156)

くもいはなえじのしらはり

雲帯千丈滝

天保元・十一(134)

くものおびせんじょうがたき

蔵開幼画姿

寛政十二・二十一(21)

くらびらきおさなえすがた

比手葉相槌

弘化四・一(156)

くらべうたてにはのあいづち

鞍馬獅子其影形

くらまじしおしえのひながた

天保七十一(154)

廓九日小袖

くるわくにちこそで

天明七十九(10)

廓獅花富草

「くるわじしはなのとみくさ」

天保十二七(87)

廓文章

くるわぶんしょう

文政十一(五)152・十二(57) 天保四三(67) 八九(77) 十一

(82) 十四(92) 弘化元(五)93 嘉永二三(103) 三九・十一

(106) 安政三五(112) 文久元三(117) 三三(119) 慶応三九(121)

明治元十(124) 三九(128) 五九(130) 十五三(138) 六(141) 十六

一(143) 三(144) 二十三・十一(149)

黒船出入湊

くろふねでいりのみなと

明和五八(4)

桑名屋徳蔵入船物語

くわのやとくぞういりふねものがたり

明和七十二(4)

薫花反魂香

——かたみはん——こう

安政三一(111)

君臣船浪字和島

くんしんせんなみのうわじま

明治六十(130) 八二(131) 十二(133) 十五九(142) 十八八(147)

軍法川中島合戦

ぐんぼうかわなかじまがっせん

天保十一(82)

軍法富士見西行

ぐんぼうふじみさいぎょう

文化六九・九(31) 七五(32) 九五・九(34) 十四六(39) 嘉永

六九(109) 安政二十一(111) 明治十六九(145)



弘化元(四)92)

巽風艶仲町

げいこむすびはでななちょう

天保元閏三(60)

景色会稽山

けいしよくかいけいざん・けいしよくかま

くらやま↓けいしよくゆきみるやま

景色会稽山

けいしよくゆきみるやま

文化六十一・十一(31) 文政十八(54) 天保七九(74) 嘉

永四九(107) 安政五十一(115)

けいせい穂雨語

けいせいあ——ものがたり

文政十二(57)

けいせい暁の鶏

けいせいあけのとり

寛政六一(15)

傾城阿古屋の松

けいせいあこやのまつ

文化三五(27) 文久元十一(118)

けいせい遊山桜

けいせいあそやまざくら

寛政九一・一(17) 文政十一・一(53) 三(54) 十一(57)

契情東龜鑑

けいせいあずまかがみ

文化十七(35)

けいせい天羽衣

けいせいあまのはごろも

文化二一(26) 文久二閏八(118)

けいせい天橋立

けいせいあまのはしだて

天明五一一(9)

けいせい都吉野

けいせいあらしやま

文化二一(26)

傾城阿波の鳴門

けいせいあわのなると

明和七九(4) 天明三一(8) 寛政五十一(15) 文化四一十(29)

五八(30) 十四八(39) 文政二十(41) 九九(53) 十八(54) 十

二四(57) 十(58) 天保元十一(62) 六二(70) 十一(85) 十

景事七役

〔けいごとななやく〕



三九(89) 弘化四十一(100) 嘉永二三(103) 安政六五(115)  
けいせい石川染 けいせいいしかわぞめ

文政二一・二・二(41) 三十一(43) 弘化元一(92) 十一・十一・  
十一(94) 嘉永元一(100) 二一(102) 五(104) 四十一・五一(107)

安政五三ノ替り(114) 万延元一(116) 明治元閏四(123)  
けいせい潮来諷 けいせいいたこぶし

文化六一(30) けいせいいなずまぞうし  
けいせい輝草紙 文化五一一(29) 天保元二(59) 二一(62) 三十三(64) 嘉永元一八

(102) 安政二二(110) 明治十五三(138) 九(142)  
けいせい稲葉山 けいせいいなばのやま

天明六一(10) けいせいいもせのおしどり  
けいせい妹背鷲 天保八一(75) 弘化二一(94) 安政元一(109)

契情入相椽 〔けいせいいりあいぎくら〕  
明治十六八(145)

けいせい梅凱歌 けいせいうめのはたあげ  
文化八一(32) 天保六三三(70) 十一九(84)

けいせい蒲朝霧 けいせいうらのあざぎり  
文政九一(51)

けいせい駅路梅 けいせいえきろのうめ  
文化八一(32)

けいせい蝦夷錦 けいせいえぞにしき  
寛政元九(12)

けいせい大江岸 けいせいおおえのきし  
明和八一(4)

けいせい大江山 けいせいおおえやま  
天保十三一八(89) 慶応三一(120) 明治元七(123) 四一(129) 十五

十一(142) けいせい大門口  
文政十九(55) けいせい廓大門

文政六一一(47) 十四(54) 文久二一(118) 十一(119)  
けいせい阿国歌舞妓 けいせい「おくに」か「ぶ」き

安政六一(115) けいせいおぐらのしきし  
けいせい小倉色紙 文政三一二(42) 十二(53) 天保二四(63) 三五・七(65) 七九

(74) 八一(75) 十一二(83) 弘化元十一(94) 嘉永四十一(107)  
万延元九(116) けいせいおし鳥

嘉永二一(103) けいせいおのえのまつ  
けいせい尾上松 明和七九(4)

けいせい買教所 けいせいかいしなんどころ  
寛政九一・十二(18) 文化七九・八一(32) 文政八一(49) 天

保九一(78) 十一(80) けいせいかがみやま  
けいせい双鏡山 文政四一(44) 九八(52) 十二四(57)

けいせい棧物語 けいせいかげはしものがたり  
享和元二(22) 文政四一(44) 十五(54) 十一一八(84)

けいせい倭莊子 けいせいかなそうじ↓けいせいやまとぞう  
し

けいせい釣鐘桜 けいせいかねのなるき  
文化十一一(35)

傾城鎌倉鐐 〔けいせいかまくらだいじん〕  
明治二十一(149)

- けいせい通千鳥  
明和七(4)
- けいせい邯鄲枕  
明和五(3)
- けいせい花洛詣  
天明二(3)(8)
- けいせい清船諷  
嘉永四(106)
- けいせい錦帶橋  
弘化三(96)
- けいせい金門五山桐  
安永九(7)
- けいせい廓源氏  
享和二(22)
- けいせい廓文章  
弘化二(96)
- けいせい恋石川  
明治三(127)
- けいせい恋白浪  
明治三(127)
- けいせい恋関札  
文政十一(56)
- けいせい恋登船  
文化六(30)
- けいせい恋飛脚  
寛政元(7)(12)
- けいせい恋鳴門  
文政四(44)
- けいせいかようちどり  
けいせいかんたんのまくら  
けいせいきょううちもうで  
けいせいいき「ようかの」ふなうた  
けいせい「きんた」いばし  
けいせい「くるわけんじ」  
けいせい「く」わぶんしょう  
「けいせいこいのいしかわ」  
「けいせいこいのしらなみ」  
けいせいこいのせきふた  
けいせいこいのひきふね  
けいせいこいのひきやく  
「けいせいこいのなると」
- けいせい黄金鱸  
天明二十二(8)
- けいせいがねのしゃちほこ  
寛政元(11)
- けいせい北国驛  
文政二(4)(41)
- けいせいこしじのあけぼの  
寛政元(11)
- けいせい桜花島  
享和三(閏)(23)
- けいせい桜城砦  
天保十三(87)
- けいせい狹妻櫛  
寛政十一(19)
- けいせい狭妻櫛  
元治元(8)(120)
- けいせい鹿大門  
明和六(4)
- けいせい廓芋環  
天保十三(88)
- けいせい廓門松  
安政六(115)
- けいせい廓島台  
文政四(44)
- けいせい廓陣立  
天明五(7)(9)
- けいせい廓花寄  
明和二(3)
- けいせい廓船諷  
文化七(31)
- けいせいこがねのしゃちほこ  
文化九(1)(2)(33)
- けいせい「さと」のい「な」ずま  
天保七(71)
- けいせい「さとのおおもん」けいせいおおもんぐち  
天保九(34)
- けいせい「さとのしまだい」  
文政八(50)
- けいせい「さとのはなよせ」  
文政八(50)
- けいせい「さとのふなうた」  
文政八(50)
- けいせい「さとのふなうた」  
文政八(50)

一(57) 天保九一・一(78) 十一(82) 二十七(86) 十三二(88) 弘化二一八(95) 嘉永二二(103) 文久三七(119) 明治三十一(129)

傾城佐野の船橋

けいせいさののふなはし

文化十一・九・九(36) 十二(37) 文政五・五(46) 天保九一三(78)

けいせい三度笠

けいせいさんどがさ

文化十一・九(36)

けいせい繁夜話

けいせいしげしげやわ

文化十一(34) 天保三・五(65) 四・八(68) 九一(78) 十九(82) 十二(85) 五(86) 十三(89) 弘化三二(96) 嘉永五・八(108) 明治三一(127)

けいせい時代鏡

「けいせいじだいかのみ」

明治九一三(131)

けいせい実語教

けいせいじつごきょう

天明二一四(8)

傾城品評林

けいせいしなさだめ

文化五・一・一(29) 七(32) 文政六・一・八(47) 八(49) 八(50) 天保元・九(61) 五九(69) 七二(71) 九九・九(79) 十一(80) 十二(86) 十三(88) 十四(90) 弘化元・益替り・九(93) 嘉永三二(105) 安政元・三(109) 六十一(115) 明治十三二(133) 十五(139) 十六(144) 十九(148)

けいせい忍術池

けいせいしのぼずがいけ

天明五十二(9) 寛政三十一(13) 文政二四(41) 天保十七(81) 十三(88) 嘉永元一(100)

けいせい児雷也譚話

けいせいいらいやものがたり

明治二一(126) 三一(127) 十五(139)

けいせい白縫譚

けいせいしらぬいもの「がたり」

安政三一(111)

けいせい素袍礎

けいせいすおうのいしずえ

明治三一(127)

けいせい素袍瑤

けいせいすおうのだいら

安永六十二(6) 文政十一(55)

けいせい雪月花

けいせいせつげつか

天保元一・一(59) 十一(82) 安政五(114) 明治三二(127) 十一(133) 十六(145)

けいせい節用集

けいせいせつようしゅう

明和五(3)

けいせい千貫樋

けいせいせんかん

安政三一(111)

けいせい樹下瓢

けいせいそが「か」まくらだいじん

天保二四(63)

傾城曾我鎌倉鏢

けいせいそが「はるの」ふしがね

嘉永元一(100) 慶応二四(120) 明治十五(138)

景清曾我賑不尽

けいせいそがものがたり

嘉永六(108)

けいせい曾我譚

けいせいそめわけたづな

嘉永二一(103) 六五(109) 安政三二(111) 十一(113) 慶応元二(120) 三十一(122) 明治三三(127) 十四(135) 十五(141)

傾城染分総

けいせいそめわけたづな

文政五(45) 天保四・七(68) 五九(69) 九一(78) 十二(83) 十三(88) 弘化元・三(92) 三八(97) 安政元一(109) 四十一(114) 万延元・三(116) 文久三一(119) 明治三二(129) 八(131) 十八(147) 十二(148)

けいせい高砂松

けいせいいたかさごのまつ

文化四一(28) 五(29)

文化四一(28) 五(29)

傾城達花染

文政九二(51)

けいせいだてのいろ〔ぞめ

けいせい達抄本

けいせいだてのき〔き〕がき

文政九一(51)

けいせい当玉兎

けいせいたまうさぎ

安政二二(110)

けいせい玉手綱

けいせいたまたづな

天保八二(75)

けいせい玉手箱

〔けいせいたまてばこ〕

明治四一(129)

けいせい誰伏水

けいせいいたれとふしみ

寛政三二(13)

けいせい千種乱咲

けいせいちごがふち

天保十三一六(88)

けいせい稚児淵

けいせいちごがふち

天明二一(7)

けいせい雅児淵

けいせいちごがふち

(47) 天保三二一(64)

景清銘茶鍬

けいせいちのゆのしころ

弘化四五(99)

けいせい長者艦

けいせいちようじゃーる

安政四一(113)

けいせい対彩梅

けいせいつ〔いのいろうめ〕

明治二一(125)

けいせい筑紫猷

けいせいつくしのつまじと

文化十一一・四(35)

文化十一一・四(35)

文政七一一・一・三(48) 十

一(53) 十一四(55)

天保元四(60) 四一一(67) 十一・五二(68)

六四(70) 七三(72)

八十一(77) 十三一(87) 五(88) 八(89)

弘化元九(93) 二二(94) 三三(96) 四一(98) 嘉永二二(105)

明治七五(130)

けいせい薺佳節

けいせいなずなのせつく

文化三二(27)

けいせい七草駒

けいせいななくさこま

嘉永元一八(102)

けいせい二度の萩咲

けいせいにとのはぎさき

天保九二(78)

けいせい布引山

けいせいぬのびきやま

安永六一(5)

けいせい聞物語

けいせいね〔や〕ものがたり

天明元一(7)

けいせい博多織

けいせいはいかたおり

天明二十・三七(8)

けいせい笹伝授

寛政九一八・九(18) 天保九一聞四(79)

文化元一(24)

天保元一三(59)

四一一(67) 六一(69) 三三(70) 慶

応三一九(121)

明治四一八(129)

けいせい八文字

けいせいはいちもんじ

文久二二(118)

笑花八総美

けいせいはいっけんし

天保七二八(73)

けいせい八花魁

けいせい〔や〕つのは〔な〕ぶ〔さ〕

安政四一(113)

契情花発船

けいせいはいないかだ

享和二一八(23)

天保六一(69)

十四一八(91) 嘉永三二一(105)

契情花絵合

けいせいはいなのえあわせ

安永二二(5)

安政二一(111)

明治四二(129)

けいせいはいなののおみなど

寛政八二(17) 天保三二(64)

けいせい桜大紋日 けいせいはなののおもんび

寛政十一(19)

契情花追盤 けいせいはなののおよせ

天保十一(82)

けいせい桜花岬 けいせいはなのきたやま

寛政十一(19)

傾城花五十三駅 けいせいはなのごじゅう「さんつき」

安政二二(110) 明治二八(126)

けいせい花恋柵

明治二二(125)

けいせい花大樹 けいせいはなのこのした

文政三二(42) 九一(51) 天保六三(70) 九五(79) 十二

四(86) 弘化四九(100)

けいせい花白浪 けいせいはなのしらなみ

文久元一(117) 慶応三七(121) 明治二二(125)

けいせい花鶺鴒 けいせいはな——も——

明治二三(125)

けいせい花八英 「けいせいはなのやつぶさ」

明治三一(127)

けいせい花山崎 けいせいはなのやまさき

寛政十二(21)

けいせい英草紙 けいせいはなぶさぞうし

文化四二(28) 天保八一(75) 五(76) 弘化二二(94) 安政元一

(109) 五一(114) 明治十六六(145)

けいせい浜真砂 けいせいまのまさこ

天保十一(80) 十一(83) 弘化二三(94) 三一(96) 四四(99)

明治十六六(145)

けいせい青陽鶏 けいせいはるのとりに

寛政六二(15) 九七(18) 文政二二(40) 十二(57) 天保

七一(71) 十一(82) 十一(85) 嘉永二二(102) 五(104)

三一(105) 安政三十一(112) 明治元九(124) 十四四(135)

十五四(139)

傾城反魂香 けいせいはんごんこう

寛政四二(13) 文化元八(25) 九十一(34) 十一(35) 文政三

九(43) 九五(52) 十一六(56) 二十九(58) 十一(59) 天保元

四・六(60) 二三(62) 三九(66) 七七(73) 十一(75) 九九(79)

十一(82) 二(83) 十四三(90) 弘化四八(99) 明治三三(127)

けいせい鄙源氏 けいせい「ひ」なのげんじ

嘉永六一(108)

けいせい鄙島原 けいせいひなのしまばら

寛政十一(20)

けいせい飛馬始 けいせいひめはじめ

寛政元一(11) 文化元二(24) 天保元五(60) 四一(67) 弘化四

一(98) 慶応三十一(122)

傾城百万国 けいせいひやくまんごく

文政八一(5) 五(49) 天保十二七(87) 元治元一(120)

契情強恋塚 けいせいひよくづか

文政九二(51) 十一六(56) 天保六閏七(71) 十四五(91) 弘化

四四(99) 安政五三ノ替り(114)

けいせい讀島台 けいせいふうきしまだい

天保元一(59) 二二(62)

けいせい忍逢淵 けいせいふかまがふち

享和元一(5) 五(22) 天保三九(66) 十一(80) 弘化元十(93)

けいせい踏島台 けいせいふきのしまだい

寛政二二(12)

けいせい含箇条 けいせいふくみじょう

天明八(三)10(三)11

けいせい総神事 けいせいーのーし

文久三(一)119

けいせい誉両刀 「けいせいほまれのすけだち」

嘉永三(一)105(五)1(107)万延元八(116)

けいせい真砂賊 けいせいま(さご)のしらなみ

明治元(三)122

けいせい巳入盛曾我 「けいせいみりそが」

明治二(一)二(125)

けいせい美鳥林 けいせいみどりのはやし

享和二(一)22(一)23

傾城李源氏 ※けいせいみばえげんじ

安政二十一(三)11(111)四(五)113(六)十一(七)万延元三(116)文  
久元(五)117(慶)三十一(122)明治元九(124)二(七)126

けいせい都浜荻 けいせいみやこのはまおぎ

天明元(一)7

けいせい花都遊 けいせいみやこめぐり

文政二(一)40

けいせい陸月齋 けいせいむつきのおおよせ

天保五(一)68

傾城正月の陣立 けいせいむつきのじんだて

天明五(一)9

けいせい睦玉川 けいせいむつこのたまがわ

寛政五(一)14(文)政九(六)152(天)保三(八)66(八)十二(七)8(弘)化  
元(四)93

けいせい和布莉神事 けいせいめかりのしんじ

天保十三(一)87

傾城李源氏 けいせいめばえげんじ↓けいせいみばえげんじ

けいせい百千鳥 万延元(一)116

けいせい桃山錦 けいせいもやまにしき

明和五(二)3(弘)化四(一)98

傾城矢数誉 「けいせい」やかずのほまれ

天保九(八)79

けいせい楊柳桜 けいせいやなぎざくら

寛政五(一)14(九)15(享)和二(一)三(23)文化十一(二)35(文)

政十二(三)四(57)天保七(二)71(四)72(九)四(78)十二(一)

(弘)化三(八)97(嘉)永元(二)101

傾城柳桜黄金鷄

明治十五(三)138

傾城大和往来 けいせいやまと「お」うらい

嘉永二(九)105

けいせい倭莊子 けいせいやまとぞうし

天明四(四)一(9)寛政五(十二)15(文)化六(三)30(九)一(一)33

天保三(五)65(九)十一(80)十二(一)87

けいせい会稽山 けいせいゆきみるやま

寛政十一(一)四(七)20(文)政十(四)6(54)天保二(一)62(七)

十(74)弘化二十一(96)

けいせい吉岡染 けいせいよしおかぞめ

天保四(一)67

けいせい若菜功 けいせいわかなのいさおし

文化十二(一)36

粧水絹川堤 けわいみずきぬがわづつみ

文政八(八)50(十一)八(56)天保三(七)65(弘)化元(四)92(三)

九(97) 嘉永元(四)(101) 二(103)

粧水窓絹川

文化十二(四)(36)

化粧六歌仙

文政元(五)(40) 天保十四(閏九)(91)

源氏模様娘雛形

嘉永四(九)(156)

見真大師御法恩伝記

明治十七(十一)(147)

初冠曾我皇月富士根

天保十二(五)(155)

源平劇場年代記

天保元(十一)(153)

源平腰越状

天保八(十)(77)

源平魁躑躅

明治十五(六)(141)

源平布引滝

げんべいぬのびきのたき

安永四(八)(5) 天明三(七)(8) 寛政四(閏二)(13)・六・六(14) 九

一(閏七)(18) 享和二(二)(23) 文化四(一)(28) 十七(35) 文政二(四)

閏四・六(41) 四六(44) 五六(46) 八二(49) 九(50) 九二(51)

十二(53) 十九(55) 十二(七)(58) 天保二十(63) 四五(67) 十

十(82) 十一(85) 弘化元(四)(92) 六(93) 二九(95) 三十二

(98) 安政二(二)(110) 四十一(114) 文久三(十一)(120) 明治元(一

(122) 二五(125) 十四(三)(135) 七・七(136) 十一(137) 十五(三)(138)

源平柱礎曆

寛政十一(三)(20) 弘化元(七)(93)

拳禪廊大通

けんまわしくるわのだいつう↓けんまわし  
さとのだいつう

拳禪廊大通

※けんまわしさとのだいつう

享和二(二)・十(23) 文化二(三)(26) 七(九)(32) 十三(一)・八(38)

文政四(四)(44) 六(九)(47) 七(十)(49) 十二(53) 四(54) 天保二(

七・十(63) 三(三)(65) 十一(66) 四(一)(67) 七(68) 五(七)(69)

六(四)(70) 七(五)(72) 六(七)(73) 十六(81) 十一(十一)(85) 弘

化二(一)・四(94) 四(五)(99) 嘉永元(八)(101) 安政元(十)(110) 四(

閏五)(113) 文久二(十)(118) 十一(119) 慶応三(十一)(122) 明治三(

(127) 十四(三)(135)



恋衣うらみのふた面

文化九(八)(34)

恋衣花写絵

天保三(四)(65)

恋裳花の錦

文政四(一)・五(44)

恋すてふ繪旨璋

安永四(一)・五(5)

恋路三度笠

文政五(九)(46)

恋路の関守

文化四(一)・二(28)

木挽花色顔見勢

文政十一(十一)(152)

恋路の花坂

こいじのせきもり  
こいじのはなここにかおみせ  
こいじのはなざか

寛政元一(12)

恋伝授文武陣立  
こいでんじゅぶんぶのじんだて

文政二六(41) 安政二五(111) 慶応三一九(121)

恋女房染分手綱  
こいにょうぼうそめわけたづな

明和元九(3) 安永九一三(7) 天明五九(9) 寛政五四(14) 五

(15) 七八(16) 十一八(20) 二十十(21) 享和三五(24) 文化

元一四(25) 五九・十一(30) 十一八(35) 文政五八(46) 七・五

(48) 九・十一(49) 十一一(55) 天保元閏三(60)・八(61) 三・

一(64) 六五(70) 七十一(75) 九一(80) 十一一(85) 九・十一

(87) 十四閏九(91) 弘化二五(95) 三九・十一(97) 四一三(99)

嘉永四六(107) 万延元十一・文久元四(117) 元治元一(120) 慶

応三四(121) 明治二九(126) 十四六・七・八(136) 十五五(139)

七(141) 十一(143) 十六三(144) 十七三(146) 二十一十一(151)

花結豊春詠  
こいねがいたるこき「よ」うのに「し」き

安政元一(109)  
こいねがうゆかりのいろあけ

最貞願杜若東染  
こいねがうゆかりのいろあけ

文政三十一(43)  
こいねがうゆかりのいろあけ

恋誤東抜首  
こいねがうゆかりのいろあけ

明治十四一九(137)  
こいのあやせながれのみつまた

恋綾瀬流派  
こいのあやせながれのみつまた

弘化二一(156)  
こいのおだまき

恋のおだ巻  
こいのおだまき

天明二七(8) 文化十二一(37) 弘化元八(93)  
こいのさよかぜ

恋のさよ風  
こいのさよかぜ

明和二六(3)  
こいのせきけんかのどひょうういり

恋の柵  
こいのせきけんかのどひょうういり

文化十三一二(37)  
こいのせきけんかのどひょうういり

恋閑喧吐土俵入  
こいのせきけんかのどひょうういり

天明元七(7) 文政十二七(58)  
こいのつのもじ

恋の角文字  
こいのつのもじ

寛政八四(17)  
こいのなただちあ「きのなな」くさ

恋玉章使穠七艸  
こいのなただちあ「きのなな」くさ

文政十一九(56)  
こいのなただねびきのともし

恋灘根曳籠  
こいのなただねびきのともし

天保九八(155)  
こいのなただねびきのともし

恋の春雨  
こいのなただねびきのともし

寛政五一(14)  
こいのなただねびきのともし

恋陸奥奥媚賊  
こいのなただねびきのともし

文政六七・七(47) 天保九閏四(79)  
こいのよつつじ

恋の四街  
こいのよつつじ

文化六六(31)  
こいのよみうり

恋読売  
こいのよみうり

明治十五一(142)  
こいのよみうり

恋飛脚廓の立引  
こいのよみうり

明治元七(123)  
こいびきやくやまとおうらい

恋飛脚大和往来  
こいびきやくやまとおうらい

寛政四閏二(13) 八三・六(17) 十九(19) 文化九四(33) 九

(34) 十三一(37) 十四十(39) 文政五九(46) 七五(48) 十一

(49) 八九(50) 十(51) 十一三(55) 十二四(57)・十一(59) 天

保二十(63) 三十四(65)・九(66) 四十(68) 六十一(71) 七十

一(74) 十四十一(92) 弘化二五(95) 嘉永元二(101) 九(102) 四

十一(107) 安政四九(114) 文久元十一・二十(118) 慶応元十二

(120) 三十一(122) 明治元九(124) 二十(126) 三九・九(128) 六

四(130) 十四六(136) 十五六・六(140) 七・七(141) 十二(143) 十

九二(148) 二十九(149)  
こ「い」みな「と」は「か」た「の」ひと「し」

恋湊博多風  
こ「い」みな「と」は「か」た「の」ひと「し」



弘化二一九(95)

恋娘錦画姿

こいむすめにしきえすがた

慶応三三・八(121) 明治元一(122) 十五(139) 十八十一(148)  
恋娘昔八丈  
こいむすめむかしはちじょう

明治七九(130) 十二(133) 十四(136) 十五(141) 十七十  
(147)

恋詣清水桜

こいもうできよみずざくら

文化二一(26) 天保八五(76) 九九(79) 明治十六四(145)  
紅楓いろは文庫  
こいも「み」じいろはぶん「こ」

天保十三八(89) 弘化二十(95)  
濃紅葉小倉色紙  
こいもみじおぐらししきし

文化十三九(38) 天保三九(66) 六三(70) 八九(77)・十二(78)  
十三九(89) 弘化元八(93) 四八(99) 嘉永元十一(102) 万延元  
一五(116) 明治元七(123) 十三(134)

恋渡糸にしの石橋  
こいわたるえにしのしゃつきょう

天明四九(9)

甲越川中島合戦

明治二十一九(150)

高恩形見倅

こうおんかたみのおもかけ

明治元十一(124)  
〔口上〕

文政七九(49) 天保元一(59) 明治十九十一(148)  
弘法大師御伝記  
〔こうぼうだいしごでんき〕

明治十六六(145)

〔こうぼうだいしのごいちだいき〕

明治十五十二(143)

黄門記八幡大籤

明治十一十二(133)

〔こうもんぎやはたのおおやぶ〕

金花咲富貴蔵入

寛政二二(12)

濃錦彩色花大寄  
こきまぜてはなのおおよせ

明治二十(126)  
極彩色恋緞  
こくさいしきこいのばんしょう

天保八九(77)

極彩色浪花新板  
こくさいしき「なに」わしん「ばん」

安政元一閏七(109)  
極彩色娘扇  
こくさいしきむすめおうぎ

安永二七(5) 寛政二七(12) 享和二五(23) 文化六六(31) 文  
政九七・七・八(52) 十一(56) 天保元五(60) 三八・十(66)  
六四(70) 七五(72) 八五(75) 九八(79) 十二(77) 弘化元  
一七(93) 安政二二(110) 三八(112) 六五(115) 明治元七(124) 十  
五(140) 八(142)

極彩色倭絵艸紙  
こくさいしきやまとえぞう「し」

寛政七一(16)

国性爺合戦  
こくせんやかつせん

寛政四一閏二(13) 八七(17) 十六・八・八(19) 文化三三(27)  
文政七九(48) 九一(49) 天保七三(72) 十二(77) 十三(78)  
(87) 弘化元一(92) 三七(97) 四五(99) 嘉永二三(103)  
安政元二(109)・八(110) 二十一(111) 六一(115) 元治元八  
・慶応元二(120) 明治元一(122) 二五(125) 三一(127) 十三四  
(134)

護国婦女太平記  
こくおんなたいへいき

明治九一九(132) 二十一(150)

愛奥野記念狩衣  
こにおくのかたみのかりぎぬ

天保元一(153)

暹羅後陣備  
ここにきわまるごじんのそなえ

天明七十一(10)  
愛双吾妻菊  
天保九(79)

ここにふたつわがつまぎく

愛にまた比翼戀

ここにまたみばえのくせもの

文政十一(56)  
斯將優曲者

ここにまたみばえのくせもの

文政十二(58)  
心謎解色糸

「こころのなぞとけるいろいろ」と

明治十二(133)  
五三桐桔梗染揚

「こころのなぞとけるいろいろ」と

明治十五(138)  
越路の旅はよき

こしじのたびはばき

享和元(22)  
魁ながら真似七変化

「ながらまねてななはけ

文政九(51)  
御所桜堀川夜討

「こしよざくらほりかわようち

安永三十三(5)  
寛政九(18)

文化六十五(30) 六(31) 十三十一

文政十一(56)  
天保二十(63)

三十一(64) 七十(74) 八

弘化二(95)  
嘉永元(102)

二五・八(104) 三十一(105)

安政四(113)  
万延元(116)

明治二十(126) 十四

天保九(155)  
内裡模様源氏紫

「こしよもようげんじのえどぞめ

天明元(7)  
湖水の浮船

「こすいのにしきえ」

明治元(122)  
湖水の錦画

「こせつきょうすえひろけいず

天明二十一(8)  
饗傀儡

こせんあやつり

文政六十一(48)  
古戰場鐘懸の松

こせんじょうかねかけのまつ

天保二(62)  
小袖物狂ひ

「こそでものぐるい」

安永八(7)  
小袖模様薊糸縫

「こそでもようあざみのいろぬい」

明治十四(135)  
御ぞんじ五大力

「ごぞんじごだいき」

文政九(152)  
碁太平記菊水巻

「ごたいへいききくすいのまき

天保元(61)  
碁太平記白石断

「ごたいへいきしらいしばなし

文化二九(26)  
天保元(61)

六十一(62) 文政九十(53) 十二五(57)

七(58)  
天保元(85)

十一(85) 十四(86) 二十(92)

嘉永元(108)  
安政四(113)

六五・八(115)

明治元(123)  
寛政八(17)

「ごだいき」げいこがみ

天保八(76)  
五大力恋軸

「ごだいきこいのかなぶみ

明治十五(143)  
五大力恋軸

「ごだいきこいのねたば」

文政九(51)  
五大力恋軸

「ごだいきこいのふうじめ

寛政六十五(15)  
五大力恋軸

十六(19) 十一(20) 文化元(25) 三五(27)

文政五(一)45) 九(四・七)52) 九(十)53) 十(閏六)54) 十二(六  
 (58) 天保元(閏三・四)60) 三十一(66) 四(七・五)三(68) 六(一  
 閏七)71) 七(五)72) 八(八)76) 十一(77) 九(四)79) 十一(五  
 (83) 十三(八)89) 十四(九)91) 弘化元(四)93) 二(八)95) 三(八  
 (97) 嘉永二(閏四)103)・五(104) 四(八)107) 安政元(五)109) 三(五  
 (112) 文久元(八)117) 慶応三(四・六)121) 明治元(五)123) 二(七  
 (126) 十二(九)133) 十五(七)141) 二十三(三・六)149)

五大力恋の文章  
 くだいりきこいのぶんしょう↓くだいりき  
 こいのふうじめ

こたまのはなぶとぎ  
 明和五(一)3)

御注文妹背組帯  
 弘化二十一[156]

胡蝶夢栄花王枕  
 明治十五(一)142)

国花万葉傾城桜  
 安永六(一)5)

五天竺

天保十三(二)88) 明治二(七・七)九(126)

弁豊歳祿賑

文久元(八)117)

恋

寛政七(二)16)

寿操三番叟

明治三(九)123) 十四(八)137)

寿今様

安政三(五)112)

寿祝雪月花

こたばのいとそのしたごころ  
 「ことぶきあやつりさんばそう」  
 「ことぶきいまよう」  
 ことぶきいわうあしたのよそおい

天保十四(九)91)

寿祝三番叟

文政八十(51)

寿勸進帳

安政四(一)113)

寿三番叟

天明七(十)10) 明治十五(四)139)

寿式三

文政七(十一)49) 八(三)49) 六(50) 十一(51) 九(十一)53)

十一(一)55) 十一(一)57) 十二(一)58) 天保元

十一(62) 二十二(63) 三(閏十一)67) 四(十二)68) 五(十二)69)

七(十一)71) 十一(74) 八(十一)77) 九(十一)77)

十二(80) 十一(82) 十一(85) 十二(85)

十一(87) 十四(三)90) 六(91) 十一(92) 弘化元(十)93)

十一(94) 二十一(96) 三(閏五)十一(97) 四(十一)

(100) 嘉永元(十一)102) 二十一(105) 三(十一)

四(三)106) 十一(107) 五(十一)108) 六(十一)109) 安政元(十一)

(110) 二十一(111) 三(十一)112) 十一(113) 四(十一)

五(十一)114) 十一(115) 六(十一)115) 万延元(十一)

十一(117) 文久元(十一)118) 十一(118) 十一(三)119)

(慶応元)十二(二)120) 三(四)121) 十一(三)121) 明治元(二)122)

十一(三)124) 三(十一)128) 九(九)132) 十七(一)146)

寿式三番叟

天保十四(七)91) 嘉永五(十)11) 108) 明治五六(129) 二十一

寿四季七種

天保三(一)66)

寿新舞台鈴菜種時

明治十五(五)140)

寿閑寺小町

文化二一四・五(26)

寿白鶴登勢

文化五一(30)

寿年中行事

寛政十二九(21)

寿花艸

文化八一(33)

祝詞宝来山

文政四一(45)

寿連冠

寛政十二四(21)

諺倍福茶釜由来

明和四一七(3)

後日の文章

天保十三二(88)

五人男東白波

明治十五一六(140)

五人揃東京綿絵

明治九一(131)

五人男容氣白波

明治三一(127)

木下蔭狭間合戦

寛政元一五(11)・九(12) 十二(21) 享和三九(24) 文化五五

(29) 文政四九(45) 九七・七(52) 十一九(56) 天保元十(61)

四一ノかわり(68) 七七(73) 十一一(82) 十三一(90) 十四

五(91) 弘化四一(98) 嘉永元八(101) 五二(106) 安政三九(112)

文久二二(119) 元治元八(120) 慶応三八(121)・十一(122) 明治

ことぶきせきでらこまち

ことぶきつるのいき「おし」

ことぶきねんじゆうぎようじ

ことぶきはなのうつほ

ことぶきはうらいさん

ことぶきれんかん

ことわさぶんぶくちやがまのゆらい

ごにちのぶんしょう

「ごにんおとこあすまのにしきえ」

「ごにんおとこきだてしらなみ」

※このしたかげはさまがっせん

四一(129) 十四一(135)・十一(137) 十五一(138) 四・五(139) 十

小幡五平治造化譚

天保一七(81)

御撰手向花川戸

天保九一八(155)

御撰惠景清

嘉永四一三(106)

御撰曳綱坂

天保一十(155)

撰松風夕馴腰篋

文政三・四・五(42)

撰松鶴恵壇

天保七(74)

御文章石山軍記

明治一四一三(135) 十五一七(141)

五枚統東京錦絵

明治一六一六(132) 十三九・十(134)

小室諷道中双六

寛政十二四(21)

姫山姥

寛政七三・八(16) 十(18) 十八・十(19) 十一四(20) 享和三

十(24) 文化元十(25) 四一・五(28) 六八(31) 八十二

(33) 十二三(36) 十三四八(38) 文政三二五(42) 四九・九(45)

七十二(49) 八六・八(50) 十一三(52) 天保元三(59) 六(60)

二十一(63) 三一(64) 五九(69) 七三(72) 八(73) 八十一・

十二(78) 九十一(80) 十一一(85) 十三一(87) 十四一三・三

(90) 十一(92) 弘化三一・五(96) 七(97) 四一六(99) 嘉永二四

こもちやまうば

こむろぶしどうちゆうすごろく

「ごぶんしょういしやまぐんぎ」

ごひいきをまつにつるめぐみのおいたち

ごひいきをひくやつなぎか

ごひい「き」めぐみのかげ「きよ」

ごひいきたむけのはなかわど

こはたのごへいじいにしえばなし

(103) 四九(107) 万延元・閏三(116) 明治元・閏四・閏四・五(123) 二九(126) 三四(127) 五(128) 六九(130) 十三六(134) 二十一(150) 五(150)

堀山姥五百機錦  
安永五十五(5) 弘化元九(93) 安政五十(115)

堀山姥廓咄  
明治十六三・三(144)

子ゆへの迷ひ道  
寛政元七(12)

五葉松鶴の羽重  
天保三一九(66)

惟喬親王魔術冠  
明和三三(3)

権三種八嘶吉原  
安政二二三(111)

今昔相宿嘶  
明治五九(130) 十八二(147)

時当長崎寄合嘶  
寛政元一二(12)

金毘羅御利生記  
明治十四三(135) 十五十二(143) 十八十一(147) 二十一十一(151)

金毘羅御利生誓礎  
明治十五十一(143)



彩色七枚絵草紙  
明和二二(3)

彩色拍子倭画姿  
さいしきびょうしやまとえすがた

天明三(四) 八(8)

粉色松水勢  
嘉永三八(106)

彩色都宝積  
文化二二(27)

彩色六花形  
文化二九(26)

斎藤太郎左衛門  
弘化四七(156)

福在原景園  
天明二九(8) 八(11) 寛政十一(21) 享和二三・五(23) 文化六十二(31) 天保十三(81) 九(82) 十二一(85) 十四一八(91) 弘化二三(94) 明治元十一(124) 十七六(146)

福大黒頓作頭巾  
安永六八(5)

福在原系図  
福哉色弓取  
享和三十二(24) 文化元十一・十一(25)

棹歌恋の漣  
寛政十一(20)

堺開帳三升花衣  
天保十二五(155)

酒肆飄恋酌  
文化四八(29)

「さいしきまつのみずあけ」

さいしきみやこのいえつと

さいしきむつのはながた

さいとうたろうざえもん

※さいわいありわらけいず

さいわいなるかなありわらけいず

さいわいなるかないりのゆみとり

さいわいなるかないりのゆみとり

さいわいなるかないりのゆみとり

さいわいなるかないりのゆみとり

さいわいなるかないりのゆみとり

さいわいなるかないりのゆみとり

さいわいなるかないりのゆみとり

魁源氏騎士

文政十一(152)

さきがげんじのきばむしや

魁源平躑躅

弘化元(92) 嘉永元(101)

さきがげんべいつつじ

魁難波戦記

明治九(131)

「さきがけなにわせんき」

梅八島勝瀨

明和七(4)

さきがけやしまのかちどき

咲揃ふ六つの花びら

文政元(40)

さきわけるいつつのはなびら

弊改五瀧脈

天保八(76)

さきわけるいつつのはなびら

さくまぶし五人切子

天明八(11)

さくまぶし五人切子

咲哉此むつの葩

寛政十二(21)

さくまぶし五人切子

桜清水清玄

天保元(153)

さくらさくらきよみずせいげん

桜舞台近江八景

嘉永二(103)

さくらさくら「た」いお「う」み「はっ」けい

花王舞台園薄雪

明治十五(138)

さくらさくらもみじおうみはつけい

桜紅葉近江八景

安政四(113) 慶応三(120)

「さくらもみじおうみはつけい」

巖幾代寿舞

天保元(153)

さざれいしよつぎのことぶぶき

五月廿八日

文政七(48) 十二(59)

さつきにじゅうはちにち

入梅路朝日新聞

明治十四(136)

「さつきばれあさひしんぶん」

薩摩風俗五大力

明治十一(132)

さとげしきぬれていなすま

廓粧濡稻妻

天保元(4) 四(60)

さとげしきぬれていなすま

廓色揚

文政三(42) 天保八(76) 十三(88) 弘化四(99) 安政

さとのいろあげ

廓春情恋の種蒔

二(11) 文久元(117) 明治八(131)

さとのほるこいのたねまき

天保八(154)

さとのほるこいのたねまき

里見八犬伝

天保七(73) 明治十五(138)

さとみはちけんでん

花街模様劇稻妻

嘉永三(9) 十一(106) 明治二十一(150)

さともようかぶきのいなすま

廓模様比翼稻妻

弘化三(156)

さともようひよくのいなすま

讃岐梅朝日新聞説

明治十四(136)

さともようひよくのいなすま

佐野鹿蔵復讐譚

明治十六(144)

さめてあうつばさのふすま

覚てあふ羽翼禽

文化三(27)

さめてあうつばさのふすま

猿曳門出韻

文化三(27)

さるまわしかどでうた↓さるまわしかどでのひとふし

猿曳門出韻

寛政十七(7) 七(19) 十一(24) 四(20) 享和三(24) 文化

※さるまわしかどでのひとふし

四四(28) 七七(32) 十一(八)(35) 九(36) 十三十二・十四一三  
(38) 文政三六(43) 七三(48) 十一一・十一三(55) 十二四  
(57) 天保三九(66) 四二(67) 七〇(73) 八八(77) 十一一三  
(83) 十二四(86) 十三三(88) 十四一(90) 弘化元四(92) 二十  
十(95) 十一(96) 四十一(100) 嘉永元十一(102) 二四(103) 万延  
元五(116) 明治三十一(128)  
沢紫色水上  
〔さわむらさきいろのみなかみ〕

文政十二三(153)  
沢紫初七反  
さわむらさきそめてしちたん

文化十一(35)  
沢紫染て由兵衛  
〔ざ]わむらさきそめてよしべえ

安政三十一(111) 文久元四(117)  
三勝櫛赤根色指  
さんかつぐしあかねのいろざし

天保三三(64) 文久三十一(119)  
大都会見取曾我  
※さんがのつみどりそが

天明七十二(10) 嘉永元十一(102)  
三國一廓の錦絵  
さん[く]いち[くるわ]のにし[き]え

安政六一(115)  
三國一裾野紋日  
さんごくいちすそののもんび

寛政三三八(13)  
三國一曾我物語  
〔さん]ん[く]いち[そ]がも[の]しが[たり]

弘化二十一(96)  
三國大市川対恋  
さんごくいち[いのくろも]の

嘉永元一八(101)  
三國一富士田曙

明和十四六(136)  
三國伝来玉藻前

明治十四一(135)  
三國渡海曦錦袖  
〔さん]ごくとかいあさひのたもと

明治十二(132)  
三國無双奴請状  
さんごくぶそうやっここのうけじょう

文化四四(28) 七五・十一(32) 十四七(39) 天保九十(80) 嘉  
永三一(105) 安政四十一(114)  
三七信孝

明治十八二(147)  
三十石簪始

さんじつこくよふねのはじまり  
明和八十二(4) 安永六十(6) 天明三十・十二(8) 寛政七  
九(16) 八十二(17) 文化八九・十一(33) 文政四十一・十一(45)  
天保十九(81)

三社  
文化五十一(30) 天保九十一(80)

三社大津画  
寛政八十一(17)

卅三間堂棟由来  
さんじゅうさんげんどうむなぎのゆらい

文政五四(46) 天保五九(69) 弘化四九(100) 明治二十三(149)  
三拾三所靈驗記

明治十四一(137) 十五五(140)  
三升拵勝鬨帳貫

さんじょうますみいりのちようじめ  
弘化三十一(156)  
三朝和合劍

さんちょうわごうのつるぎ  
寛政三十一(13)  
三度笠

さんどがさ  
寛政八十六(17)  
三度笠

さんどがさこいののりかけ  
寛政十一一(21)  
三度笠恋の乗掛

三人吉三廓初会 「さんになきちぎくるわのはつかい」

明治十四(187) 十五(189) 二十一(149) 二十一(150)

三羽鶴中吉田屋 さんばづるなかのよしだや

嘉永五(157)

三幅対和歌姿画 「さんぶくついうたのすがたえ」

天保九(155)

三幅対錦絵

寛政八(17)

楼門五山桐

文政十一(152)

楼門詠千本

天保九(155)

さんもんごさんのきり

さんもんひとめせんぼん

し

四海泰平菊水巻

明治九(132) 十一(132) 十九(148)

簞講釈

文化四(29)

飾間宅兵衛

明治十八(147)

真写いろは日記

天保元(133)

敷写大浪花八景

文政十一(86) 天保二(63)

式三

享和三(7) 文化五(30) 文政二(42) 天保元(11)

(62) 四十(68) 三十一(89)

式三番 寛政十一(19) 文化十一(36) 文政元(12)(40)

式三番

文化二十二(34)(27) 明治十五(139) 十(142)

式三番

明治十五(143)

四季のながめ

寛政六(15)

四季詠◎歳

天保十三(155)

四季花人氣入船

明治二十(149)

四季花人氣西歳

明治十八(147)

四季模様白縫譚

明治七(131) 二十一(150)

四十八手恋諸訳

天明八(11)

時代織室町錦繡

嘉永二(104)

七五三橘松玉鉢

明治九(132)

嫩花街文章

天保八(154)

実説佐野武勇伝

明治二十九(149)

「しきさんば」

「しき」のながめ

しきのながめまるにいのとし

「しき」のながめ

しきのもようしらぬいばなし」

「しじゅうはって」こいのしよわけ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ

「しき」のながめ



七宝紋日彩

明治八—三(131)

七宝浜真砂

天明五—十一・十二(9) 寛政九—三(18)

四天王寺伽藍鑑

してんのうじがらんかがみ  
天明五—九(9) 寛政十二—七(21) 嘉永二—三(103) 十一(105)

四天王寺浪花噺

明治十五—五(140)

鳥影猿人真似

弘化四—八(99)

回影猿七尺

弘化三—七(97)

信田妻

天保九—十(80)

信田妻大内裏鑑

天保六—十(71)

しのだのふたり妻

寛政六—三(15) 十二—八(21)

信田森弥生葛葉

弘化元—三(92)

杖壳三つの草籠

弘化元—十(94)

忍脚形見の写絵

文化十二—二(36)

垣衣恋写絵

しのぶぐさかたみのうつつしえ  
天明七—十二(10) 文化五—一(29) 天保十二—五(86)

支本盛生糸商法

明治二十一—九(150)

鳥衛月白浪

明治二十二—三(151)

島原染七種模様

天保十一—八(81)

鳥廻戯聞書

寛政六—二(15)

鳥廻月弓張

文化五—十一(30) 弘化四—二(98)

下総国累説

天明元—七(7) 寛政五—九(15)

霜夜鐘十字辻箒

明治十四—七(136) 十六—一(144)

釈迦一代記

明治十三—四(134)

釈迦八相倭文庫

明治十一—二(132)

邪乱締五月腹帯

天明六—閏十(10)

寿永春誉の景清

明治十六—一(144)

十帖源氏物ぐさ太郎

天保三—二(64)

十二時義士廻文

明治十二—十(133)

出世太功記

文久元—五(117) 明治二十二—一(151)

出世太功記嬖状

明治十六—三(144)

「しまちどりつきのしらなみ」

「しま」ばらぞめななく「さもよう」

しまめぐりうさのききがき

しまめぐりつきのゆみはり

しもおさのくにかさねものがたり

「しもよのかねじゅうじのつじうら」

「しゃかいちだいき」

「しゃかはっそうやまとぶんこ」

「しゃらとけさつきのはらおび」

じゅうじょうげんじものぐさたろう

じゅうじょうげんじものぐさたろう

じゅうじょうげんじものぐさたろう

「ゆっせ」た「い」こうき

出世太平記

明治十二(133)

〔しゅつせたいへいき〕

出世山姥旭面影

天明八(11)

しゅつせやまうば〔あさひのおもか〕げ

春興恵方曙

嘉永元(100)

〔しゅんきょうえほうのあけぼの〕

春色梅開曆

慶応二(120)

〔しゅんしよくうめぐよみ〕

六(141)

明治十三(134) 十四(137) 十五(138)

潤色女鴈金

弘化二(96)

〔じゅんしよくおんな〔かり〕が〔ね〕

生写朝顔話

嘉永元(101)

しょううつしあ〔さ〕がおばな〔し〕

〔149〕

明治三十四(127) 八九(131) 十七(147) 二十三

生写廓八景

天保四(67)

しょううつしくるわはつけい

小学開化叢

明治九(131)

娼妓誠開化夜桜

明治十四(137)

十五(139) 十一(143) 十六(145) 十七

〔146〕

將軍太郎李文談

天保八(76)

しょうぐんたろうみげえぶんだん

松竹梅

寛政二(12)

〔しょうちくばい〕

松竹梅体綵

安政三(112)

しょうちくばいすがたのいろどり

俠競黒船噺

安政三(112)

しょうねくらべくろふねばなし

天保五(69)

勝武革奴道成礎

寛政五(14)

しょうぶかわやつことうじょうじ

所作事

安政六(115) 明治八(131) 十三(134)

〔しよぢいと〕

所作事五変化

明治十四(137)

諸新聞道化

明治二十六(151)

白井権八吉原通

文政十二(68)

しらいごんばちよしわらがよい

児雷也豪傑譚話

安政元(109)

じらいやご〔う〕け〔つ〕もの〔が〕たり

新薄雪物語

安永元(125) 寛政二(13) 十二(21) 文化四(11)

しんうすゆきものがたり

(29) 文政十二(57) 天保三(64) 五(65) 十一(82)

十二(86) 十三(89) 十一(90) 弘化二(95)

嘉永元(101) 二(105) 六(108) 安政二(111)

五(114) 文久二(118) 明治元(122) 四(129) 十二(133)

十三(134) 二十一(150)

新靱八百屋献立

明治九(131)

しんおり〔いり〕おびやのちゅうもん

新織入帯屋注文

天保元(8・9)〔153〕

しんぎよくたかおのざんげ

新曲高尾の懺悔

寛政十二(21)

しんきろうこいのおもか〔げ〕

蜃気楼恋涕

寛政十二(21)

しんきろうこいのおもか〔げ〕

— 46 —

天明三(一)(8)

新作三番叟

明治二十六(八)(151)

真実伝

しんじつでん

信州於六櫛

明治十四(十二)(137) 十五(五)(140)

しんしゅうおろくぐし

信州川中島

天保八(三)(75) 弘化三(五)(97) 四(四)(99) 安政三(十一)(113)

文化九(八)(34) 天保八(九)(77) 十四(二)(90) 文久三(七)(119) 明治十五(九)(142)

信州川中島合戦

しんしゅうかわなかじまがっせん

文化二十一(十二)(27) 五(七)(29) 十四(九)(39) 文政九(三)(52)

天保九(一)(78) 十九(81) 嘉永二(五)(104) 四(八)(107) 安政元(十)(110) 万延元(四)(116) 明治二十一(126) 三十(128)

心中翠の噂

しんじゅうあすのうわざ

文政三(十)(43) 四(十二)(45) 天保七(九)(74) 八(八)(76) 十(八)(81) 十一(五)(83) 嘉永二(四)(103)

心中天網島

しんじゅうてんのあみじま

嘉永二十(105) 明治元(十二)(125) 十一(十三)(132) 十五(十一)(143) 二十一(148) 二十一(150)

心中のべの書置

天保六一(69)

神通矢の根五郎

しんずうやのねごろう

寛政四(五)(14)

仁誠普聞書

明治元(四)(122) 十(124)

新造黒船説

文化二(閏八)(26)

新種園朝顔

明治十六(十一)(145)

新勅嫁入小鍛治

文化十五(34) 天保八(四)(75)

新版歌祭文

文化元(八)(25) 五(三)(29) 七(30) 天保四(二)(67) 六(四)(70) 十(七)(98) 弘化三(三)(96) 明治十二(十一)(119) 十四(四)(135) 十五(四)(139) 五(140) 九(142) 十六(二)(144) 十八(十一)(148)

新版越白浪

嘉永四(九)(156)

新改版道中双六

寛政七(十一)(16)

新板天網島

寛政十一(十六)(20)

新聞雀興音羽噂

明治二十一(149)

新編三枝譚

明治二十二(三)(151)

新模様御詠網島

明治十七(三)(146)

新吉原瀬川復讐

文化八(四)(33)

神靈菅原道実記

明治十三(二)(134) 十七(一)(145)

神靈矢口渡

しんぞうくろふねばなし

「しんだねそののあさがお」

しんちよくよめいりこかじ

しんばんうたざいもん

しんばんこしのしらなみ

しんばんどうちゅうすごろうく

しんばんでんのあみじま

「しんべんさいぐさものがたり」

「しんもようこのみのあみじま」

しんよしわらせがわのあだうち

「しんれいすがわらみちざねき」

しんれいやぐちのわたし

享和二(五)23) 文政三(七)43) 天保六(一)69) 九六(79) 十二(五)155) 弘化二十(95) 三十一(97) 四一・二(98) 六(99) 嘉永六・五・九・安政元閏七(109) 万延元(五)116) 十一(117) 文久三(119) 慶応二(一)120) 三四(121) 明治元十二(125) 十五(一)133) 四(139) 十一(142) 十六(一)144) 十七(五)146)

新曆開化当的矢  
明治十五(十)142) 二十一(一)150)



好々同土川添柳

天保三(三)64)

醉苦提浪花達引

明治二十一(149)

素袍烟

天保八(一)75)

容競出入湊

すがたくらべでいりのみなと

天明八(八)11) 寛政四(十)14) 六九(16) 八八(17) 十三(19)

十一(九)20) 享和二(一)23) 文化四(十)29) 六六(31) 八

閏二(32) 十二(三)36) 文政四(十二)45) 天保三(三)65) 七十(

十一(74) 九十一(80) 十三(十)89) 十四(三)90) 嘉永二(四)103)

安政六(八)115) 明治四(三)129)

容艶花娘道成寺

文化元(一)24) 三(25) 四(三)28) 文政十二(一)57) 嘉永元(一)100)

すがたのはなむすめどうじょうじ

すがたのはなやよいのにしきえ

妾花瀧綿絵

菅原伝授手習鑑  
文政十二(三)153)

すがわらでんじゅてならいかのみ

明和六(四)4) 安永四(八)5) 七十(6) 九九(7) 天明四(一)5十一(9) 寛政元(八)12) 六四(15) 七三(16) 八九

(17) 九九(18) 十一(五)20) 享和三(二)23) 十(十二)24) 文化

元十一(25) 四四(28) 六五(六)31) 十九(九)35) 十二(八

(37) 文政元(一)39) 五一(一)45) 十一(46) 十一(六)三(三

(47) 八四(49) 九二(三)51) 十一(五)52) 十二(七)58)

天保元(三)59) 十一(十一)62) 三五(七)65) 五五(69) 六四

(70) 七三(三)72) 八(七)82) 九二(78) 十二(82)

十二(八)87) 十三(九)89) 十四(十一)92) 弘化元(三)92) 十一

(94) 二十一(96) 四八(99) 嘉永元(四)101) 九(十)十一(102)

三十一(106) 四九(107) 安政二十二(111) 六三(五)115) 文久元

十一(118) 慶応三(八)121) 明治元十二(125) 三五(128) 十三(十

134) 十四(十)137) 十五(五)139) 十六(十二)145) 十八(十一)148)

助六由縁江戸桜

すけろくゆかりのえどぎくら  
文政十一(三)152) 天保元(三)59) 弘化三(一)96) 安政元(一)109)

四(八)113)

雀模様風当世形

明治十五(九)142)

隅田春妓女容性

すだのはるげいこかたぎ  
寛政十一(三)20) 文政元(五)八(十一)40) 八八(50) 九(一)51)

十一(五)八(九)九(56) 天保元(六)60) 二(一)62) 七(63)

三(三)64) 七(65) 十一(66) 五一(68) 六三(70) 七三(72) 九

九(79) 弘化元(四)92) 二(四)95) 三(一)96) 十一(98) 四(六

(99) 嘉永元(二)101) 二(八)104) 四(三)106) 安政四(十一)114) 万

延元(九)116) 九(117) 元治元(八)120) 慶応三(九)122) 明治元(五

123) 明治十五(六)141) 十九(五)148) 二十八(149)

須磨浦源平躑躅

明治十五(141)

須磨都源平躑躅

すまのみやこげんべいつつじ

文政元(5)(40) 二五(41) 三五(42) 天保三(16)(65)・□(66) 八

七(76) 九七(79) 十二(80) 十一(83) 六・八(84) 十(85)

弘化元(5)・八(93) 十一(94) 四八(99) 嘉永二(1)・十(118) 九・九

(105) 三九(106) 安政二(12)(111) 文久元(1)・二十(118) 慶応

三(18)(121)・十一(122) 明治元(8)(124) 三三(127) 五九(130) 十三

一(134) 十五(139) 十六(142)(145) 十八(141) 十八(148)

隅田川恨倅

すみだがわうちらみのおもかげ

天保七(18)(73)

隅田川恋倅

すみだがわうちらみのおもかげ

明治十四(141)(137)

隅田川続倅

※すみだがわごにちのおもかげ

寛政十二(21) 文化五(1)(29) 十二(36) 文政三(33)(42) 九

一(51) 十一(53) 四・五(54) 十一(56) 天保元(4)・五(60)

六(61) 二(62) 三四・四・五・五(65) 六三(70) 七五・五

(72) 九七(79) 十九(82) 十一(84) 十二(85) 閏一・五

(86) 七(87) 十三(88) 十四(90)・八(91) 弘化二(33)(94)

四(98) 九・十一(100) 安政二(5)(111) 明治元(5)・七(123) 二

八(126) 三(127) 九五(131) 十三(134) 十四(135) 十五(13)

隅田川須田の賑

すみだがわすだのにぎわい

天保五(15)(69)

隅田川対倅

すみだがわついのおもかげ

文政四(14)(45)

隅田川続倅

すみだがわつづくおもかげ↓すみだがわごにちのおもかげ

隅田川月倅

明治二十五(149)

隅田川後倅

すみだがわのちのおもかげ↓すみだがわごにちのおもかげ

隅田川花御所染

すみだがわはなのこしよぞめ

文政三(18)(43) 四(3)・三(44) 弘化元(9)(93) 明治三(1)・五(127)

明治二十一(148)

隅田川花の綿絵

すみだがわはなのにしきえ

明治元(15)(123)

隅田川都鳥一群

すみだがわゆかりのおもかげ

明治六(14)(130)

隅田川紫倅

すみだがわはなのこかたぎ↓すだのはるげ

文化九(18)(34)

隅田川春妓女容性

すみのえはっけい

住の江八景

すみよしものぐるい

文化七(18)(32)

住吉物狂ひ

せいしゅうあこぎがうら

天明元(1)(7)

せ

勢田阿漕浦

せいしゅうあこぎがうら

明和二(7)(3) 天保元(8)(61) 十一(62) 四十一(68) 八(8)(76)

十二(85) 弘化二(33)(94) 三八(97) 嘉永四(9)・十一(107) 文

久三(119)

誠忠義士元録歌舞妓

「せいちゅうぎしげんろくかぶき」

明治十五(133)

誠忠義士伝 [せいちゅうぎしでん]

明治十四一(135)

誠忠義臣伝

明治十一二(132)

誠忠誓強勇

明治六一二(130)

西南夢物語

明治十一三(132)

清和源氏十五段

文政五九(46)

世界平氏梅顔鏡

天保八十一(154)

瀬川の仇浪

享和三五(24)

関取千両職

安永四一八(5) 文化六七・八(31) 七五・一(32) 八四(33)

文政三五(42) 六(43) 四十(45) 五三(46) 六五・七(47) 九

五・六(52) 十一(53) 十二九(58) 天保元一(59) 三一(64)

八(66) 七三(72) 九・九(73) 九(74) 八九(77) 九八(79) 十

十一(82) 十一四(83) 七(84) 十三二(90) 弘化三五(96) 四

十(100) 嘉永元十一(102) 二五・八(104) 安政三十一(112) 六

三(115) 文久元十一(118) 二十二(119) 明治元十(124) 十四十

(137) 十五六・七(141) 十六二(144) 十二(145) 十八二(147) 十一

(148)

関取二代鑑

安永五・六(5) 文政二四・四(41) 天保七・一(71) 弘化四三(98)

関取二代勝負附

安政三九(112) 慶応三十一(122) 明治二七・八(126)

関取二代勝負附

せきとりにだいのしょうぶつけ

寛政四七(14) 文政十二三・天保元九・十一(84)

関の戸 [せきのと]

明治十四四(135)

雪月花

文化十四十一(39) 文政元十一(40)

雪月花寿式三

文政元四(39)

撰州合邦辻

天保七十一(75) 十三(81) 十一五(83) 文久二五(118) 明治十

四八(137) 十七一・一(146) 十八一(148)

撰州渡辺橋供養

文久元八(117) 十一(118) 明治十一十(132)

世話料理八百屋献立

天明八三・五(11) 寛政六三(15) 九七(18) 文化四一(28) 六

一一五(30) 十八(35) 十一九(36) 十三十一(38) 文政元四

(39) 二十(41) 五五(46) 七十(49) 十五(54) 天保五五・六

一一(69) 五(70) 七九(74) 十八(81) 弘化三七・九(97) 嘉永

二九(105) 万延元四(116) 明治七十(131) 十五四(139)

善悪草流行新形

明治十七十一(147)

千石積湊大入船

明治七九(130) 十二(131)

泉水月写佛

明治十三十(134) 十九一(148) 二十六(149) 二十一十一(151)

全盛陸奥山

天保元三(153)

全盛雪長柄

文政三十一(43)

全盛雪長柄

文政三十一(43)

せつげつか

「せつげつか」

「せつげつか」

「せつげつか」

「せつげつか」

「せつげつか」

せつしゅうがっぽうがつじ

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

「せつしゅうがっぽうがつじ」

先代菟実記

明治二十一(149)

〔せんだいはぎじつろく〕

天保九(9) 明治十三(132) 十五(142) 十二(143)  
増補天網島  
ぞうほてんのあみじま

先代萩伊達実録

明治十四(135)

増補浪花鑑

嘉永二十一(105) 安政元一(109) 十一(110) 文久二十二(119)

明和六七(4)

増補北条時頼記

ぞうほほうじょうじらいき

先陣藤戸誉

明治十六(144)

せんじんふじ〔ど〕の〔ほまれ〕

天保元一(59) 十一(62) 三十五(65) 弘化元一(92)

餞別画工誉

文化十四(7(39))

せんべつがこうのほまれ

増補八百屋献立

〔そうまたろういろのはたあげ〕

餞別宮丛形

安永八(9(6))

〔せんべつはこいりにんぎょう〕

千金手綱恋染込

安永六(1(6))

せんりょう〔たづなこいの〕そ〔めこみ〕

相馬太郎孝文談

そうまたろうみばえふんだん

安政四(113)



曾我風流家春駒

そがふうりゅうかかれいのはるごま

早学文

明治十五(140)

曾我物語

〔そがものがたり〕

増補阿漕浦

明治十五(143)

曾我物語裾野誉

明治十一(119)

増補黄鳥墳

天保八(9(154))

ぞうほうぐいすづか

曾我蝶衝比翼結

そがもようひよくのともぐみ

増補薄雪物語

寛政八(1(4(17)))

ぞうほうすゆきものがたり

袖懐紙金沢日記

〔そでかいしかなざわにつき〕

増補艶色賦

文政二十一(42) 安政元一(11)

ぞうほこいのしらなみ

袖硯伊賀越日記

そですずりいがごえにつき

増補雪月花

ぞうほせつげつか

袖硯故郷錦

そです〔ずりこきょうの〕〔しき〕

嘉永六(五)109  
袖簿播州廻

そでにっきばんしゅうめぐり

安永八(三)6  
袖浦古郷錦

そで「で」のうらこきょう「の」にし「き」

万延元(九)116  
曾根崎村囀

そねざきむらのうわき

文化十二(五)37  
其俤浅間嶽

そのおもかげあさまがだけ

文化元(八)25  
其俤東錦絵

そのおもかげあずまのにしきえ

文政八(十)51  
第二番目九変化

そのこうへんはなのこのえ

天保元(三)153  
其九絵彩四季桜

そのこのえざいしきさくら

文化十三(三)37  
其姿感功桜

そのすがたかんこうざくら

文化十二(一)36  
其常盤津仇兼言

そのときわすあだなかねごと

文政四(七)44  
雪月花洛曙

そのながめみやこのあけほの

天保二(二)62  
園雪恋組題

そののゆきこいのくみだい

文化十三(二)37  
菌生の旅衣

そのふのたびごろも

寛政十二(四)21  
其儘浅間嶽

そのままにあさまがだけ

天保七(九)154  
其儘古服帷

そのままふるてかたびら

寛政八(六)17  
其往昔恋江戸染

そのむかしこいのえどぞめ

文政三(四)5(42)  
其昔恋緋纈

そのむかしこいのひがのこ

文政四(九)45  
其昔往四谷怪談

その「むかしよつ」や「かいだん」

嘉永二十一(105)  
染模様妹背門松

そのめよういもせのかどまつ

寛政八(五)17  
三二(一)五(42)  
九(61)七十(74)  
三(一)五(88)  
弘化三(十)97  
安政二十一(111)  
明治二(九)126  
十一(六)132  
十二(二)133  
十四(一)137  
九(閏七)18  
十二(二)57  
十(58)  
嘉永元(三)4(101)  
慶応二(十二)119  
文久二十一(119)  
慶応二(十二)119  
文久二十一(119)  
慶応二(十二)119  
文久二十一(119)  
慶応二(十二)119

九(閏七)18  
十二(二)57  
十(58)  
嘉永元(三)4(101)  
慶応二(十二)119  
文久二十一(119)  
慶応二(十二)119  
文久二十一(119)  
慶応二(十二)119

九(閏七)18  
十二(二)57  
十(58)  
嘉永元(三)4(101)  
慶応二(十二)119  
文久二十一(119)  
慶応二(十二)119  
文久二十一(119)  
慶応二(十二)119

染模様難波土産  
文政四(三)44

そのめようなにわみやげ

染わけ手綱  
享和元(七)22

そのめわけたづな

抑妓芸鑑  
文化十四(十二)39

そのそもかぶきのゆらい

た

台頭緑色幕  
安永七(四)6  
天保七(十一)74

※だいがしらえんのいろまく

台頭霞色幕  
天保九(三)78

だいがしらかすみのいろまく



台頭綠色幕

だいがしらみどりのいろまく

天保五八(69) 八九(77) 十四四(90) 弘化元九(93) 安政三

八(112)

台頭綠色幕

だいがしらゆかりのそめまく↓だいがしら

えんのいろまく

だいがしわゆかりのそめまく

文化十三九(38)

大柏茜色幕

明治十四一(135)

大願成就誓神通

文化八一二(33)

大經師昔曆

だいきょうじむかしじよみ

文化九三(33) 十二五(37) 文政七四(48) 十一十(56) 天保二

一十(63) 八九・十一(77) 十一四(83) 二十二(87) 弘化二

九(95) 嘉永元九(102) 二三(103) 安政元三(109) 十一(110) 万延

元五(116) 文久三五(119) 慶元八(120) 明治二二(125) 三一

三(127) 九六(131) 十五十一・十二(143) 十六二(144) 十八十一

(143) 二十一(151)

太功艶書合

たいこうえんしょあわせ

天保元閏三(60)

大剛氣西戎征討

だいきこうきこくせいばち

寛政二一十(12)

太功出世染

「たい」こう「しゅつ」せぞ「め」

弘化四一三(98) 安政三三五(112)

大功真顯記

たいこうしんげんき

天明七三・八(10)

大黒天

だいくでん

明和四十二(3)

大師河原利裙櫛

だいがわらりしよのつまぐし

天保十七(155)

大西洋夢路渡海

たいせいようゆめじのとうかい

明治六四(130)

大内裏大友真鳥

だいだいりおおとものみとり

天明二七(8) 天保元九(61) 嘉永二五(104)

怠惰勉強心組織

「たいただ」べんきょうこころのくみおり」

明治二十一(149)

大都会見取曾我

だいとかいみとりそが↓さんがのつまどり

そが

太平記鑿鏡

たいへいきあさひのよろい

天明五八(9) 寛政二五(12) 十二八(21)

太平記兜鏡

たいへいきかぶとくらべ

天保七六(72)

太平記菊水之巻

たいへいききくすいのまき

寛政五九・六八(15) 享和元九(22) 文化十一九・九(36) 文

政四一九(45) 天保十三八(89)

太平記忠臣講釈

たいへいきちゆうしんこうしゃく

安永三十二(5) 寛政二一六(12) 十一(13) 五八(15) 七八(16)

十八(19) 十二閏四(21) 享和二九(23) 文化元一十一(25) 十二

十一(37) 十三十二(38) 文政元五(40) 四五(44) 十一(45)

五十一・六五(47) 七一(48) 八八・八(50) 十一(51) 天保七

一(71) 十八(81) 嘉永五十一(108) 安政四五(113) 文久元十

一(118) 明治三十一(129) 二十一(151)

太平記読切講釈

たいへいきよみきりこうしゃく

天保十三十一(89)

平惟茂凱陣紅葉

たいらのこれもちがいじんもみじ

安永六一八(5) 天明六一二(10)

嬋柳江口渉

たおやなぎえぐちのわたし

寛政六一(15)

高台橋静勝負附

たかきやばしけんかのしょうぶつけ

天明八一・五・六(11) 寛政十二(21)

高瀬川恋紋

たかせがわこいのひきづな

文化二一五(41)

高根雪伊達実記

〔たかねのゆきだてじっき〕

明治十五(14) 十六(14)

高橋於伝毒婦説

〔たかまきえいろのしまだい〕

明治十四(16)

高詩画色薦島台

〔たかまきえいろのしまだい〕

明治七(11)

竹秋吉原雀

たけのあきよしわらすずめ

寛政四(13) 五(14)

田ごとのにしきかすみのあやおり

寛政元(11)

太刀作武蔵折物

たちづくりむさしがわさもの

天保元(16)

龍城縁珠取

たつのみやこえにしのためとり

文化元一三(25)

最負多金大入盃

たつぶりうけたこがねのさかずき

天保元(11)

伊達襦菊彩

だてい〔と〕うきくのいろどり

文政九(19)

鬢真鳥日記

たてがみまとりにつき

文政九(18)

達競桐檜扇

文政十(54)

伊達競阿国戯場

だてくらべおくにかぶき

文政十二(153) 八・九(58) 天保十(82) 明治二(125)

競かしくの紅翅

だてくらべかしくのべにがき

文化五(29) 天保四(67)

俠競廓日記

だてくらべくるわにつき

寛政十二(21)

伊達競曾我日記

だてくらべそがにつき

明和二(5)

俠競浪花男

だてくらべなにわおとこ

明和八(5)

達競花川戸

〔だて〕く〔らべはな〕か〔わ〕ど

天保十二(87)

伊達姿吾妻写絵

だてすがたあすまのうつしえ

文化十一(36) 天保七(73)

伊達姿萩燕都裙

だてすがたはぎのえとづま

寛政十一(19) 文政十五(54) 天保六(70) 弘化元(93)

伊達染契情容儀

だてぞめけいせいしかたぎ

寛政十二(21)

再興義士礎

たてとおすぎしのいしずえ

寛政十一(21)

たてのいせさんぐら

明和元(9)

艶恋湊

※たてひきこいのみなと

文政九(53) 天保三(66) 五(69) 六(70) 十一(71)

七(74) 九(78) 十九(81) 十一(84) 弘化二(94)

十(95) 四(99) 安政二(111)

俠詞花川戸

たてひきことばはなかわど

文政四(45) 十二(58) 天保元(81) 三(82) 三(83) 三(84) 三(85) 三(86) 三(87) 三(88) 三(89) 三(90) 三(91) 三(92) 三(93) 三(94) 三(95) 三(96) 三(97) 三(98) 三(99) 三(100) 三(101) 三(102) 三(103) 三(104) 三(105) 三(106) 三(107) 三(108) 三(109) 三(110) 三(111) 三(112) 三(113) 三(114) 三(115) 三(116) 三(117) 三(118) 三(119) 三(120) 三(121) 三(122) 三(123) 三(124) 三(125) 三(126) 三(127) 三(128) 三(129) 三(130) 三(131) 三(132) 三(133) 三(134) 三(135) 三(136) 三(137) 三(138) 三(139) 三(140) 三(141) 三(142) 三(143) 三(144) 三(145) 三(146) 三(147) 三(148) 三(149) 三(150) 三(151) 三(152) 三(153) 三(154) 三(155) 三(156) 三(157) 三(158) 三(159) 三(160) 三(161) 三(162) 三(163) 三(164) 三(165) 三(166) 三(167) 三(168) 三(169) 三(170) 三(171) 三(172) 三(173) 三(174) 三(175) 三(176) 三(177) 三(178) 三(179) 三(180) 三(181) 三(182) 三(183) 三(184) 三(185) 三(186) 三(187) 三(188) 三(189) 三(190) 三(191) 三(192) 三(193) 三(194) 三(195) 三(196) 三(197) 三(198) 三(199) 三(200) 三(201) 三(202) 三(203) 三(204) 三(205) 三(206) 三(207) 三(208) 三(209) 三(210) 三(211) 三(212) 三(213) 三(214) 三(215) 三(216) 三(217) 三(218) 三(219) 三(220) 三(221) 三(222) 三(223) 三(224) 三(225) 三(226) 三(227) 三(228) 三(229) 三(230) 三(231) 三(232) 三(233) 三(234) 三(235) 三(236) 三(237) 三(238) 三(239) 三(240) 三(241) 三(242) 三(243) 三(244) 三(245) 三(246) 三(247) 三(248) 三(249) 三(250) 三(251) 三(252) 三(253) 三(254) 三(255) 三(256) 三(257) 三(258) 三(259) 三(260) 三(261) 三(262) 三(263) 三(264) 三(265) 三(266) 三(267) 三(268) 三(269) 三(270) 三(271) 三(272) 三(273) 三(274) 三(275) 三(276) 三(277) 三(278) 三(279) 三(280) 三(281) 三(282) 三(283) 三(284) 三(285) 三(286) 三(287) 三(288) 三(289) 三(290) 三(291) 三(292) 三(293) 三(294) 三(295) 三(296) 三(297) 三(298) 三(299) 三(300) 三(301) 三(302) 三(303) 三(304) 三(305) 三(306) 三(307) 三(308) 三(309) 三(310) 三(311) 三(312) 三(313) 三(314) 三(315) 三(316) 三(317) 三(318) 三(319) 三(320) 三(321) 三(322) 三(323) 三(324) 三(325) 三(326) 三(327) 三(328) 三(329) 三(330) 三(331) 三(332) 三(333) 三(334) 三(335) 三(336) 三(337) 三(338) 三(339) 三(340) 三(341) 三(342) 三(343) 三(344) 三(345) 三(346) 三(347) 三(348) 三(349) 三(350) 三(351) 三(352) 三(353) 三(354) 三(355) 三(356) 三(357) 三(358) 三(359) 三(360) 三(361) 三(362) 三(363) 三(364) 三(365) 三(366) 三(367) 三(368) 三(369) 三(370) 三(371) 三(372) 三(373) 三(374) 三(375) 三(376) 三(377) 三(378) 三(379) 三(380) 三(381) 三(382) 三(383) 三(384) 三(385) 三(386) 三(387) 三(388) 三(389) 三(390) 三(391) 三(392) 三(393) 三(394) 三(395) 三(396) 三(397) 三(398) 三(399) 三(400) 三(401) 三(402) 三(403) 三(404) 三(405) 三(406) 三(407) 三(408) 三(409) 三(410) 三(411) 三(412) 三(413) 三(414) 三(415) 三(416) 三(417) 三(418) 三(419) 三(420) 三(421) 三(422) 三(423) 三(424) 三(425) 三(426) 三(427) 三(428) 三(429) 三(430) 三(431) 三(432) 三(433) 三(434) 三(435) 三(436) 三(437) 三(438) 三(439) 三(440) 三(441) 三(442) 三(443) 三(444) 三(445) 三(446) 三(447) 三(448) 三(449) 三(450) 三(451) 三(452) 三(453) 三(454) 三(455) 三(456) 三(457) 三(458) 三(459) 三(460) 三(461) 三(462) 三(463) 三(464) 三(465) 三(466) 三(467) 三(468) 三(469) 三(470) 三(471) 三(472) 三(473) 三(474) 三(475) 三(476) 三(477) 三(478) 三(479) 三(480) 三(481) 三(482) 三(483) 三(484) 三(485) 三(486) 三(487) 三(488) 三(489) 三(490) 三(491) 三(492) 三(493) 三(494) 三(495) 三(496) 三(497) 三(498) 三(499) 三(500) 三(501) 三(502) 三(503) 三(504) 三(505) 三(506) 三(507) 三(508) 三(509) 三(510) 三(511) 三(512) 三(513) 三(514) 三(515) 三(516) 三(517) 三(518) 三(519) 三(520) 三(521) 三(522) 三(523) 三(524) 三(525) 三(526) 三(527) 三(528) 三(529) 三(530) 三(531) 三(532) 三(533) 三(534) 三(535) 三(536) 三(537) 三(538) 三(539) 三(540) 三(541) 三(542) 三(543) 三(544) 三(545) 三(546) 三(547) 三(548) 三(549) 三(550) 三(551) 三(552) 三(553) 三(554) 三(555) 三(556) 三(557) 三(558) 三(559) 三(560) 三(561) 三(562) 三(563) 三(564) 三(565) 三(566) 三(567) 三(568) 三(569) 三(570) 三(571) 三(572) 三(573) 三(574) 三(575) 三(576) 三(577) 三(578) 三(579) 三(580) 三(581) 三(582) 三(583) 三(584) 三(585) 三(586) 三(587) 三(588) 三(589) 三(590) 三(591) 三(592) 三(593) 三(594) 三(595) 三(596) 三(597) 三(598) 三(599) 三(600) 三(601) 三(602) 三(603) 三(604) 三(605) 三(606) 三(607) 三(608) 三(609) 三(610) 三(611) 三(612) 三(613) 三(614) 三(615) 三(616) 三(617) 三(618) 三(619) 三(620) 三(621) 三(622) 三(623) 三(624) 三(625) 三(626) 三(627) 三(628) 三(629) 三(630) 三(631) 三(632) 三(633) 三(634) 三(635) 三(636) 三(637) 三(638) 三(639) 三(640) 三(641) 三(642) 三(643) 三(644) 三(645) 三(646) 三(647) 三(648) 三(649) 三(650) 三(651) 三(652) 三(653) 三(654) 三(655) 三(656) 三(657) 三(658) 三(659) 三(660) 三(661) 三(662) 三(663) 三(664) 三(665) 三(666) 三(667) 三(668) 三(669) 三(670) 三(671) 三(672) 三(673) 三(674) 三(675) 三(676) 三(677) 三(678) 三(679) 三(680) 三(681) 三(682) 三(683) 三(684) 三(685) 三(686) 三(687) 三(688) 三(689) 三(690) 三(691) 三(692) 三(693) 三(694) 三(695) 三(696) 三(697) 三(698) 三(699) 三(700) 三(701) 三(702) 三(703) 三(704) 三(705) 三(706) 三(707) 三(708) 三(709) 三(710) 三(711) 三(712) 三(713) 三(714) 三(715) 三(716) 三(717) 三(718) 三(719) 三(720) 三(721) 三(722) 三(723) 三(724) 三(725) 三(726) 三(727) 三(728) 三(729) 三(730) 三(731) 三(732) 三(733) 三(734) 三(735) 三(736) 三(737) 三(738) 三(739) 三(740) 三(741) 三(742) 三(743) 三(744) 三(745) 三(746) 三(747) 三(748) 三(749) 三(750) 三(751) 三(752) 三(753) 三(754) 三(755) 三(756) 三(757) 三(758) 三(759) 三(760) 三(761) 三(762) 三(763) 三(764) 三(765) 三(766) 三(767) 三(768) 三(769) 三(770) 三(771) 三(772) 三(773) 三(774) 三(775) 三(776) 三(777) 三(778) 三(779) 三(780) 三(781) 三(782) 三(783) 三(784) 三(785) 三(786) 三(787) 三(788) 三(789) 三(790) 三(791) 三(792) 三(793) 三(794) 三(795) 三(796) 三(797) 三(798) 三(799) 三(800) 三(801) 三(802) 三(803) 三(804) 三(805) 三(806) 三(807) 三(808) 三(809) 三(810) 三(811) 三(812) 三(813) 三(814) 三(815) 三(816) 三(817) 三(818) 三(819) 三(820) 三(821) 三(822) 三(823) 三(824) 三(825) 三(826) 三(827) 三(828) 三(829) 三(830) 三(831) 三(832) 三(833) 三(834) 三(835) 三(836) 三(837) 三(838) 三(839) 三(840) 三(841) 三(842) 三(843) 三(844) 三(845) 三(846) 三(847) 三(848) 三(849) 三(850) 三(851) 三(852) 三(853) 三(854) 三(855) 三(856) 三(857) 三(858) 三(859) 三(860) 三(861) 三(862) 三(863) 三(864) 三(865) 三(866) 三(867) 三(868) 三(869) 三(870) 三(871) 三(872) 三(873) 三(874) 三(875) 三(876) 三(877) 三(878) 三(879) 三(880) 三(881) 三(882) 三(883) 三(884) 三(885) 三(886) 三(887) 三(888) 三(889) 三(890) 三(891) 三(892) 三(893) 三(894) 三(895) 三(896) 三(897) 三(898) 三(899) 三(900) 三(901) 三(902) 三(903) 三(904) 三(905) 三(906) 三(907) 三(908) 三(909) 三(910) 三(911) 三(912) 三(913) 三(914) 三(915) 三(916) 三(917) 三(918) 三(919) 三(920) 三(921) 三(922) 三(923) 三(924) 三(925) 三(926) 三(927) 三(928) 三(929) 三(930) 三(931) 三(932) 三(933) 三(934) 三(935) 三(936) 三(937) 三(938) 三(939) 三(940) 三(941) 三(942) 三(943) 三(944) 三(945) 三(946) 三(947) 三(948) 三(949) 三(950) 三(951) 三(952) 三(953) 三(954) 三(955) 三(956) 三(957) 三(958) 三(959) 三(960) 三(961) 三(962) 三(963) 三(964) 三(965) 三(966) 三(967) 三(968) 三(969) 三(970) 三(971) 三(972) 三(973) 三(974) 三(975) 三(976) 三(977) 三(978) 三(979) 三(980) 三(981) 三(982) 三(983) 三(984) 三(985) 三(986) 三(987) 三(988) 三(989) 三(990) 三(991) 三(992) 三(993) 三(994) 三(995) 三(996) 三(997) 三(998) 三(999) 三(1000)

達飛脚花街往来

だてひきやくくるわおうらい

文化三二(27)

たてむすびはなのぎょうれつ

館結花行烈

たてむすめこいのひがのこ

天保九一(78)

伊達娘恋緋鹿子

だてむすめこいのひがのこ

天保四一六(67) 八九・九(77) 十九(81) 十一(82) 十一九(84)

十二三(86) 文久元一八(117) 明治二五(125) 十五七(141)

達模様楓襦

だてもようもみじのうちかけ

寛政四一四(14)

准源氏大内言葉

たとえげんじおおうちことは

安永九二(7)

頼上増故郷新登

たのみあげますかえりしんざん

天明五三(9)

旅路の花簪

たびじのはなむこ

天保八八(76) 弘化三三(96)

旅路の嫁入

たびじのよめいり

明和三八(3) 文政七三(48) 八一(51) 天保元四(153) 四(60)

玉靱再大蔵

たまござけこいのあけぼの

明治十四一八(136)

玉櫛笥箱崎文庫

「たまぐしげはごさきぶんこ」

明治十九(132) 十五五(140) 十二(143) 十八一十一(148) 二十三

(149) 二十一七(150)

玉子酒恋曙

たまござけこいのあけぼの

天保三四(65)

玉翫椿源平曾我

たまつばきげんべいそが

弘化二一(156)

玉手箱

た「ま」てばこ

万延元九(116)

玉藻前曝袂

たまものまえあさひのたもと

文政五十九(46) 九四(52) 天保二六(63) 八十六(76) 十四四(90)

嘉永元一二(101) 三一(105) 安政三八(112)

玉藻前雲井曠單

明治二八(126)

手向梅七種の高敷

たむけぐさのりのひとふし

明治十一一二(133)

手向草芽出鉢植

た「む」け「ぐ」さ「め」だしの「はちうえ」

明治二二三(125)

手向の花曇

たむけのはなくもり

文政三四・五(42) 四九(45)

手向梅桜道成寺

たむけのはなににんどうじょうじ

嘉永六三・三(108)

田村磨鈴鹿合戦

たむらまろすずかがっせん

文政九一九(53)

袂白絞

たもとのしらしばり

天明元四(7) 文政五十一(46)

誰根岸君が手枕

たれとねぎしきみがたまくら

文政十二一(152)

誰伏見

だれとふしみ

天保元一(59)

丹州爺打栗

たんしゅうててうちぐり

文化七九(32)

檀浦兜軍記

だんのうらかぶとぐんき

寛政八一十(17) 文化五九・十一(30) 十九(35) 十一十(36) 文

政二一(40) 五四(46) 六一(47) 七一(48) 九五(52) 十

六(54) 十二十(58) 天保三四(65) 四十五(67) 九一(78) 十(80)

十三一(88) 十四一(90) 弘化三七・九(97) 四八(99) 嘉永三

一(106) 安政元閏七(109) 八(110) 四一・五(113) 明治十三六(134)  
十五十一(143) 十八二(147) 二十三(149)

ち

近頃河原の立引

ちかごろかわらのたてひき

寛政九閏七(18) 天保元九(133)

ちくさの袂

ちくさのたもと

文化十二八・八(37)

千種野恋の両道

ちくさのべこいのふたみち

弘化元七(156)

千種の乱咲

ちくさのみだれざき

文政六一・一(47) 七七(48) 十四(54) 天保二一(62) 四一  
(68) 七八(73) 十(74) 十(82) 十二十一(87) 十三八(89)

弘化四一三(99) 十(100) 嘉永元一十(102) 二七(104) 九・十一(105)

三一九(106) 文久二十一(119) 明治元十一(124) 十七五(146)

児淵恋白浪

ちこ「がふち」こ「いの」しら「なみ」

嘉永三三八(106)

児淵花白波

ちこがふちはなのしらなみ

文化十四一(38)

知仁勇爰頼三津

ちじんゆうここにのみつ

文政十二二十一(133)

茶湯景清大当仏供養

「ち」ャのゆかげきよたいぶつくよう

安政四一五(113)

忠孝義士由良意

ちゆうこうぎしのゆらい

天保十一七(155)

忠孝恵賜讓

ちゆうこうてん「の」たまもの

安政三三八(112)

忠孝浪花噂

明治十四十(137) 二十一十(150)

忠孝誉高輪

ちゆうこうほ「まれ」のたかな「わ」

安政三五(112) 文久元一三(117)

忠孝誉二街

ちゆうこうはまれのふたみち

寛政四九(14) 文化十二四(36) 文政十二九(58) 天保五八・六  
一(69) 十四一(90) 嘉永元一十一(102)

忠孝兩國織

ちゆうこうりょうごくおり

天保九一四(79)

中将姫

「ちゆうじょうひめ」

中将姫

「ちゆうじょうひめ」

中将姫古跡の松

「ちゆうじょうひめこせきのまつ」

明治十五十一(143) 十六二(144)

忠臣いろは実記

ちゆうしんいろはじつき

慶応三一二(121)

忠臣いろは節用

「ちゆうしんいろはせつよう」

明治十七五(146)

忠臣いろは文章

「ちゆうしんいろはぶんしょう」

明治七五(130)

忠臣義士仮名書

「ちゆうしんぐら」

明治十六四(145)

忠臣蔵

「ちゆうしんぐら」

明治二十六八(151)

忠臣蔵五十三駅

ちゆうしんぐらごじゆうなんつき

明治元閏四・五(123)

忠臣蔵続礎

ちゆうしんぐら——いし——

安政三一(111)

忠臣蔵年中行事

明治十九三(148)

ちゅうしんにだいのみさお

蝶千鳥曾我春駒  
明治十五十一(143)

「ちゅうちどりそがのはるこま」

忠臣二代操  
天保三三(64)

「ちゅうしんにどのきよがき」

蝶衝眠覚一富士  
安永六十一(6)

ちゅうちどりゆらのいちふじ

明治六四(130) 二十十(149)

春色道成寺  
文政五一・一(45)

ちゅうはながたかねがみさき

忠臣はた揃  
寛政元九(12)

「ちゅうしんはたぞろえ」

蝶花形名歌島台  
弘化四六(99)

「ちゅうはながためいかのしまだい」

忠臣花桜木  
寛政八十一(17)

ちゅうしんはなはさくらぎ

一寸傘指盞  
天保八十一(154)

ちよつとかささすやさかずき

忠臣双葉蔵  
寛政三九(13) 四十一(14) 嘉永二十一(105)

ちゅうしんふたばくら

先代萩若栄  
天保十一(80) 弘化元四(92)

ちよのはるはぎのわかばえ

忠臣名誉伝  
慶応三五(121)

「ちゅうしんめいよでん」

散書仇名かしく  
文化十一六(35)

ちらしがきあだなかしく

忠臣連理の鉢植  
明治二四(125)

「ちゅうしんれんりのはちうえ」

ちらし書かしく紅筆  
明治二四(125)

ちらしがきかしく「べにふで」

男女帯縁締  
天保元一(59)

ちゅうやおおびえにしのみすびめ

ちらし書廊文章  
文化十三五(37) 文政四三(44) 九(45) 天保元六(60) 弘化四一六(99)

ちらしがきくるわぶんしょう

千代寿祝新舞台  
嘉永五十一(108)

ちようけていわうしまだい

ちらし書恋文章  
天保元五(60) 九(61) 十一(62) 三十一(64) 五十九(69) 九十(80)

※ちらしがきこいのたまずさ

彫刻左小刀  
天保元九(61) 五四(69) 六四(70) 安政六十一(115) 文久元十一(118) 慶応三七(121) 明治元十二(125) 二十一(150) 一五〇

※ちようこくひだりこがたな

ちらし書恋文章  
明治二八(126) 六九(130)

ちらしがきこいのぶんしょう→ちらしがき  
こいのたまずさ

蝶衝俤曾我  
明治元三(122)

「ちようちどりおもかげそが」

ちらし書恋文章

ちらしがきこいのぶんしょう→ちらしがき  
こいのたまずさ

蝶千鳥狩場曠装  
明治十五九(142)

「ちようちどりかりばのあけぼの」

鎮西八郎誉弓勢  
天保元八(61) 二七(63)

ちんぜいはちろうほまれのゆんぜい

蝶千鳥曾我実録  
明治十二三・五(133) 二十一(149)

「ちようちどりそがのじつろく」

鎮西八郎弓張月  
天保六一(69)

ちんぜいはちろうほまれのゆんぜい



追福いろは実記

ついでんいろはじつき

弘化元一七(156)

ついはなかいらぎ

対の花かひらぎ

ついでんいろはじつき

寛政六十一(16) 文化六十八(31)

对雛形

文化十一(35)

翻蝶潤粉色

つがい「ちようそめて」いろどり

嘉永五三(107)

双蝶情拽窓

つがいちようなさけのひきまど

文化七一(32)

諺言吾妻世話事

つがもないあすまのせわごと

寛政三二(13)

天保元一十(61)

東詞廓色柄

つがもないさとのいろづか

文化六九(31)

接合駅路梅

つぎあわせえきろのうめ

文化十一(87)

接合北国梅

※つぎあわせこしじのめいぼく

享和元一(22)

接合北国梅

つぎあわせほこくのうめ↓つぎあわせこしじのめいぼく

文化八〇(32)

接木根岸礎

「つぎぎねぎしのいしずえ」

明治七十一(131)

十九(148)

十四一六・七(136) 十五二・三(138) 十八二(147)

月雪花関扉

つきとゆきはなのせぎのと

天保元一八(153)

月花雪振袖

つきにはなゆきのふりそで

天明元一(7)

月友桂川波

つぎのともかつらのかわなみ

天保元一八・九(153)

月光氏阪磨初雁

つきみつうじすまのはつかり

嘉永四一九(156)

月雪花東の錦絵

つきゆきはなあすまのにしきえ

文政四十一(45)

月雪花校額

つきゆきはなのおみせ

寛政十一(19)

葛紅葉宇都の谷峠

「つたもみじうつのやとうげ」

明治二十一(150)

葛鏝窓横櫛

「つたもようこいのよこぐし」

明治三十(128)

津国長柄の人柱

つくのくにながらのひとばしら

安永七十一(6)

袂重浮名の鮫鞘

「つまがさねうらみのさめざや」

明治元一三(122)

袂重恨較鞘

つまがさねうらみのさめざや

天保七十五(72)

袂重縁橋本

つまがさねうらみのさめざや

明治二三(125)

袂重勘助縞

つまがさねかんすけじま

寛政九一閏七・閏七・十(18)

袂累解脱の絹川

「つまがさねげたつのきぬがわ」

明治十五十一(143)

棲重恋橋本

明治十四(137)

〔つまがさねはぎのだてぞめ〕

棲重累秋伊達染

慶応三(121)

〔ま〕が〔さねゆか〕り〔の〕い〔ろあげ〕

棲重縁色揚

安政二(111)

〔つまこうしかさののあだうち〕

妻乞鹿浮佐野響

明治八(131)

指紋鮮血染野晒

明治十四(135)

つま〔みし〕ぼり〔ちぞめの〕〔ざら〕し  
十五(139) 十七(146) 十八(141)

(148)

妻結鄙の懸

寛政元(11)

つまかさねたるこがねのやまぶき

積高黄金山富貴

天保二(64)

つまもるこいゆきのせきのと

積恋雪関扉

寛政十二(21) 文化十七(35) 天保九(79) 弘化三十

一(156) 嘉永二十(105) 六一(108) 十一(109) 慶応三(121) 明治

十五(139) 九(142)

〔つまもるこいゆきのちもらい〕

積情雪乳貰

明治十一(132)

※つまもるゆきの〔ちのはちのき〕

会稽雪後日鉢木

天保八(77) 安政三(112) 明治十一(132)

つましぐれそねざきしんじゅう

露霰曾根崎心中

天保七(154)

つまのちゆうくるわめいげつ

露蝶廓名月

享和三(24) 文政五(45)

釣狐罘環菊

つりぎつねわなのかんぎく

嘉永元(156)

鶴ノ巢籠

寛政九(18)

連吉野初音旅路

文政十一(152)

つれもよしのはつねのたびじ

て

定家卿小倉色紙

天保十二(87)

ていかきょうおぐらのしきし

貞操新宿断

明治十六(145)

傲花傾城道成寺

天保十三(87)

てくだのはなけいせいどうじ〔よう〕じ  
三(88) 弘化元(93) 二(94)

手管の罘狐釣髭

明治十六(144)

寺小屋女鑑

文政二(41)

てらこやおんなかがみ

天一坊実録

明治十五(143)

天下一大岡政談

明治十五(142)

〔てんかいちめいよのせいだん〕

殿下茶屋聚

文化五(29)

てんがちややむら

一(84)

殿下茶屋村敵討

文化七(32)

てんがちややむらのかたきうち

天竺三徳兵衛断

※てんじくとくべえいこくばなし

文政九(六)(52) 天保四(七)(68) 弘化四(八)(100)  
天竺徳兵衛漢の入船  
てんじくとくべえいこくのいりふね

天保六(七)(70)  
天竺徳兵衛轡断  
てんじくとくべえからごとばなし↓てんじ  
くとくべえいこくばなし

天竺徳兵衛聞書往来  
てんじくとくべえききがき(おうらい)  
寛政七(九)(16)

天竺徳兵衛万里入船  
てんじくとくべえはんりのいりふね  
天保十二(七)(155)

天赦万義経最貞  
てんしゃよろずよしつねびいき  
天明元(十一)(7)

天正月劇場門松  
てん(しょう)がつ(しょう)しばいのかどまつ  
文政十二(十一)(153)

天網島  
てんのあみじま  
文政元(三)(39) 嘉永二(二)(103)

天網島操競  
てんのあみじまみさおくらべ  
明治十一(132)

天満宮愛梅桜松  
てんまんぐうあいじゆのめいぼく  
文政十一(一)(55) 天保十二(五)(86) 弘化二(五)(95) 四(一  
(98) 嘉永四(五)(107) 安政元(一)(109) 六(五)(115) 明治三(一)(127)  
四(一)(129) 十七(一)(146) 二十一(二)(150)

天満宮菜種御供  
てんまんぐうなたねのごくう  
安永六(四)(5) 天明元(十一)(7) 文政十一(三)(55) 天保十二(四  
(86) 七(87) 十三(三)(88) 弘化三(七)(97) 安政六(三)(115) 慶応三  
一(120) 明治六(二)(130) 十四(九)(137) 十五(六)(141) 十六(一)(144)  
二十二(三)(151)

天満利益左門の一代  
明治十六(九)(145)

と

東海道宇都谷峠  
とうかいどううつ(の)や(とう)げ  
安政四(三)(113)

東海道汽車先引  
とうかいどうきしやのさきびき  
明治二十一(149)

東海道恋の関札  
とうかいどうこいのせきふだ  
寛政五(四)(14) 享和元(七)(22) 天保九(十一)(80) 弘化四(十)(100)

東海道五十三駅  
とうかいどうごじゅうさんつぎ  
明治二(五)(126)

東海道七里の涉  
とうかいどうしちりのわたし  
天保十一(八)(84)

東海道茶屋の娘  
とうかいどうちやのむすめ  
天保六(十)(71) 七(五)(72) 十二(75) 十四(十)(92) 嘉永二(七)(104)  
九(105) 明治三(八)(128) 八(九)(131) 十四(三)(135) 十五(八)(142) 十  
六(八)(145)

東海道四谷怪談  
とうかいどうちや(や)のむすめ↓あずまか  
いどうちや(や)のむすめ  
とうかいどうよつやかいだん

東京土産伊達横櫛  
とうきょうみやげいだてよこじ  
明治十四(十二)(137)

東京土産よたか煙艸  
とうきょうみやげよたかえんし  
明治十六(四)(145)

堂島救入浜  
どうじますくい(の)たてひき↓おとこいっぴ  
きすくい(の)たてひき  
どうじょうじこいのくせもの

道成寺思恋曲者  
どうじょうじこいのくせもの  
文政十二(十一)(153)

道成寺現在蛇鱗  
どうじょうじこいげんざい(うろ)こ



明治十四一(135)

とうせいぎぞくせん

当世寄族撰

とうせいごのみはるのしんがた

寛政六一(16)

当世梅松春新形

明治十五一(138)

当世書生賢氣質

とうせい「い」はち「もんじ」

明治二十一(150)

当世八文字

嘉永四一(106)

当盛威茜染

明治十六一(143)

道中龜山嘯

文化三三(27)

唐土日本往古図

安永八一(6)

遠江潟恋賊

文政二九(41)

大通幡隨長兵衛

天明八一(11)

関源氏再来

安永六一(6)

時逢阪増井達引

明治十五一(142)

時再興在原系図

文政三九(43)

則幸桜色蘭

天保十一(155)

扇源平躑躅

天保八一(76)

時文月恨魚交翰

明治十五一(141)

京陽氣源顔見世

天明八一(11)

春駒成枯梗旗上

文政三五(42)

時桔梗出世請状

嘉永六一(109)

橋松花草摺

弘化二一(156)

南詠恋抄書

南詠恋抜粹

安永九一(7)

南詠恋抜粹

天明八一(76)

南詠廓抜粹

明治十五一(138)

綴合大賀功

明治元一(124)

同計略花芳野山

寛政四九一(14)

八一(50)

治元一(122)

十六一(144)

鳥羽の恋塚

明治十二一(133)

とばかりはなのよしのやま

「とばのこいづか」

ときはいちようげんじのかんばせ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

ときはいままぎきょうのはたあげ

とぶ端の道化

明治二十六(八)(151)

友千鳥恋の下道

ともちどりこいのしたみち

安永九一(7) 寛政元閏六(11) 文化元五(25)

豊臣世千鳥聞書

明治十八二(147)

虎石想曾我

とらがいしねんりきそが

天保元一(153)

鳥追於松海上話

「とりおいおまつみのうえはなし」

明治十五一(142) 十六一(144)

鶏鳴吾妻世話事

とりがなくあずまのせわごと

天明七一二(10)

鳥兜岸姫松

とりかぶと「き」しのひめまつ

寛政七一九(16)

天の川世帯

とわたるせたい

寛政六閏十一(16)

な

中当金蔵入

なかにあたってこがねのく「ら」いり

文化六一(48)

中山夢物語

「なかやまゆめものがたり」

明治十二一(133)

長柄長者黄鳥墳

ながらちようじゃうぐいすづか

文政四十(45) 八十一(51) 九十九(53) 天保二十(63) 三十一

(64) 四二(67) 五二(68) 六十六(70) 八十八(77) 弘化二一八(95)

四一六(99) 嘉永元九(102) 明治元一二(122) 五(123) 十四一八(136)

なかれの友鳥

安永六一二(6)

名護屋帯雲稲妻

なごやおびくもにいなすま

天保七九(154) 安政四一三(113)

情の掛あんどろ

安永九一七(7)

なさけの乗かけ

安永九一三(7)

那須与市西海硯

なすのよいちさいかいすずり

安永五十六(5)

倣花雪菊水

「なぞらえてふぶきのきくすい」

文久元一八(117)

菜種の花盛

「なたねのはなざかり」

文久元一五(117)

菜種の乱咲

なたねのみだれさき

天明二一五(8)

菜種の群袖

「なたねのむれそで」

九一四(33) 天保元閏三(60) 十一二(83)

明和八一(4)

菜種裳

なたねのもすそ

寛政十一一六(20)

夏衣裳かしく反古染

明治十七七(146)

夏衣裳鷹金小紋

なついしょうかりがねこもん

文化六一六(31)

夏衣裳雁染

なついしょうかりがねぞめ

寛政五十六(15)

夏神楽花街八景

なつかぐらくるわはっけい

安永六七(5)

夏祭浪花鑑

なつまつりなにわかがみ

安永五・五・六(15) 九(5) 九(5) 七(7) 寛政三(7) 八(13) 八(15) 九(17) 九(18)

六(18) 十五(19) 享和三(6) 文化十三(6) 文政六(4) 文政六(4)

・五(47) 七七(48) 十一(55) 十二(57) 天保元(6) 天保元(6)

二(5) 六(3) 三五(5) 五(6) 四(5) 五(5) 五(6) 七(7) 七(7) 七(7)

九(6) 六(7) 七(7) 十一(6) 八(8) 十二(5) 六(8) 十四(6) 九(9)

弘化元(5) 三(9) 三(9) 五(6) 四(5) 五(9) 嘉永二(7) 四(10)

三(5) 安政四(5) 明治二(5) 五(12) 五(12) 三(5) 三(5)

五(6) 十四(8) 十五(7) 十五(7) 十五(7) 十五(7) 十五(7) 十五(7)

陽気風勝負帷子

なつもようしゅうぶかたびら

寛政七(6) 六(16)

夏浴衣清十郎染

なつゆかたせいじゅうろうぞめ

天明四(4) 九(9)

七重絹吾妻雛形

ななえぎぬあずまひながた

寛政八(1) 一(17)

七重八重咲分棧

「ななえやえさきわけざくら」

文政十二(三) 一(153)

七艸若菜切

ななくさわかなきり

安政三(9) 九(112)

七変化

「ななばけ」

弘化三(9) 九(97) 嘉永三(一) 一(105)

七変化所作事

「ななばけしよきこと」

天保四(7) 七(68)

七変化七艸拍子

ななばけななくさひょうし

天明五(一) 七(9)

音大岡公裁実録

なにおう「おのおかこう」さばきはんせつ

明治十三(132) 十五(8) 一(141) 一(142) 二十(149)

名夕良雨の旧寺

なにゆうがおあめのふるでら

嘉永四(9) 一(156)

浪花渦三津汐波

なにわがたみつのしおくみ

文化八(9) 三(33) 天保十二(一) 八(85) 嘉永元(二) 一(101) 明治十五(三) 一(138)

浪花合戦誉強勇

「なにわがっせんほまれのつわもの」

明治五(一) 一(130)

浪花線和鏡

なにわくるわかがみ

天保十二(四) 八(86)

浪花染門出大紋

なにわぞめかどでだいもん

安永六(十) 六(6)

浪花褙血汐色潤

なにわつまちしおのいろあげ

文化六(四) 四(30)

尾上梅和市曾我

なにわのやわらそが

天保十一(一) 一(83)

浪花春梅子聞書

明治二十一(十) 一(150)

浪花名物鴈金染

なにわめいぶつかりがねぞめ

寛政四(九) 九(14) 弘化元(八) 八(93)

浪花名物俠客鑑

なにわめいぶつ——かがみ

天保四(七) 七(68)

靡萩大坂顔見世

なびくはぎなにわのかおみせ

安永六(八) 八(5)

鍋祀貞婦鏡

なべまつりていじょくらべ

安永六(七) 五(5) 天明元(八) 八(7)

鵜恋湊

なまめかしこいのふなつき・なまめきしこ

浪乗曾我花景清

いのふなつきしたてひきこいのみなど

安政三(一) 一(111)

な「みのりそ」が「はな」の「けいせい」

安政三(一) 一(111)

浪を花雪のさらし女

文化六一(30)

なみをはなゆきのさらしめ

盛名橋北国奇談

明治十五九・十一(142) 二十一(150)

「なもたちはなほっこきだん」

双紋廓綿絵

弘化二(95)

——もんく——にし——

双紋恋錦絵

明治元一閏四(123)

成田山木札由来

明治四一八(129)

鳴響丑刻鐘

明治十七七(146)

業平織明治新形

明治十四一十一(137)

鳴渡浪花噂

明治元一五(123) 十七一六(146)

「なり」わたる「な」にわのう「わさ」

雷神不動北山桜

寛政八(17) 文化九一五(34)

なるかみふどうきたやまざくら

鳴尾瀉婦女白浪

明治十二一十(133)

なるおがたお「んな」しらな「み」

楠雪都

寛政九一十一(18)

なんぼんゆきのみやこ

に

新館富貴襪

天明元一十一(7)

にいやかたふうきのいしずえ

二王門端歌雜祿

におうもんはうたのらくがき

天明二一四(8) 寛政十一九(19)

鷗湖月名所

文化二一九(26)

におのうみつきのなごころ

鷗湖名勝渡

天保五八(69)

におのうみゆうしやのいさおし

錦画見歌戯山崎

文化十一一六(35)

にしきえでみたかぶぎの「やま」ざき

錦の薦かつら

文政二一・一(40) 五(41) 天保七一(71)

にしきのつたかすら

西入暁の金

天保十三九(89)

「にしに」いるあかつきのかね」

重扇写松画

天保六一三(70)

にじりがきすみえのひとふで

拙筆力七以呂波

文政十一一三(152)

にじりがきななついろは

会稽雪後日鉢木

二世の縁花の台

にせてゆきのち「の」はちのき↓「つもるゆ

二世紫吾妻内裡

文化九一・一(33) 天保三五(65)

きのちのはちのき」  
にせのえんはなのうてな

安政二一(110)

「にせむらさきあすまのだいり」

日蓮聖人法海記

明治九一(131)

にちれんしょうにんみのりのうみ

日蓮上人御法海

嘉永二一(105) 安政四一十一(114) 明治十三九(134) 十四四(135)

「にちれんたいぼさつしんじつでん」

日蓮大菩薩真実伝

明治十五一(138)

新田一統志

明治元一七(123)

日本第一和布疋神事

にっぽんだいいちめかりのじんじ

天保元一八(61) 七二(71) 八〇(75) 弘化元一十(94) 四十(100)

嘉永二一七(104) 明治四一一(129) 十二九(133)

式人獅子四枚扇

明治二一一一(151)

ぬ

ぬけ参牛の角燈

明和八一五(4)

ぬし様に思参らせ候

文化十一一二(36)

布ひいき滝色糸

文政八一(51)

布引滝

安永元一十(4)

ぬけまいりうしのつものもじ

「ぬしさまにおもいまいらせせうろう」

ぬのびいきたきのいろいろと

「ぬのびきのたき」

ね

願絲恋芋環

天保八一七(76)

鼠小紋吾妻新形

「ね」がいのいとこ「いの」おだまき

鼠小紋稲葉新形

明治十三一二(134) 十五五(139) 十八三(147)

鼠小紋春の新形

明治十五一五(140)

は

博多小女郎

天保八一(154)

博多小女郎操競

明治十一一一(132)

種花先代名松本

文政四一七・七(44)

白梅源氏鼠義始

寛政三十一(13)

閨の扇廓宝恵駕

明治十三一二(134)

の

野路梅春雨文庫

明治十一一三(132)

後の月酒宴島台

文政十一一十九(152)

のべの書残

安永三四(5) 天明八十一(11) 寛政六閏十一(16) 享和三七(24)

文化三三三・三五(27) 八四(33) 文政二一八(41) 八十一(51)

天保八十一(77) 十二十(87) 嘉永二十一(105)

乗掛合羽伊賀駅

明治十五一十一(142) 十六一(143)

飾駒曾我通双六

弘化四一一(156)

「ねやのおうぎくるわのほえかこ」

のちのつきしゅえんのしまだい

のべのかきおき

「のりかけがっぱいがのうまや」

はかたこじょうろ

はぎはせんたいなはまつもと

はくばいげんじちゅうぎのてはじめ

葉越通月女熊飯

—こ—つきおんなくまさか

天保十一(81)

箱根靈驗覺仇討

はこねれいげんいざりのあだうち

享和元九(22) 三七(24) 文化七八・十一(32) 文政元四(39)

五九(46) 九九(53) 十八(54) 十一十二(57) 天保元三(59)

九(61) 四十(68) 十四・七(81) 弘化二九(95) 三九(97) 四

九(100) 嘉永五二(107) 文久二五(118) 慶応二二(120) 三十四

(121) 明治二五(126) 三十(128) 七九(130)

橋弁慶

はしべんけい

安政六一五(115) 文久三九(119) 慶応三十一(122) 明治元五(123)

二五(125)

始開南芝英

はじめてひらくなんしのはなぶさ

寛政七一(16)

場所へ清水相撲立引

ばしょはきよみずすもうのたてひき

寛政四一五(14) 天保八一(75)

拙松の俳優

はずかしきまつふりごと

文政三十一(43)

八丈伝花魁

はちけんて「ん」はなのさ「き」がけ

天保十二(86)

八丈島道化

明治二六(81)

八陳守護城

はちじんしゅごのほんじょう

文化五三(29) 九(30) 十三(38) 文政元八(40) 二五・六(41)

三九・九・十一(43) 九八(52) 天保三三(66) 五十二(69) 七

一五(72) 十一(74) 八十一(154) 十二(85)・十一(87) 十三(88)

(88) 十四(91) 弘化三三(96) 九(97) 嘉永元一(101) 二七

(104) 安政元五(109) 三九(112)

八幡祭獅子花画

「はちまんまつりししのだんじり」

明治十五(142)

八幡祭礼宵宮賑

明治十一九(132) 十五九(142)

初戎福徳歌

はつえびすふくやとくわか

嘉永四一(106)

葉月の水鳥

寛政九閏七(18)

立春姫小松

はつ「がす」みひ「め」やちとせりっしゅん  
ひめこまつ

八丈伝評判楼閣

はつけんてんうわさのたかどの

天保七四(154)

初信廓文章

「はつだよりくるわぶんしょう」

明治十五(139)

新聞詞錦絵

「はつだよりことばのにしきえ」

明治八(131)

初音旅

はつねのたび

文化二十一(27) 四七(29)

初音旅梅窩

はつねのたびうめのあいやど

天保九一三(155)

初音の旅路

はつねのたびじ

文政四一(45) 天保二二(64) 弘化四五(99)

初翠緑尾上岩藤

「はつみどりおのえのいわふじ」

安政四一(113)

初櫓金幔幕

はつやぐらがねのまんまく

享和三十一(24)

初櫓豊歳三番叟

はつやぐらたねまきさんばそう

嘉永五十八(108) 明治三十一(129)

初櫓雪振袖

明治十六一(143)

艶競石川染

はでくらべいしかわぞめ

寛政八四・五・六(17) 天保二四(63) 十四十一(92)

競伊勢物語

※はでくらべいせものがたり

安永四四(5) 九三(7) 天明三四(8) 寛政三十二(13) 五

三(14) 四(15) 十(19) 十二四(21) 文化元八(25) 文政七

八(48) 九十一・十二(53) 十三(54) 十二三(57) 天保四七・

七・七(68) 五九(69) 七三(72) 七(73) 十二四(86) 弘化三

五(96) 四四(99) 嘉永二五・八(104) 四二(106) 明治三十一(128)

十五四(139)

容競恋抜粋

はでく「らべこ」いのいろ「さし」

安政元一(109)

艶競恋関札

はでくらべこいのせきふだ

天保六閏七(71)

艶競恋の湊

はでくらべこいのみなと

天保十四三・三(90) 弘化四十(100)

競曾我入船

明治十四三(135)

艶双蝶紋日

はでくらべちちょうのもんび

文化十四三(39) 文政八九(50) 十(51) 十一(53) 十二八(58)

天保三九(66) 五七(69) 八五(76) 九九(79) 十三(81) 十一

一六(84)

艶通当世姿

はでくらべとうせいすがた

文政五七(46) 天保元六(60)

艶競奴無間

はでくらべやっこむげん

文政二二(41)

艶競若葉英

はでくらべわかばのはなぶさ

天保七十一(74)

容艶姿娘道成寺

文化二八(26)

当世模様優然染

文化六一(31)

花菖いろは連歌

天保十二五(155)

花筏殿流島

文化二閏八(26)

花筏情水棹

文化七一(32) 安政元十・十一(110) 慶応三十一(122)

花燈淀川語

寛政十二一(21)

花茨胡蝶廼粉色

明治十八一(147)

花扇錦絵競

天保十三四(88) 嘉永二一(103)

花霞名盛扇

享和元一三・三(22) 天保元一八(61)

花筐因幡松

安永六一(6)

花筐双葉俤

天明五二・二・三(9)

花形見娘道成寺

天明八三(10) 三(11) 天保十三(155)

花兜四季の写絵

寛政四一(14)

花川戸身替の段

弘化二九(156)

はですがたむすめどうじょうじ

はでもようゆうぜんぞめ

はなあやめいろはれんが

はないかだがんりゆうじま

はないかだなきの「み」す「さ」お

はないかだよどがわばなし

「はないばらこちちょうのいろどり」

はなおうぎに「し」き「え」くらべ

はながすみなとりのおうぎ

はながたみいなばのまつ

はながたみふたばのおもかけ

はながたみむすめどうじょうじ

はなかぶとしきのうつしえ

はなかわどみがわりのだん

競伊勢物語

はなくらべいせものがたり↓はでくらべい

せものがたり

はなくらべさとのすがたえ

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

はなくらべしきのことぶき

花魁答八絵

はなのあにつほみのやつぶき

天保七・一・二(71) 三(72) 十三(89) 弘化四・一・二(98) 嘉永

元五(101) 安政四・九(114) 五十二(115) 慶応二・一(120) 三十八(121)

明治元・十(124)

花上野幼稚文談

「はなのうえのおさなぶんだん」

明治十六・十一(145)

花上野誉の石碑

「はなのうえのほまれのいしづみ」

明治二五(126) 十五・一(138)

花写絵

はなのうつしえ

寛政十一・一(20)

花雲輝双紙

「はなのくもいなすまそうし」

明治三・三(127)

花雲鐘入月

はなのくもかねにいるつき

天保八・三(154)

花雲鐘浅草

「はなのくもかねはあさくさ」

弘化二・三(94)

花雲佐倉曙

はなのくもさくらのあけぼの

嘉永五・三・五(101) 六一(109) 明治三・九(128) 十四・十(137) 十五

一五(139) 七(141)

花雲撞鐘頭

はなのくもつきがねかしら

文化元・三(25) 四・三(28)

桜花雲鳴神不動

はなのくもなるかみぶどう

文化十三・九(38)

花蓋大江山

はなのさかずきおおえやま

弘化二・十一(156)

花魁曾我譚

明治十四・八(136)

花競俄曲突

はなのほかにわかきよくつき

弘化二・一(156)

競伊勢物語

花競廓姿絵

文化二・一(26)

花競四季寿

寛政六・四(15)

花競十二月

文化十四・一(38)

花車淀曉鐘

明治十二・二十一(133)

花曆春陽賑

安政六・一(115)

花さそぶ縁の乗合舟

文化五・一(29)

花菖蒲浮木亀山

明治十一・六(132)

花勝負甲陽軍記

明治二十・五(149)

花相撲蝶々紋日

はなすもうちょうちょうのもんび

天保二・二(62) 弘化元 盆替り・九(93) 嘉永四・三(106)

はなすもうぶゆうのかちどき

天明六・五(10)

はなだすきかいかいけいかちんぞめ

天保七・二(71) 弘化二・十(95) 嘉永元・七(101) 明治元・九(124)

はなだすきかめやまばなし

天明四・一(9)

はなとみますいとしいのもじ

天保十・十(155)



花洛西名所

明治十四(136)

花洛矢数齋

天保十三(88) 嘉永元(101) 文久三八(119) 明治十五十一

(143)

花街吉原通

明治十六(144)

花の裳

寛政十二(21) 文化六一(30)

日本花赤城塩籠

安永六一(6) 天明元(7) 寛政四九(14) 九三(18) 文政

十六(54) 十一九(56) 天保十二五(86) 十四三・三(90) 弘化

元十一(94) 四十一(100)

開花春東京新聞

明治八(131) 十五三(138)

花英筐石橋

享和二九(23)

英執着獅子

天保十一(82)

花雪歌清水

花雪歌清水

文政十二一・二(57) 天保十四一(90) 弘化三一(96) 嘉永二

一(102) 安政二二(110)

花雪恋手鑑

明治三十一(128)

桜田雪盛忠美談

明治六一(130)

花雪箱根曙

文久二(118)

花幕瓢箪盞

文久三(119)

花実時佐賀妖猫

明治十五(139)

花当所目見得所作事

明治十六(144)

花娘昔八丈

明治四一(129)

紅筆恋取組

天保九(79) 明治二七(126)

花楓いろは評判

天保十一(84)

花楓小倉の色紙

嘉永五(107)

花楓浪速詠

文化七八(32) 天保元(8) 文久元(18) 文久三(22)

花楓都模様

明治十八(148)

花櫓恋堰取

文化五十六(29) 十三(37)

契比翼額襖

天保八九(154)

花和讃新羅伝記

嘉永五(157)

浜砂伝石川

文化元九(25)

はなふぶきはこ(ねのあけほの)

はなまくひ(き)のさかず(き)

はなみどきさがのようみょう

はなめずらしきこ(いの)とりくみ

はなもみ(じ)いろは(ひょう)ぼん

は(な)もみじおぐら(の)しきし

はなもみじな(わ)のながめ

は(な)もみじみやこもよう

はなやぐらこいのせきとり

はなれぬなかひよくのがくむく

はなわさんしんらごでんき

はまのまさごつきぬいしかわ

早教訓開化節用

明治十五(139) 五(140)

〔はやがくもんかいかごよみ〕

やはり歌恋抄書

天明五(18) 九(9)

はやりうたこいのぬきがき

新歌街紅摺

文化十八(35)

はやりうたさとのべにずり

時花服嫁入模様

明和五(15) 三(3)

はやりこそでよめいりもよう

張強月吉原

天明七(14) 四(10)

はりつよきつきのよしわら

播磨瀉雪曙

明治七(13) 三(130) 十五(15) 五(140)

春霞女猿曳

安政三(11) 三(112)

〔はるがすみおんなさるまわし〕

春霞任の江八景

文政六(1) 一(47)

はるがすみすみのえはつけい

春霞鳩湖面

享和二(1) 一(22) 文政三(1) 一(42)

はるがすみにおのうみづら

春霞花石橋

慶応三(12) 二(120) 五(121) 明治二(13) 三(125)

春霞花都錦

明治二(11) 一(126)

春霞都室咲

明治十六(16) 十二(145)

春霞富士粧

文化十(1) 一(34)

春景隅田川

明治十三(13) 十(134)

はるがすみやまのよそおい

青陽詠梅桜色鏡

天保四(1) 一(67)

はるげしきはなのすがた

春景色和歌の浦波

文化十二(1) 一(36)

はるごまなるき(きょう)のは〔たあげ〕

春駒成栝梗旗上

弘化二(1) 一(94)

はるすもうひいきのかおぶれ

春相撲御撰顔触

天保十三(13) 三(155)

はるのこまおぐりがいでん

春鬼聊小栗外伝

明治十四(14) 一・三(135)

十七(1) 一(146)

春鬼聊小栗実録

明治十八(18) 一五(147)

春富士扇面張交

明治十五(15) 一五(139)

〔はるのふしおうぎのはりませ〕

春菊初旅芝

文政十二(12) 三(152)

はるもぎくはつねのわかしば

万国宝交易

明治二(1) 一(125)

ばんこくたからのこうえき

播州皿屋敷

文化十三(13) 六(37) 文政七(7) 九(49) 天保七(7) 八(73) 嘉永元(1) 八(101)

十一(102) 万延元(1) 五(116) 慶応三(3) 八(121) 十一(122) 明治五(5) 八(129)

十二(123) 十三(133) 十四(133) 一五(135)

ばんしゅうさらやしき



東山殿女狩

文政七(7) 一(49)

ひがしやまどのおんなまきかり

御最良錦車

ひげやひげにしきぐるま

文化四十一(29)

最曳花鐘入

ひけやひけやはなのかねいり

文化七十七(32)

彦山権現誓助鋳

ひこさんごんげんちかいのすけだち

天明七五(10) 寛政九十一(18) 文化元十(25) 十二(26) 七九

(32) 八三・三(49) 九二(51) 十五(54) 十一三(55) 天保元

八・八(61) 三八(66) 六五(70) 七十二(74) 九三(78) 十二

(80) 十一二・六(83) 弘化元十五(93) 嘉永元五・五(101) 九(102)

二九(104) 安政元十(110) 四三・四・五(113) 文久元五(117) 明

治三五(128) 九六(131) 十三九(134) 十五八(141) 十六一(144)

十八四(147) 二十七(149)

日高川入相花王

ひだかがわいりあいざくら

日高川恋の蛇籠

〔ひだかがわこいのじゃかご〕

一筆書墨田初鷹

ひとふでがきすだのはつかり

弘化四十七(156)

雛春東錦絵

〔ひなのほるあすまにしきえ〕

安政三十一(111)

南朝嫁入始

ひなのみやこよめいりのてならい

安永三十一(5)

ひなの裳裾

ひなのもすそ

寛政五十三(14) 四(15)

雛祭志賀の古里

明治十八五(147)

旭丸源氏鑑

ひのまるげんじかがみ

明和六一(4)

雲雀山中将姫

明治十四十二(137)

鷗山姫捨松

〔ひばりやまひめすてのまつ〕

明治十一十二(133)

響灘入船嘶

ひびきなだいりふねばなし

寛政三十八(13)

姫鏡双葉絵草紙

ひめかがみふたばえぞうし

寛政四一四(13)

姫鏡翳檜扇

ひめくらべかざしのひおうぎ

文化三十一(28) 天保三九(66) 六九・九七(71) 十一二(83) 十

四十一(92) 弘化三五(96) 万延元一(116)

姫鏡双葉絵草紙

ひめくらべふたばえぞうし

文化六五(47) 天保六七(70) 十(71) 八八(77) 十一一(83)

八(84) 十二一(85) 弘化元一(92) 二七(95) 三二(96) 嘉永

四一(106) 文久二一(118) 慶応三一(120) 明治元十一(124) 三

八(128) 十三九(134) 十五三(138) 十八九(147) 二十一二(151)

明和七十一(4) 天明七九(10) 文化元一(25) 十一(26) 文政

二一(41) 四五(44) 八三(49) 九二(51) 五(52) 天保元六

(61) 三九(66) 九十一・十二(80) 十三十(89) 十一(90) 十四

十一(155) 弘化四四(99)

飛始馬名画揚誉

明治十五一(138)

姫松住の江八景

寛政十三(19)

日向島

明治十二二(133)

兵庫岬栄花船謡

安政六八(115)

ひょう(こみさ)きえ(い)が(のふなう)た

ひよくも——の——↓かさねおうぎさか  
えのまつわか

中村筭

ひよくかんざし

文政十七(54)

翼蝶恋山崎

〔ひよくちょうこいのやまざき〕

明治十四(137)

比翼墳

ひよくづか

天保三十一(64)

ひよくのてまり売

ひよくのてまりうり

明治二二(3)

比翼鳥部山

ひよくのとりべやま

寛政四一(14) 文化四四(28) 天保十三(89) 明治元六(123)

八(124) 明治十四一(135) 十五(139) 五・六(140)

比翼紋曲輪色取

ひよくもんくるわのいろどり

明治二七(126)

双紋廓錦絵

ひよくもんくるわのにしきえ

さとのにしきえ

双紋廓錦絵

※ひよくもんさとのにしきえ

文化二九(26) 三十一(28) 文政十一(56) 天保六一(71)

七六(73) 弘化四一(100) 明治十六(132)

比翼紋蝶々色指

〔ひよくもんちようちよのいろざし〕

明治三三(127)

比翼紋名所并筒

ひよくもんめいしよいづつ

いしよいづつ

日吉丸稚桜

ひよしまるおさなざくら

ぎのさくら

日吉丸稚桜

※ひよしまるわかぎのさくら

享和三三(24) 文化十二(37) 天保七(72) 十一(84) 十

二九(87) 弘化元四(92) 六(93) 三五(96) 明治元十一(124)

平井権八曲輪通

ひらいごんばちくるわがよい

天保二一(62)

平井権八吉原街

ひらいごんばちよしわらがよい

寛政五三(14) 文政九一(51) 天保六一(70) 十□(71) 七五

(72) 十一(74) 八三(75) 七(76) 天保九一(78) 十一(80) 十

一・十一(82) 十一(83) 十四(83) 十四(83) 弘化元三(92) 二二

(94) 三十二(98) 四九(100) 嘉永二二(103) 五(104) 安政二

十(111) 元治元八(120) 明治三五・八(123)

比良嶽雪見陣立

ひらがだけゆきみのじんだて

寛政二四(5) 七(12) 七三(16) 文化一一・八(35) 天保八一(75)

ひらかな盛衰記

ひらがなせいすいき

明和五六(4) 天明元九(7) 三十二(8) 寛政十一(19) 十九(20) 享

和三一(23) 七(24) 文化四五(28) 六十二(31) 十八・八(35)

十一(36) 十四(39) 文政二八・八(41) 四四(44) 七三

(48) 九二(51) 三(52) 十七(54) 十一(55) 四(52) 六(56)

九(56) 十二(57) 十(58) 天保元三(59) 閏三・六(60) 二

四(62) 三□(66) 四五(67) 五三(68) 七十(74) 十二(75) 八

一六(76) 九八(79) 十・十一(80) 十五・九(81) 十一(82) 十一

一五(83) 十二(85) 十二(87) 弘化二五(87) 六(88) 三

六(97) 四二(98) 嘉永元五(101) 二二(103) 七・八(104) 三十一

(106) 四八(107) 文久二一(118) 元治元二(120) 明治三八

(128) 六五(130) 九一(131) 十五(140) 十六(145) 十七(147)

翻蝶潤粉色

——い——とり——

嘉永五五(108)



風流鮎白狐

安政四一五(113)

風流糸の調  
ふうりゆういとものしらべ

寛政二四・五・五(12)

雅栄花大尺  
ふうりゆうえいがだいじん

天保元一(153)

風流大江山  
ふうりゆうおおえやま

寛政三十一(13)

風流大おどり  
ふうりゆうおおおどり

安永六七(5) 文化十三七(37)

風流形見信夫摺  
ふうりゆうかたみのしのぶずり

安永六一(6) 享和元一八(22)

風流国姓翁  
ふうりゆうこくせんや

享和二一(23)

風流七だん獅子  
ふうりゆうしちだんじし

寛政四一二(13)

風流つり狐  
ふうりゆうつりぎつね

文化元一二(25)

風流三人形  
ふうりゆうみつにんぎょう

寛政九一八(18)

風流都大おどり  
ふうりゆうみやこおおおどり

明和二七(3) 六七(4) 安永九一七(7) 天明二七(8) 享和三七(24) 文化三七(27) 四七(29)

風流連管三番三  
ふうりゆうれんかんのさんばそう

天明二一(8)

封文娘緋鹿の子

明治十六九(145)

吹自慢忠左

明治二十六八(151)

福寿艸植込島台

文政元一十(40)

福人宝入船

明治四一二(129)

福大人遊廻の寿

天保十一一(82)

稻荷祭甲冑縁記

天保元一十一(153)

富士額男女繁山

明治十五一(138) 十六一(145) 十七一(146)

富士屏風霞卷帯

天保十一一(155)

伏見街道曙暁月

文政七七八(48)

ふぢ見月通者墳

天明三四(8)

両顔恋写絵

天保五五(69) 七五(72)

二面信夫の恋艸

寛政十一一(19)

両顔月詠歌

弘化四七(156)

両顔月姿絵

天保十四一(90) 明治二一八(126) 十四九(137)

二筋道曲輪三暮

明治十九一(148)

再開嬉船橋  
天保三十一(66)

「ふくじゆそううえこみしまだい」

「ふくのかみたからのいりふね」

「ふくだいじんゆうりのことぶき」

「ふじのもりかぶとえんぎ」

「ふじびたいつくばのしげやま」

「ふじをびょうぶかすみのまきおび」

「ふしみかいどううわさのあかつき」

「ふじみづきすいほうづか」

「ふたおもてこいのうつしえ」

「ふたおもてしものぶのこいぐさ」

「ふたおもてつきのことのは」

「ふたおもてつき(のすがたえ)」

「ふたすじしみちくるわのさんば」

「ふたたびひらくあんどのおなばし」

双柳蓮紋日 　　ふたつくしはちすのもんひ

天保十三(88)

双蝶々曲輪日記

ふたつちようちようくるわにっき

安永四(13)・五(15) 天明二(5)・五(8) 四(9) 寛政二(4)・四(12) 八

十二(17) 九(18) 享和二(21) 文化四(28) 九(33)

文政二(42) 六(47) 九(53) 十七(54) 天保元

閏三(60) 八(153) 十(61) 二七(63) 三三(64) 六三(70)

七三(72) 八五(76) 九四(79) 十一(83) 十二(85)

十四(90) 弘化二(96) 四(98) 嘉永元(9) 一〇(102) 二閏

四(103) 十一(105) 三二(106) 安政三(112) 明治元(5) 一〇(13)

四(131) 十五(143) 二十二(151)

双紋廓錦画

ふたつもんくるわのにしきえ↓ひよくもん  
さとのにしきえ

比翼紋名所并筒

※ふたつもんめいしよいつつ

享和元(5) 文化二(7) 二七(26)

二見の色貝

ふたみのいろがい

文化三(8) 二七(27)

二見姿

ふたみのすがた

寛政四(14) 一六(14)

二昔恋椿駒

ふたむかしこいのききがき

天保十二(85)

双女夫布洗雛形

ふためおとさらしひながた

文化四(28) 五閏六(29)

筆遊躰夜すがた

ふでずさみおぼろよすがた

寛政七(16)

船越鷹文月

ふみづきうらみのきりこ

明治十八(141)

文月恨切子

ふみづきうらみのきりこ

天明四(5) 寛政十(7) 文政十一(7) 一七(56) 天保十四(8) 一八(91)  
明治十五(9) 一四(142)

文月千種の夕映

ふみづきちぐさのゆうば「え」

天保五(7) 六(9)

冬籠室早咲

ふゆごもりむろのはやさき

天保七(11) 一七(75)

振合都袖笠

ふりあわせはなのそでかさ

天明七(4) 一〇(10)

振袖酒吞児

ふりそでしゅてんどうじ

寛政三(11) 一三(13)

振袖誕生梅

ふりそでたんじょうのうめ

明和六(4) 四(4)

振袖天神記

ふりそでてんじんき

明和六(4) 一四(4) 文化七(8) 一八(32)

振袖嫩鳴神

ふりそでふたばなるかみ

享和元(7) 二七(22)

振袖桜菅笠

ふりそでやよいのすげがき

文化四(13) 一三(28)

姿分可見鬘鬘戯

ふりわけがみうないこあそび

安永九(3) 一七(7)

振分髮真鳥実記

ふりわけがみまとりじつき

文化十二(四) 一五(37)

故参新年顔見世

ふるきをもつてあらたまのかおみせ

享和元(11) 二二(22)

昔慕やはり七化

ふるめかしけれどやはりななばけ

天保九(1) 一七(78)

粉色誉筆勢

ふるめかしけれどやはりななばけ

安永九(3) 一七(7)

文福茶釜の由来

明治十五(7)(141)

文武陣立

明治十二(112)(133)

文武蔵両刀扇簪

天保九(9)閏四(155)



平家女護島

へいけによごのしま  
享和二三(5)(23)三五(24)文化五十一(30)十四(13)(39)文  
政二五(41)七九(49)十一(9)(56)天保三十二(64)十一(13)・  
六(83)十一(85)十四(91)弘化四(5)(99)嘉永元(1)(101)  
安政三(11)(111)

紅色桔梗女団七

べにぎぎょうおんだんしち  
天保七(7)(73)十四(81)

紅彩色京曆

べにざいしきみや(こ)ごよみ  
文化八(3)(33)

紅紫大坂調

べにむらさきあいぞめあげ  
文化十三(13)閏八(38)



法恩日蓮記

〔ほうおんにちれんぎ〕  
明治二十(126)十四(136)十九(148)

防州苗打松

ほうしゅうなえうちまつ  
安永九(7)(7)文化二(2)(26)

北条時頼記

ほうじょうらいぎ

明和五(9)(4)天明元(7)(7)五十二(9)寛政十二(19)文化

十四(34)十一(11)・十一(36)十三(11)(38)天保八(1)(75)

九(3)(78)十三(9)(89)嘉永二(9)(104)安政三(11)(113)

奉納左彫刻

文化九(5)(34)

北雪美談時代鑑

明治十六(13)(144)

郭公相宿話

文政三(6)(43)

郭公雨夜紅

天明七(4)(10)

ほととぎす面白草紙

明治十七(3)(146)

暁朗浦朝霧

明治十二(11)(133)

誉石碑

天保十四(14)(91)

彫刻左小刀

〔ほのぼのとうらのあざぎり〕

惚慕浮名移

弘化三(11)(156)

惚同土二世麗夜

天保八(3)(154)

本朝糸のしらべ

文政十二(11)(59)

本朝糸屋娘

文政十一(11)(55)天保五(5)(69)六(7)(70)九(71)嘉永二(18)

(104)安政五(11)(114)

ほうのうめいよのほりもの

〔ほくせつびだんじだいかがみ〕

ほととぎすあいやどばなし

ほととぎすあまよのくれない

〔ほのぼのとうらのあざぎり〕

ほりぎざみひだりこがたな↓ちようこくひ

だりこがたな

ほれたどうしうきなのやうつり

ほれたとしにせのおぼろよ

ほんちよういとものしらべ

ほんちよういとやむすめ

本朝難波戦実記

明治十七(145)

本朝廿四孝

ほんちょうにじゅうしこう

安永六(10) 寛政二(12) 九(17) 十二(22) 享和二

二(23) 文化六(31) 七(32) 十(35) 十三(38)

十四(39) 文政元(39) 八(50) 天保四(67) 九

三(155) 十一(82) 十一(85) 十三(90) 弘化元(5)

(93) 二十(95) 四三(98) 嘉永二(103) 五(108) 安

政元(110) 六(115) 文久元(118) 慶応元(120) 三

五(121) 明治元(124) 三(128) 十一(129) 九五(131) 十三(134)

十四(137) 十五(140) 十六(144) 十一(145) 十

七三(146) 十八(147)

ま

舞扇南柯話

まいおうぎなんかのほなし

文化五(30) 七(32) 十一(36) 文政八(9) 九(50)

九三(52) 十一(55) 九(56) 天保二(63) 十一(64) 四

一六(70) 二ノかわり(68) 天保七(73) 十(74) 十二(75) 十

九(81) 十二(86) 十三(88) 弘化四(98)

舞扇閣の筐

まいおうぎねやのかたみ

寛政元(11) 文政十二(57)

迷子札戴断柱礎

まいごふださばきのいしすえ

明治十三(134)

通俗妓容三国志

まいらせそろくるわさんごくし

天保元(153)

参らせ候廓の初文

まいらせそうろう[さとのほつぶみ]

文政十二(152)

真孤隠鶴思ひ羽

安政元(109)

申瓢黄菊月

明治五(130)

真猿祝詞姿名残

文化十九(35)

未いろは楓棲紅

嘉永四(156)

莫怪踊化姿

文化十四(38)

再梅鉢金沢評説

明治十三(134)

再大藏閣の陸言

明治二(125)

再大藏都花粉色

明治四(129)

再忠臣赤穂実伝

明治二十一(149)

再忠臣赤穂実録

明治十八(147)

松鋸祝富久寿草

明治十一(132)

松下嘉平治連歌評判

寛政七(16)

松朝霞粉色

弘化二(94)

松の寿

文化二(27)

まこも[か]くれおしのおもいば

まさるひさごがねのきくづき

まさるめでたきすがたのなごり

まだいろはもみじのつまべに

またかいなじゅうにばけ

またのうめばちかなざわひょうじょう

またのおおくらねやのむつこと

またのちゅうしんあかほじつき

またのちゅうしんあこうじつろく

まつしたかへいじれんがのひょうばん

まつにあさかすみいろとり

まつのことぶき



松須磨一絃

文化二一(26)

まつのすまこと

松一本花真砂路

文政三十四(42)

まつひとぎはなのまさごじ

万調飛馬始

寛政六十一(16)

まずひめはじめ

松勇操高砂

文政三十一(43)

まつもろともみさおのたかさご

待宵庚申八百屋献立

明治十六三(144)

颯恋湊

まぶときやくこいのふかがわ↓たてひきこいのみなと

〔まねることうあたるほりもの〕

真似五斗当彫物

明治二十一六(150)

真似三筋拙猿智

明治十三九(134)

万歳艸妹背振袖

寛政元九(12)

まんねんぐさいもせのふりそで

み

実入種黄金駒曳

明治十二九(133)

〔みいりのあきこがねのこまびき〕

三枝の寄木

明和七一(4)

みえのやどりぎ

潔標浪花眺

寛政十一六(20)

みおつくしなにながめ

文化十二八・八(37)

身替月姿見

明和六一九(4)

みがわりつきのすがたみ

身替花舞楽

明和六一九(4)

〔みがわり〕はなのぶがく

身替雪錦木

明和六一九(4)

〔みがわり〕ゆきのにしきぎ

星猿榎玉踊

嘉永二七(104)

みぎりのえん——な——

貞操競文武陣立

明治十二四(133)

貞操花鳥羽恋塚

文政四一五(44)

みさおのはなとぼのこいづか

短夜夢朝日手枕

明治十六一十一(145)

〔みじかよのゆめあさひのたまくら〕

三島於仙媚陣取

天保八八(76)

みしまおせんてくだのじんとり

水伝授入船物語

天保二二八(63)

みずでんじゅいりふねばなし

乱菊露仇枕

安政三二八(112)

〔みだれぎくつゆのあだまくら〕

乱咲恋三面

天保六〇(71)

乱咲姿若艸

文久二二一(118)

みだ〔れぎすがた〕の〔わかき〕

栗恋大和全

文政十一一十一(152)

みちしるべこいのやまやま

道行翌の噂

〔みちゆきあすのうわさ〕

慶応二二(120)

道行龍の桂川  
みちゆきおぼろのかつらがわ

天明四一三(9) 天保元一(59)

道行恋近江八景  
「みちゆきこいのおうみはっけい」

安政二二三(111)

道行思案余  
みちゆきしあんのほか

弘化二一十一(156)

道行旅寐三度笠  
みちゆきたびねのさんとがさ

文化九一九(34)

道行袂白紋  
みちゆきた「も」とのしらしぼり

明治元一十一(124)

道行情の三度笠  
みちゆきなさけのさんとがさ

天保八一九(154) 十二一八(155)

道行初音旅  
みちゆきはつねのたび

天保十三・十二五(155) 安政五十一(115)

道行初音の旅路  
みちゆきはつねのたびじ

天保元一十一(62)

三津重桐の島台  
みつがさねきりのしまだい

天保元一八(61)

貢土雪源氏最貞  
みつぎのゆきげんじびいき

文政十一一十一(152)

三組誉景清  
みつぐみはまれかけきよ

寛政七七一(16) 天保元一三(60)

三紅恋乱菊  
みつくれないこいのらんぎく

文化十一一六(35)

三瀬河比翼思羽  
みつせがわひよくのおもいば

文化四一九(29)

三人形買出来合  
みつにんぎょうほんのできあい

文政三一六(43)

三津農潮波  
みつのしおくみ

寛政五一九(15) 享和二一(23)

三春翫雀躍  
みつ「のはるかんじゃくおどり」

嘉永三一一(105)

故衣襦袢錦  
みつものつづれのにしき

天保元一九(153)

三寄姿粉色  
「みつよせてすがたのいろどり」

明治四一八(129)

御堂前未刻太鼓  
みどうのまえお「やつ」のた「い」こ

嘉永元一五(101) 明治十四一七(136)

御堂前菖蒲帷子  
「みどうのまえしょうぶかたびら」

慶応三一五(121)

御堂前しょうぶの救劔  
みどうのまえしょうぶのすけだち

文化七四・五(32)

慣ちよつと七化  
みなろうてちよつとななばけ

文化十一一(34) 五(35) 天保二十(63) 八一五(76)

花橋新古置土産  
みなろうてとりあわせたるおきみやげ

嘉永五五十(108)

瑠やつと七変化  
み「なるうて」やつとななばけ

嘉永六一五(109)

慣やはり七変化  
みなろうてやはりななばけ

文化十三(34)

巳歳始堀江幸福  
みになるかなとちのにぎわい

文化五十一(30)

美濃近江恋関守  
みのおうみ「こいのせ」きもり

文政十一四(54)

豊穠月景清  
「みのりのあきつぎのかけきよ」

明治十五(九)(142)

みのりよしかねのなるき

当歳牛負稻  
文化元(一)(25) 十一(26)

みばえげんじしゅっせやまうば

孝源氏出世山姥  
天明八(九)(十)(11)

みやこおおどり

都大おどり  
明和四(七)(3) 六(七)(4) 寛政三(七)(13) 享和三(七)(24) 文政六(七)(47)

みやこきよみずこいのえんぎ

都清水恋廻縁記  
天保十二(九)(87)

みやこきよみずよかいちよう

花洛清水夜開帳  
文政八(七)(50) 嘉永二(四)(103) 閏四(104) 三(九)(106) 五(五)(108)

みやこけんぶつざえもん

洛陽見物左衛門  
天明四(九)(9)

みやこどりこ(「こ」もよざくら)

都鳥色夜伽  
明治二十一(十)(150)

みやこどりくるわのしらなみ

都鳥廓白浪  
明治十五(四)(139)

みやこどりこ(「こ」もよざくら)

都鳥頃夜桜  
慶応三(三)(121)

みやこどりめいしよのわたし

都鳥名所渡  
文政三(八)(43) 四(一)(44) 明治三(一)(五)(127)

みやこふうりゆうおおどり

都風流大踊  
安永四(八)(六)(七)(5) 天明二(七)(三)(七)(8) 寛政元(七)(12) 十(一)(七)(八)(20) 享和二(七)(23) 文化九(八)(34) 文政元(八)(40)

「みやこめいしよげんじえあわせ」

都名所源氏絵合  
文久三(九)(119)

みやすずめかわさきおんど

文化二(八)(八)(26)

みやのうつしえ

敵島のうつしえ  
寛政十一(一)(19)

宮本左門之助一代記  
明治十八(九)(147)

御行松高名旧跡  
明治十八(十一)(148)

豊春花洛賑  
嘉永五(一)(107)

南爾寄来妙法経  
天保元(一)(133)

江南魁曾我  
文政十二(一)(132)

昔鐙大父母日記  
安政四(五)(113)

昔鐙文武功  
安政三(三)(112) 明治二(八)(126) 七(三)(130) 十五(一)(138) 五(五)(139)

昔八丈白木実譚  
明治二十三(一)(149)

往古雛怪譚  
明治十七(一)(145)

昔尾岩怪談  
嘉永二(四)(103)

王代浪花入江始  
寛政十一(七)(20)

む

みやのうつしえ

敵島のうつしえ  
寛政十一(一)(19)

宮本左門之助一代記  
明治十八(九)(147)

御行松高名旧跡  
明治十八(十一)(148)

豊春花洛賑  
嘉永五(一)(107)

南爾寄来妙法経  
天保元(一)(133)

江南魁曾我  
文政十二(一)(132)

昔鐙大父母日記  
安政四(五)(113)

昔鐙文武功  
安政三(三)(112) 明治二(八)(126) 七(三)(130) 十五(一)(138) 五(五)(139)

昔八丈白木実譚  
明治二十三(一)(149)

往古雛怪譚  
明治十七(一)(145)

昔尾岩怪談  
嘉永二(四)(103)

王代浪花入江始  
寛政十一(七)(20)

む

むかしあ(「ぶ」みおおぶぼに「き」)

むかしあ(「ぶ」みおおぶぼに「き」)

むかしあぶみぶんのいさ(「お」し)

むかしあぶみぶんのいさ(「お」し)

むかしあぶみぶんのいさ(「お」し)

むかしあぶみぶんのいさ(「お」し)

むかしあぶみぶんのいさ(「お」し)

むかしあぶみぶんのいさ(「お」し)

むかしあぶみぶんのいさ(「お」し)

むかしあぶみぶんのいさ(「お」し)

むかしあぶみぶんのいさ(「お」し)

むかしあぶみぶんのいさ(「お」し)

むかしあぶみぶんのいさ(「お」し)

むかしあぶみぶんのいさ(「お」し)

往古曾根崎村噂

むかしむかしそねぎむらのうわざ

天明七・九(10) 文政七・八(48) 九・一(51) 十(53) 十三(54) 十

二五(58) 天保七・七(73) 十(74) 八・九・九・十(77) 十三(89)

弘化三十(97) 嘉永四・一(106) 安政三・九(112) 五・一(114) 文久元

一五(117) 三・七(119) 明治二・四(125) 三・二(127) 五(128)

むかし浪花噺

むかしをいまにゆめのたまくら

昔今夢手枕 寛政四・一(13)

神代右近橋 文化元・十二(26)

武蔵風流容書写 文政十二・十(58)

結文浮名簪 明治元・五(123)

結ぶの神垣 寛政十一・一(20)

結ぶの真草行 明和六・二(4)

嬢景清八島日記 文政元・八・九(40)

嬢景清八島日記 嘉永二・四・四(103)

嬢道成寺 寛政十四(19)

陸月恋手取 天保三・二(64)

村井長庵読切訳

明治二十一・九(150) 室の梅末開かしく

文政四・十一(45) 室正月

天保元・一(59) 十三・一(88)

室町容笠播州廻 天保九・八(79)

むろのしょうがつ

むろまちがさばんしゅうめぐり

名作切籠囃

享和元・八(22) 二・七(23) 文化十三・七(38) 十四・七(39) 文政五

八(46) 八・五・六(50) 九・七(52) 十一・五(55) 天保二・六(63)

七・七(73) 十一・六(83) 八(84) 十二・七(87) 十三・六・八(88)

八(89) 弘化三・八(97) 嘉永元・八・八(102) 二・八(104) 文久三・八

(119) 慶応三・八(121) 明治元・七(123) 二・五(125) 七(126) 十四・七・七(136)

名作左小刀 明治十七・七(146)

壱礎花大樹 寛政四・一(13) 六・閏十一(16) 文化三・九(28) 天保十三・一(87)

大岡才智捌 明治元・七(123)

名筆傾城鑑 寛政七・九(16) 文化三・四・八(27) 天保九・四(79)

名筆容粉色 明治十五・二(138)

名筆吃又平 明治十一・十二(133) 二十一(149) 二十一・一(151)

めいさくきりこのあけぼの

めいしよずえはなのこのした

めいだんさいちのおし「え」

めいひつつけいせいかのみ

めいひつすがたのいろどり」

「めいひつどもものまたへい」

名筆反魂香

めいひつはん(こ)んこう

弘化四(99) 嘉永三(105) 万延元(116) 明治元七(123) 十

四(136) 十七(146)

名物東錦絵

めいぶつあずまのにしきえ

天保三(64)

名物時雨蛤

めいぶつしぐれはまぐり

寛政三(13)

伽羅羅物語

「めいぼくかさねものがたり」

明治十五(143) 十六(145)

伽羅羅先代萩

めいぼくせんたいはぎ

安永七(76) 文化八(32) 十三(38) 文政三十一(43)

四(44) 九(51) 十七(54) 十一(57) 十二(58)

十一(58) 十一(59) 天保元三(60) 三(67) 四(68)

(68) 五(69) 六(71) 七(75) 八(77) 九(79)

八(79) 十五(81) 十一(84) 十四(89) 弘化元十

一(94) 二(95) 三(96) 四(98) 嘉永元三(101) 二

四(103) 五(108) 安政元八(110) 四(113) 万延

元四(116) 文久三(119) 明治元十二(124) 三(128) 六(130)

十三(134) 十四(135) 十五(138) 十一(143) 十七(146)

十八(147) 二十六(151)

銘々伝巻礎

明治二十一(148)

名譽仁政録

「めいよじんせいりく」

明治二七(126) 七八(130) 十五(143)

名譽田原実録

明治二十一(150)

名譽左彫刻

明治二十一(149)

妹駕福貴英

めおとかごふうきのはなぶさ

文政元(39)

女夫狐

めおとぎつね

天保七(73)

妻結鄙の唇

めおとごとひなのえくぼ

文化元(24)

惠閨雨鉢木

めぐみうるおうあめのはちのき

天保九(155)

惠咲室梅曆

めぐみにひらくむろのうめぐよみ

嘉永六(109)

御撰花吉野拾遺

めぐみのはなよしのしゅうい

天保十一(85)

芽出柳緑翠松前

「めだしやなぎみどりのまつまえ」

明治十七(146)

目出度打益

めでたいうちましよう

寛政十一(21)



艾屋久作縁搦杵

もぐさやきゆうさくいもせのうちぎね

文化六(11)

持丸長者黄金筭

もちまるちやうじゃがねのかんざし

享和三(24)

文政三(9)

天保四(68) 八(76) 十一(83) 八(84)

十二(86)

十三(88) 十(89) 十一(90) 安政

風流博田織

もてはやすはかたおり

嘉永二十一(105)

時勢万両橋

もてはやすまんりょうのたちばな

寛政九十一(18)

雪御伽平家

文政十一(152)

戻り駕

文化十三十一・十四(38) 文政九七(52) 嘉永元(101)

戻り駕色相扇

文政三六(43) 天保三九・一〇(66) 十一(82) 十一(84)

弘化元(92) 二(94) 嘉永元(101) 安政二五(111) 四

十一(114) 慶応三八(121) 明治元四(122) 十八(147)

戻り駕籠色相棒

文化十四(39)

戻り駕籠大傘

享和二・二(23) 文政七一(48)

戻り駕恋巖杖

文政九八(53)

戻り駕妻姿絵

弘化二二(96)

物ぐさ太郎

明和四三(3) 天明二七・九(8) 八(11) 享和三九(24) 文

化元(25) 四三(28) 八(29) 八(33) 文政元三(39) 十

一一(56) 天保八八(76) 嘉永五十一(108) 明治十五十一

(142)

物草太郎語

文政八〇(49)

紅葉鹿封文曾我

文政十二(152)

艶傘露振袖

明治四七(129)

もとみしはなおときへいけ

もどりかご

もどりかご

もどりかごいろいろにあいかた

もどりかごくるわだいぜん

もどりかごこいのいきづえ

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

もどりかご

若楓園生錦

寛政六一五(15)

楓狩劔本地

文化六一八(31) 八(33)

桃桜雜陸事

明治十四(135)

もどり鳴門白浪

寛政九二(17) 文政八一(49) 十一(55) 天保三一(64) 八

三(154) 九二(78) 十一(80) 十四(90) 明治八五(131)

花鳥青陽和

安政三二(112)

桃の宴三組盃

寛政十二(21)

桃柳春雨話

文化六一五(30)

桃柳鄙島原

寛政十三(19) 天保十二(86)

百夜艸雲井色鳥

寛政三八(13)

紋尺五人男

文政八三(152)

もみじがりそのうのにしき

もみじがりつるぎのほんち

もみじ(くら)ひなの(む)つ(と)と

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ

ももちどりなるとのしらなみ



八重霞花街入船

寛政六一三(15)

八重霞浪花浜萩

安永元(4) 文化十四(34) 文政十九(55) 十二(58)

やえがすみなるわのいりふね

やえがすみなるわのはまおぎ

やえがすみなるわのはまおぎ

やえがすみなるわのはまおぎ

天保二七(63) 四七(68) 七五(72) 八五(75) 十一(77) 弘化

元一六(93) 安政元一八・二二(110)・四(111) 万延元十一・文久元

一五(117) 明治五八(130)

八重九重花姿絵

やえここのえはなのすがたえ

天保十二七(155)

桐自来也談

やえむすびじらいやものがたり

文化四九・十一(29) 文政元一・一(39) 四(40) 十一(55)

天保三九(66) 七二(72) 八五(76) 十八(81) 十(82) 十一十

(84) 十四十(91) 弘化三三(96) 四六(99) 安政元十一・十一

(110) 万延元十一(117)

八百萬盟曾我

やおよろずちかいそが

寛政八九(17) 天保八一(78)

やおよろず「はり」まの「ひ」めま」

八百方播磨姫松

櫓競源氏旭凱歌

明治十七一(145)

櫓太鼓成田仇討

明治二十一(148)

艶音頭月の川崎

文化六一七(31)

艶王代一覽

寛政五三(14)

優姿尾上松

天保二一五(63)

艶姿菊振袖

天保十一一(85)

矢たけ心

寛政九五・九(18) 文化元一四(25)

宿無団七時雨傘

やどなしだんしちしぐれのからかさ

寛政元一二・二四(12) 六一六(15) 文化元一五(25) 四一五(28)

十一三(35) 十三〇・八(38) 文政二八(41) 三五(42) 七(43)

五六・七(46) 九五(52) 十七(54) 十一四・四(55) 天保元

七(61) 二五(63) 三五・六(65) 四五(67) 六五・五(70) 七

〇・七(73) 八五・七(76) 九八(79) 十二五(86) 七(87) 十三

一五(88) 十四五・七(91) 弘化二五月替り・七(95) 四六(99)

嘉永元七(101) 二五・七(104) 四五・八(107) 安政三八(112) 文

久三四(119) 慶応三五(121) 明治元五・六(123) 二五(126) 十三

一六(134) 十四一七(136)

柳桜彩絵加賀骨

やなぎさくらいろえのかがぼね

天保九一三(154)

柳桜春錦画

「やなぎさくらほるのにしぎえ」

安政五一(114)

柳糸引御撰

「やなぎのいとひくやこひいき」

明治三十一(129)

山姥道行景事

天明八一十(11)

東輝旭面箱

やまかすらあさひのめんぼこ

寛政八一・十一(17)

山路の曲水

やまじのきよくすい

文化六一八(31)

山路の竹馬

やまじのたけうま

文化元一五(25)

倭いろは鏡

文政十二一(133)

日本歌竹取物語

文政八一七(50)

やまとうたたけとりものがたり

倭歌月見松 やまとうたつきみのまつ

文化九十三(33)・五(34)

大和調手尔葉鄙 やまとうたてにはのふつつか

天保元一九(133)

倭仮名在原景図 やまとがなありわらけいず

安永四一九(5) 文化三三三(27) 十四五(39) 文政元四(40) 三十一

八・九・九(43) 十一(53) 四(54) 天保元六(60) 二七(63) 三

一(64) 六一(69) 十一九(84) 十四閏九(91) 弘化四八(100)

嘉永元一九(102) 二四(103) 六一(108) 万延元三(116) 文久元八

(117) 慶応三三八(121)

〔やまとこうじょうたまのこし〕

倭孝乘玉輿 安政元一八(110)

和訓水滸伝 やまとことばすいこでん

天明六十五(10) 享和元一八(22) 文化三七(27) 四八・五閏六(29)

文化七十七(32) 文政五十七・七(46) 天保十四一二(90)

大和錦朝日旗揚 〔やまとにしきあさひのはたあげ〕

明治二十一(148) 二十一(151)

大和国茜染 やまとのくにあかねぞめ

弘化二一五(95)

大和国井手下紐 やまとのくにいでのしたひも

文化元一十一(25)・十二(26) 天保元一(59)

大和橋黄金駒曳 明治二十七(149)

大和土産三勝櫛

明治八十一(131) 十二四(133) 十五五(139)

山伏せつたい やまぶしせつたい

文政九一(51)

足柄山賤舞

やままたやましずがくせまい

天保元十一(154)

山廻旭の粧

寛政七三・八(16) 文化四一(28) 十三閏八(38) 天保九十一

(80) 安政五十一(115)

山紅葉錦の五百機

文政四一九・九(45)

弥生道中離相宿

明治十五三(138)

三月開嬉心船橋

文化十三三(37) 文政三八(43) 七九(48) 八六(50) 天保元

十(61) 八一(75)

桜花大江戸入船 天保八三(154)

やよいのはなおおえとのいりふね



結合情紅筆

文久二一五(118)

唯興音羽の噺

明治二十一(151)

結柳蜘蛛の糸遊

文化三三三・四(27)

夕霞かげろふ姿

寛政四一(13)

娼妓誠花街夕暮

明治二十二(151)

夕霧廓文章

天保十二四・六(86)

〔ゆいあわせなさけのべにふで〕

ゆいやなぎくものいとゆう

ゆう〔ぎ〕のまことさとのゆうぐれ

ゆうぎりくるわぶんしょう



傀儡浅妻船

寛政十一(20)

ゆうくんあさづまぶね

有職鎌倉山

寛政元(12) 天保十(82) 十一(85) 十三(88) 十四

ゆうしょくかまくらやま

九(91) 弘化二(95) 明治十四(137) 十五(142) 二

十二(151)

優然染座敷八景

享和二(23) 文化三(27) 十三(37) 十四(39) 文政

ゆうぜんぞめざしきはつけい

二五(41) 八五(50) 十九(55) 天保元(59) 五二(68) 六

六(70) 八一(75) 九一(80)

友全染模様

文政五(46)

ゆふぜん染雛形八景

ゆうぜんもようひながたはつけい

安永八(6)

言入暁月鐘

ゆうていいるあかつきのかね

安政元(107) 三(112)

緑紫色緒卷

明治十三(133)

往來の艶言

ゆきぎのちわごと

安永六(1)

雪解松操織

ゆきげのまつみさおのきぬがき

弘化二(156)

雪墨廓達引

ゆきとすみくるわのたてひき

明治二十一(150)

雪曙女鉢木

ゆきのあけぼのおんなはちのき

天明五十一(9)

雪笠里土産

ゆきのかささとのみやげ

文政十二(153)

雪のせきの戸

明治二十六(151)

雪国嫁威谷

ゆきのなどころよめおどしたに

雪鉢木

文政元(39)

雪中松貞忠美談

ゆきのみさおていちゆうびだん

行平因幡松

享和元(22)

行平磯馴松

ゆきひらそなれまつ

行平旧跡松

ゆきひらめいしょのまつ

豊成盛色粉

明治三二(127)

弓張月秋の胡蝶

ゆみはりづきあきのこちよう

弓張月源家鎗箭

ゆみはりづきげんげのかぶらや

弓張月佐野聞書

ゆみはりづきぎのききがき

天保八(76)

夢路道中姿

ゆめじのはちもんじ

夢のいとゆふ

寛政四(13)

夢の倅

ゆめのおもかけ

天保元一(61)

夢の案山子

ゆめのかかし

寛政三三四・五(13)

夢除波懲兵美談

明治二十一三(150)

夢野々花鏡

ゆめののはなくらべ

享和三三閏一(23)

桜艶色鳴神

ゆめみぐさいろになるかみ

天保七四(154)

夢結蝶鳥追

「ゆめむすぶちょうのとおりおい」

明治元一七(123)

由良湊千軒長者

ゆらのみなとせんけんちょうじや

天保三三三(64)

弓勢通矢車

ゆんぜいとおりやぐるま

一(98) 明治八一(131)

弓勢南枝魁

ゆんぜいなんしのさきかけ

安永六一一(6)



万延元一四(116)

陽氣賑春魁

ようめいてんのうしよくにんかがみ

慶応三十一(122)

用明天皇職人鑑

天明七九(10)

陽曆春駒染分総

明治十一一(132)

義経腰越状

よしつねこしごえじょう

明和五五(3)

義経千本桜

よしつねせんぼんざくら

安永六一九(5)

安永六一九(5)

天明三三(8) 四八(9) 七十(10)

寛政四八(14)

寛政四八(14)

五五(15) 八五(17) 十一六(20) 文化元十二

二二三(26)

一十一(36)

十一・十二(27) 四七(28) 六一(30) 七九(32) 十

十・十(45)

五三(46) 七八(48) 八八・九・九(50) 九十二

(53) 十一四(55)

七・十二三(52) 天保元八・九・九(61) 十

一・二三(62)

五(63) 十二・三三(64) 六(65) 六五(70) 七

五(72)

八十一(77) 九十二(80) 十三(85) 十一四(83) 十(85)

十三一(88)

十四三(90) 十一(92) 弘化元五(93) 二二(94)

四三(98)

五(99) 嘉永元一(100) 二四(103) 十一(105) 四八(107)

六一(109)

安政二二(110) 五十一(115) 文久三五(119) 慶応三

六十一(109)

安政二二(110) 五十一(115) 文久三五(119) 慶応三

安永六一九(5)

天明三三(8) 四八(9) 七十(10)

寛政四八(14)

五五(15) 八五(17) 十一六(20) 文化元十二

二二三(26)

十一・十二(27) 四七(28) 六一(30) 七九(32) 十

十・十(45)

五三(46) 七八(48) 八八・九・九(50) 九十二

(53) 十一四(55)

七・十二三(52) 天保元八・九・九(61) 十

一・二三(62)

五(63) 十二・三三(64) 六(65) 六五(70) 七

五(72)

八十一(77) 九十二(80) 十三(85) 十一四(83) 十(85)

十三一(88)

十四三(90) 十一(92) 弘化元五(93) 二二(94)

宵月夜露の卯花

よいつき(よ)つゆのうのはな

宵庚申二つ腹帯

よいごうしんふたつはらおび

宵庚申後段献立

よいごうしんごだんのこんだて

宵庚申

よいごうしん

弘化四一四(99)

弘化元一七(156)

寛政三三三(13)

一六(121) 明治二五(126) 三一(127) 九(128) 十一(130) 十四(132) 十四(136)

義経千本桜道行初音の旅路 よしつねせんぼんざくら〔みちゆき〕はつ

ねのたびじ

寛政七(九)(16)

義仲勲功記 よしなかくんこうき

安永六(八)(5) よしなかくんこうき

義仲誕生記 よしなかくんこうき

天明八(九)(11) よしなかくんこうき

吉野山雪の振事 よしなかくんこうき

天保十四(十二)(155) よしなかくんこうき

吉原細見図 よしなかくんこうき

寛政六(九)(16) 九(15)(18) 文化十一(八)(35) 十二(四)(37) 文政二

十一(42) 九(二)(51) 天保三(一)(64) 六(65) 六(三)(70) 八(

三(75) 弘化元(七)(93) 嘉永六(四)(108)

日本新玉九尾化 よせてあらたにここのげ

文政八(一)(49) よせてみつすがたのいろどり

寄三姿粉色 よせてみつすがたのいろどり

慶応三(一)(120) よそおいくらべよしののあけぼの

粧競芳野曙 よそおいくらべよしののあけぼの

享和元(九)(22) よそおいやまとえそが

粧倭画曾我 よそおいやまとえそが

寛政十二(三)(21) よそおいろつかせん

化粧六歌仙 よそおいろつかせん

寛政元(十一)(二)(12) 八(三)(17) 文化六(十)(31) 九(十)(34)

十四(十二)(39) 天保十三(十一)(89) 明治六(九)(130)

四海平清盛 よつのうみみたいらのよざかり

嘉永五(一)(107)

四つ谷稲荷於岩由来

明治十四(十七)(136)

淀屋橋喧嘩

文政五(三)(46)

代諷玉藻譚

文化二十二(27)

恵中賑大入

文化十三(三十一)(38)

喚子鳥大内糸遊

寛政元(九)(12)

詠売ちよんがれぶし

寛政十一(三)(20)

読本朝顔日記

天保十一(五)(6)(83)

嫁入信田妻

文政八(六)(50) 十(十)(55) 天保四(六)(67) 七(九)(73) 弘化二(九

(95) 三(九)(97) 嘉永元(一)(101) 安政三(八)(112) 万延元(三)(116)

慶応二(一)(120) 明治三(九)(128)

嫁入のはつ旅 よめいりのはつたび

文政六(二)(47) よめいりのはつたび

頼政扇子芝

寛政二十四(12) よりまさおうぎのしば

頼政鶴物語 よりまさぬえものがたり

文政四(八)(44) 五(九)(46) 六(七)(47) 天保五(五)(69) 七(八

(73) 十一(一)(83) 十三(十)(89) 安政五(五)(114)

夜錦絵 よるのにしきえ

寛政六(九)(16) よるのにしきえ

初舞台鈴菜種蒔 よるこびありやすすなのたねまき

明治十五十二(143)

嬉心鶴式三

天保八十二(78)

国入北辰御利生

文政二十一(42)

悦大津絵土産

天保十一二(83)

顔鑑開梅鶴

嘉永四九(107)

与話情浮名横櫛

安政元八(109) 明治元閏四(123) 七九(130)

ら

頼光旭山入

天保十二四(86)

頼豪阿闍梨庭伝

明治十五八(142)

頼光錦花幕

文化三三・四(27)

洛東清水夜開帳

洛陽菩薩池

寛政六七(15)

乱菊恋仇枕

文政八六(50)

乱菊露仇枕

文政十一十(55)

よろこびありやひのでのしきさん

よろこびありやほくとのおきおし

よろこびおおつえみやげ

よろこびのまゆひらくうめづる

よわなざけうきなのよ(こ)ぐし

〔らいごうあじやりかいそでん〕

らいごうにしきのはなまく

らくとうきよみずよか(い)ちよう↓みやこ

きよみずよかいちよう

らくようみぞろがいけ

らんぎくこいのあだまくら

らんぎくつゆのあだまくら

乱菊枕慈童

文久二二(118)

蘭奢待新田系図

明和二九(3) 安永七五(6) 天明四五(9) 寛政九七(18) 文

化元一八(25) 二五(26) 九四(33) 文政二四(41) 八六(50) 天

保七九(73) 十一六・六(83) 安政二五(111) 明治十六四(145)

り

利生の旅路

文化四九・十一(29)

鯉水勢浮名粉色

明治八八(131) 十四八(137) 十五七(141)

立春姫小松

文化六三(30) 文政三六(43) 四九(45) 嘉永四二(106)

輪回応報小車譚

明治十四十(137)

れ

連管三番叟

文化四三(28)

連管都雛鶴

文化九十一(34)

連理の梅楓

文化十三閏八(38)

連璃柵

天保十三八(89)

らんぎ(く)ま(くら)じどろ

らんじゃたいにたけいず

りしょうのたびじ

※りっしゆんひめこまつ

れんかんみやこのひなづる

れんりのうめもみじ

れんりのしがらみ

ろ

六様まいる仇かしく

文政四(三)(44)

六歌仙

〔ろ〕っかせ〔ん〕

嘉永五一(107) 明治二七(126) 十四七(136) 十八三(147) 二十

十一(150)

六歌仙体録

ろっか(せんすがたのいろどり)

万延元八(116)

ろっかせんそめわけしきし

六歌仙染分色紙

明和六(四)(4)

六歌仙東京錦画

明治十三(132)

六歌仙花彩

ろっかせんはなのいろどり

天保七(十一)(74) 安政元十一(110)

わ

青陽翫公時

文政元一(39)

若木仇名草

明治七八(130) 十五二・三(138) 四(139) 十五□(142) 十八十二

(148)

吾住森六花裡梅

弘化二十一(156)

若殿達朝大寄

天保十四(十一)(155)

若葉開嬉心船橋

天保八(五)(75)

若葉衣

文化十二(三)(36)

若葉衣緑黛山姥

文化元(五)(25)

若緑二葉松

明治十八(十二)(148)

記能金持性

天保二(四)(62) 十二(一)(85)

和田合戦女舞鶴

安永七(九)(6) 天明八(五)(11) 寛政六(四)(15) 文政二十(41) 十

一(42) 六一(47) 天保元(九)(9) 八(四)(75) 十九(81) 十

一(82) 十一(9) 弘化元(九)(93) 二(一)(94) 四(六)(99) 十一

(100) 嘉永二(七)(104) 安政四(五)(113) 五(一)(114) 明治元(五)(123)

七(五)(130) 十六(三)(144) 七(145) 十九(二)(148)

渡始錦帯橋

文政十一(53) 天保五(四)(69) 七(一)(71) 五(72) 九(十二)(80)

嘉永二(一)(102) 安政三(一)(112)

笑門俄七福

弘化四(一)(156)

付記

目録作成の作業の段階では、訓みの清濁、用字の差に至るまで精密を期して作成したが印刷の都合で「目録」にはこれを示すことができなかつた。この索引は、あくまでも目録の検索の便のために一般的と思われる用字・訓みを採用して現代仮名遣いによって配列し、同一内容の外題は一括してひけるように配慮したものである。

わかばにひらくあんどのふなはし

〔わかばのころも〕

わかば〔の〕ころもみどりのやまうば

〔わかみどりふたばのまつ〕

わけのよいかねもちかたぎ

わだがっせんおんなまいづる

わたりぞめきんたいばし

わらうかどにわかしのしちふく